

ISSN 1343-439X

全日本大学ソフトボール連盟機関誌

ウインドミル

第12号



全日本大学ソフトボール連盟

Rawlings®
Est. 1887

一瞬の攻防を制する。

1点を争うスピーディーでスリリングな攻防が繰り返されるソフトボールの世界。ひとつのプレーがゲームの流れを大きく左右するだけに、瞬時の判断や確実なプレーが要求される。だからこそ、日々の練習で一球一球に集中することこそが、一瞬の攻防を制する鍵になる。

ローリングスはそんなプレーヤーを応援し続けます。

ソフトボール用オーダークラブ
品番:RS-PMO ¥29,400 (本体¥28,000)

株式会社 **アシックス**

表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。()内は消費税抜きの本体価格です。
商品についてのお問い合わせは「(株)アシックスお客様相談室」までどうぞ。03-3624-1814 / 078-303-2233

<http://www.asics.co.jp/baseball/>



全日本大学ソフトボール連盟

ごあいさつ



全日本大学ソフトボール連盟会長
一 谷 宣 宏

全日本大学ソフトボール連盟が、平成20年度の諸活動を滞りなく終え、ここに学連機関誌 **ウインドミル**第12号を発行することができ、こうして皆様のお手元にお届けできることを大変嬉しく思っています。一年間の学連の動きとその成果、そしてこれからの学生ソフトボールへの展望が豊富に収録された機関誌 **ウインドミル**をどうかご精読いただき、大学ソフトボールを存分にお楽しみ頂ければ幸いです。

さて、今年の日本全国の話題はなんと言っても、北京オリンピックで日本女子ソフトボールチームが見事悲願の金メダルを獲得したことであります。このことは、我々大学ソフトボールがこれからも飛翔をするに当たっての大きな支えとなることは間違いありません。反面、ソフトボール競技が、次回のロンドンオリンピックにおいては、競技種目でなくなります。我々としては、正式種目として再び登場できることを願ってやまないと同時に、復活をさせる動きの原動力として、大学ソフトボール連盟の担う役割の大きさを皆様と共に認識したいと思います。そしてそのことを学連機関誌 **ウインドミル**を通じて訴えて参ることをお約束して、第12号の発刊のご挨拶といたします。

ウインドミル

第12号

目 次

ごあいさつ ●会長 一谷 宣宏	1
〔巻頭言〕 ●指導者資格とソフトボール	4
副会長 武藤 幸政	
〔事業報告〕 ●平成20年度の事業報告と今後の活動方針	5
理事長 末井健作	
〔特集〕 ●ドーピングについて	6
武藤 幸政	
ドーピング検査に立ち会って	7
学生委員長 田邊 裕貴	
アンチ・ドーピングとは？	8
〔紹介〕 ●北京オリンピック観戦記	11
●第8回世界ジュニア選手権大会	12
●2009年ニュージーランド遠征	17
全国大会の記録 ●文部大臣杯第43回全日本大学男子選手権大会	18
●文部大臣杯第43回全日本大学女子選手権大会	26
●第54回全日本総合男子選手権大会	34
●第60回全日本総合女子選手権大会	35
共催大会の記録 ●第22回東日本大学選手権大会	36
●第39回西日本大学選手権大会	38
後援大会の結果 ●第7回トヨタ・デンソー・豊田織機・東海理化杯	40
●第10回千葉オープンフェスティバル	42
●第8回「峠のまち」Matsuida Cup	42
●第4回北信越大学オープン大会	43
●第7回前日本女子学生ソフトボール大会IN八幡浜	44

各地区の大会結果●北海道・東北地区	選手権大会	-----	45
●関東地区	春季リーグ戦	-----	45
	第16回関東学生選手権大会	-----	47
	秋季リーグ戦	-----	48
	第39回関東大学選手権大会	-----	51
●北信越地区	選手権大会	-----	52
	新人選手権大会	-----	53
●東京地区	春季リーグ戦	-----	54
	秋季リーグ戦	-----	56
●東海地区	春季リーグ戦	-----	58
	第5回東海地域大学選手権大会	-----	59
	秋季リーグ戦	-----	63
●近畿地区	春季リーグ戦	-----	67
	秋季リーグ戦	-----	72
●中国地区	インカレ予選会	-----	77
	選手権大会	-----	78
●四国地区	春季大会	-----	78
	インカレ予選会	-----	79
	秋季大会	-----	80
●九州地区	春季大会	-----	80
	秋季大会	-----	82
調査研究委員会●原稿等の募集・投稿規定		-----	83
広報記録委員会●全日本大学ソフトボール連盟表彰		-----	84
●第8回東海オープン出場チーム募集		-----	84
資料●全日本大学ソフトボール連盟役員名簿		-----	85
●全日本大学ソフトボール連盟学生委員名簿		-----	88
●平成20年度加盟大学一覧		-----	89
編集後記		-----	91

【巻頭言】

指導者資格とソフトボール

副会長 武 藤 幸 政（城西大学）

日本のスポーツは、学校体育や企業スポーツを基盤とした「する」スポーツを中心に発達してきました。

近年、少子高齢化やバブル崩壊後の長期的な経済不況、急速な高度情報化など、社会背景の変化とともに、企業スポーツ等の衰退、子どもたちの体力低下などスポーツ界も多くの課題に直面しております。

このような社会背景の変化とそれに伴う価値観の多様化、ライフスタイルの急激な変化は、人々のスポーツへの関わり方にも大きな変化をもたらし、「する」スポーツだけでなく、「みる」・「ささえる」などのさまざまな関わり方が存在するようになってきています。

スポーツ文化を豊かに享受する能力とは、プレイヤーが自らスポーツをすることに意義と価値をもち、スポーツの競技規則、スポーツマンシップとフェアプレーに代表されるマナー、エチケットなどのスポーツ規範に基づき主体的・継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことです。

これらの能力を育成するためスポーツの指導者は、自らがスポーツ文化を理解し、プレイヤーとお互いに尊敬しあい、プレイヤーの

立場に立ち、サポートしなければなりません。

また、これまでの指導は、個々人が持つスポーツの目的を合理的に達成するための方法としてスポーツ技術・戦術に関する指導が中心となっていましたが、スポーツの行い方や取り組み方、とりわけスポーツに意義と価値を与えるスポーツ観、競技規則だけでなくスポーツマンシップとフェアプレーに代表されるマナー・エチケットなどの道徳的規範を指導することがスポーツ文化の豊かな享受能力を育成していくためには重要なことです。

近年、国民の1人ひとりが自己の能力や興味・関心、ライフスタイルなどに応じて主体的にスポーツを実施していくという生涯スポーツ社会の実現を図るために、多様なニーズを抱合し、多様な活動が可能となる地域に密着した総合型地域スポーツクラブの育成が重要視され注目されています。(財)日本ソフトボール協会とともに、(財)日本体育協会が進める「ソフトボール指導員」等の資格は、それに寄与するものであり、資格取得の過程を通して幅広い知識・技能の習得と指導者としての資質の向上並びにスポーツ文化への貢献が期待されています。

【事業報告】 平成20年度の事業報告と今後の活動方針

理事長 末 井 健 作（兵庫県立大学）

本学連の事業である文部科学大臣杯第43回全日本大学ソフトボール選手権大会は（主管：宮城県ソフトボール協会、東松島市ソフトボール協会、女川町ソフトボール協会、後援：宮城県他）、歴史と文化の町、東松島市において男子を、水産と観光そしてスポーツ文化の町、女川町において女子をそれぞれ会場として実施されました。宮城県協会に主管いただくのは2度目（第34大会：同会場）であり、大会運営も大変素晴らしく、特に第29回オリンピック北京大会で日本チームが念願の金メダルを獲得した直後だけに、各会場に多くのソフトボールファンが応援に詰め掛け大盛況のうちに終わることができました。天候の不順により男女ともナイトゲームや予備日での決勝戦となりました。このようなことは大学連盟にとりましても大会史上初めての出来事で戸惑いもありましたが、宮城県ソフトボール協会、東松島市ソフトボール協会、女川町ソフトボール協会、各実行委員会および関係者の皆様の献身的な運営により歴史に残る大会となりました。

男子は日本体育大学が投打共にバランスがとれ、古豪復活を思わせる5年ぶり通算27回目の優勝を果たしました。女子は東北福祉大学が地元の応援を背に受けながら実力を遺憾無く発揮し2回目の優勝を遂げました。本大会は男女とも新旧の争いが激しく、実力が伯仲した戦いが今後も続くことが予測され、各選手が切磋琢磨しながら日本を代表する選手が生まれることも大いに期待されました。また、一昨年から学生役員は開会式の開会宣言や監督会議の受付等の役割を担うようになりましたが、今大会はそれに加えての閉会式の閉会宣言や各会場での情報収集等のサポートも行いました。今後は学生役員の役割がさらに重要度を増す

と思われま

後援した東日本、西日本大学選手権大会およびオープン大会（5地区：7大会）は、関係者のご協力により成功裡に終わることができました。本大会は歴史を重ね、東日本・西日本地区において定着した大会となりましたが、主管くださるソフトボール協会関係者の皆さんと連携しながら、さらに充実した大会に発展させていただきたいと願っています。オープン大会は全地区（9地区）での実施を目指しています。各地区にはリーグ戦や多くの試合が予定されていますが、地区を越えたオープン大会の開催によって各大学が刺激し合い普及と発展に繋がることを期待しています。そのためには学生役員の運営面での役割が必要となります。各地区の学生役員の組織の確立と学生役員相互の連携を図るために大学連役員の皆様のご協力をお願いします。

大学連盟の役割は、「ソフトボールに関する研究」を継続・発展させることも重要であると考えています。研究分野は、体力学・バイオメカニクス・トレーニング法・指導法・心理学・リハビリテーションなどさまざまな分野があります。これらへの取り組みは今後の大きな課題の一つです。

本年度は男子の4回目となるNZ遠征を2月に予定しています。その成果は今後の学連の発展ために多いに期待されています。

また、加盟大学は地域との連携を図るため子供からハイシニアを対象にソフトボールの指導を推進したいと考えています。学生の皆さんには、ソフトボールの指導を通じて社会への貢献と普及活動に協力してくれることを切望しています。

今後とも、関係者の皆様の絶大なるご支援・ご協力をお願い申し上げます。

【特集】 ドーピングについて

武藤 幸政 (城西大学)

アンチ・ドーピングとは？

スポーツは言葉や宗教、生活習慣の壁あるいは競技レベルの差などに拘わらず、多くの人が楽しむことができます。しかし、ドーピング（一般的な意味としては、競技能力を高めるために薬物などを使用すること）という不正行為によりスポーツ固有の価値観、これはスポーツ精神(the spirit of sport)と呼ばれることが多いのですが、この大切な価値観を損なうこととなります。アンチ・ドーピングとはドーピングという不正行為をなくし、オリンピック精神(Olympism)の核心部分であるスポーツ固有の価値観を守っていくという考え方です。スポーツ精神は、人間の心身両面を讃美するものであります。

ドーピングとは？

ドーピングを分かりやすくいうと、スポーツ競技を行う場合、その人の競技能力が実力以上になるような薬を使うことや方法を実行することです。

ドーピングはトップレベルの競技選手を対象に定義されているだけでなく、レベルに関係なくあらゆる競技選手を対象にしています。それは、ドーピングが選手の健康を損ない、フェアなスポーツ精神に反し、社会にも悪い影響を与えるからです。次の世代を担うジュニアにも適応されます。また、選手のみならず、選手をサポートする監督、コーチ、トレーナーあるいは医師も対象になります。

主なドーピングの具体例

1. 日常のトレーニングにおいて筋肉増強を目的とする。(タンパク同化剤など筋肉増強作用を有するもの)
2. 日常のトレーニングにおいて疲れを忘れさせる。(覚醒剤、興奮剤など)
3. 競技会において精神を高揚させる。(覚醒剤、興奮剤など)
4. 競技会直前に持久力を高める。(エリスロポエチンにより赤血球の増加を促すなど)

5. 不正な薬物使用を隠す行為。(利尿剤の使用や不正な尿採取など)

ドーピングが禁止される理由

「ドーピングはスポーツ精神に根本的に背反するものである」ということは説明しましたが、具体的には4つの理由があげられます。

1. 選手自身の健康を害する

ドーピングは薬物を使用する方法が一般的ですが、病気の治療のために使用するのと比べ、競技能力を向上させるために使用するのとは、その量や方法が大変危険なものになります。ドーピングが禁止されることになった直接のきっかけは、興奮剤を使用した選手が競技中に死亡したことです。興奮剤を服用して運動することは、心臓への負担を高めるので、興奮剤を服用してはいけません。また、筋肉増強剤(タンパク同化剤; Anabolic Agentsなど)を使用すると体内のホルモンバランスを崩し、筋肉を痛めたり選手寿命が短縮したりするばかりではなく、急死することもあります。さらには、服用をやめて競技生活が終わってから体調不良、不妊などの後遺症がみられます。

2. フェアプレーの精神に反する

スポーツは一定のルールに従いフェアに競い合うことが基本です。一部の選手によってドーピングが行われれば、その競技はアンフェア(不誠実)になってしまいます。全員の選手がドーピングを実施することはあり得ません。従って、スポーツの公平性・平等性を守るためには、ルールとしてドーピングを禁止しなければなりません。

3. 一般社会に悪い影響を与える

オリンピックや世界選手権、ワールドカップといった競技会が一般社会、特に子どもたちに与える影響は大きなものです。日本のソフトボールチームも世界選手権やオリンピックで活躍し、ソフトボールをしなない人たちからも注目されています。一流スポーツ選手は子どもたちの憧れであり、お手本であります。従って、このような選手がドーピ

ングを行っていたとしたら、子ども達の夢や希望を奪うだけではなく、子どもたちは目的達成のためには社会のルールを破ってもいいのだと考えてしまいます。こうなると、スポーツ文化は世間から葬り去られてしまいます。

4. スポーツ固有の価値を損ねる

スポーツ固有の価値には、「倫理観、フェアプレイ、誠意、健康、優れた競技能力、人格の教育、楽しみと喜び、チームワーク、献身と真摯な取り組み、規則、法令を尊重する姿勢、自分自身と他

の参加者を尊重する姿勢、勇気、共同体意識と連帯意識」が挙げられます。これらはスポーツの中で、またスポーツを通じて養われると期待されています。競技能力は数ある価値の中の1つにすぎません。ドーピングによって高い競技能力を得たとしても他の多くの価値を損なうこととなります。

ドーピングを行わないことは難しいことではありません。選手自身がフェアな精神に従うこと、不注意で薬剤を使用しないことです。これを周囲のスタッフがサポートしましょう。

ドーピング検査に立ち会って

学生委員長 田邊裕貴（中京大学）

私は今回の全日本大学ソフトボール選手権おいて始めてドーピング検査を間近に知ることができました。私は選手としては全国大会には無縁だったので、とてもいい経験ができたと思っています。また「シャペロン」と呼ばれる通告・誘導係員にも運よくなることもできました。はたしてどこまでここで書いていいのか私自身よく分かっていないので日本アンチ・ドーピング機構のホームページを参考にしてドーピング検査の話を書き綴っていきたいと思います。

先ほど述べましたがシャペロンは選手に通告・誘導をするのが主な仕事です。通告にはいろいろと選手に述べる文章がありますが、私とはほかにもう一人ベテランのシャペロンの方が主に行いました。この説明から30分後に必ずドーピングコントロール・ステーションと呼ばれる場所に行かなければなりません。ここに行くまでシャペロンは選手から目が離せません。ベテランシャペロンの方の話によると、選手はダウンのときに逃げることもあるので、大きな大会や抜き打ち検査のときはかなり気を使うとのこと。また、シャペロンは選手に対してサインを求めたり、写真をとることを禁止しています。これは全ての選手に対して平等に接するためと言っていました。このことはシャペロンになるときの説明でも注意されまし

た。よく選手から問われるのは「何故自分が選ばれたのか？」というものです。答えはいたって簡単で、完全ランダムでたまたま抽選で選ばれただけです。選び方は秘匿とのことですが。また誰が他に選ばれたかどうかを他の人に教えてはいけな、というのも説明文にありました。

そしてもう一つの疑問が「何故ドーピング検査をするのか」というものです。私も疑問に思っていて、スポーツはどんな手を使ってでも勝つことが大事と考えているからです。それを素直に尋ねてみました。最初は困ったような顔をされましたが力強く答えてくれました。

「フェアであるべき。何よりスポーツはやっているだけで楽しいはず。勝ち負けだけで判断するのは外の人。やっているのは中の人なのに外の人に判断されるのは違うはず。気持ちよくやっていたほうが楽しいでしょ。」と、シャペロンの方は誇らしげに語ってくれました。そのときの顔を私は決して忘れないと思います。

私は今回のドーピング検査に携わってみて、本来のスポーツの形を再認識するとともに、フェアである大切さ、それを支える裏方の誇りを学ぶというとてもよい経験をさせていただきました。今後はこれを自分なりに咀嚼し、フェアプレイの精神を選手たちに伝えていきたいと思っています。

アンチ・ドーピングとは？

スポーツは言葉や宗教、生活習慣の壁あるいは競技レベルの差などに拘わらず、多くの人が楽しむことができます。しかし、ドーピング（一般的な意味としては、競技能力を高めるために薬物などを使用すること）という不正行為によりスポーツ固有の価値観、これはスポーツ精神（the spirit of sport）と呼ばれることが多いのですが、この大切な価値観を損なうこととなります。アンチ・ドーピングとはドーピングという不正行為をなくし、オリンピック精神（Olympism）の核心部分であるスポーツ固有の価値観を守っていくという考えです。スポーツ精神は、人間の心身両面を賛美するものであり、次のような価値観があります。

1. Ethics, fair play and honesty (倫理観、フェアプレーと誠意)
2. Health (健康)
3. Excellence in performance (優れた競技能力)
4. Character and education (人格と教育)
5. Fun and joy (楽しみと喜び)
6. Teamwork (チームワーク)
7. Dedication and commitment (献身と真摯な取り組み)
8. Respect for rules and laws (規則・法令を尊重する姿勢)
9. Respect for self and other participants (自分自身と他の参加者を尊重する姿勢)
10. Courage (勇気)
11. Community and solidarity (共同体意識と連帯意識)

「ドーピングはスポーツ精神に根本的に背反するものである」

アンチ・ドーピング活動

国際的には世界アンチ・ドーピング機構（WADA：World Anti-Doping Agency）が1999年に創設され、これまで世界のアンチ・ドーピング活動をリードしてきた国際オリンピック委員会（IOC）の役割を受け継いでいます。国内では日本アンチ・ドーピング機構（JADA：Japan Anti-Doping Agency）が2001年に設立され、WADAと連携して活動しています。日本ソフトボール協会は2002年からJADAに加盟し、2003年から実質的にアンチ・ドーピング活動を実施しています。具体的には医事委員会のアンチ・ドーピング部会がアンチ・ドーピングの教育・指導などを行い、ドーピング検査を実施しています。

アンチ・ドーピングのための3つの活動

1. 選手をはじめ関係者への教育・指導・普及・情報提供
2. ドーピング検査の実施（ドーピング・コントロール）
3. 禁止物質流通の制限

1. 教育・指導・普及・情報提供

指導者講習会などにアンチ・ドーピングに関するプログラムを組み込み、教育・指導を進めています。また、日本代表選手を中心に教育・指導を行ってきました。今後は対象を拡大して教育・指導を継続していきます。協会の機関誌やホームページに情報を掲載しています。また、ハンドブックを作成して関連団体に配布し、普及活動を行っています。ドーピングに関する質問にもメールやファックスで対応しています。

2. 検査の実施（ドーピング・コントロール）

ドーピング検査を実施する理由は、①ソフトボール競技はドーピングが行われていないことを証明し、クリーンなイメージを持ってもらう、②ドーピングのない公平なスポーツに参加するという競技者の権利を守る、③アンチ・ドーピング活動の普及となる、④ドーピング検査が普通に行われている世界レベルの標準に慣れる、⑤ドーピングをしない、させないという雰囲気生まれる、ということなのです。選手の権利を守ることに目的であり、処罰することではありません。

3. 禁止物質流通の制限

ドーピングで使用される薬は一般的な治療薬ばかりではなく、特別な方法（多くは違法な方法）で入手されるものもあります。こういった薬物の流通を制限するようWADAあるいはJADAが中心になって活動しています。日本国内では安全なサプリメントには「JADA認定商品マーク」が付いています。サプリメントに頼ることは好ましくありませんが、必要な時は「JADA認定商品マーク」を参考にして下さい。

かぜ薬を飲むときの注意

かぜの原因はほとんどがウイルスの感染です。最近ではインフルエンザウイルスに有効な薬が開発されましたが、一般的なかぜのウイルスをやっつける薬はありません。解熱剤などの薬は一時的に症状を和らげるもので、かぜを治すものではありません。かぜをひいた時は栄養と水分を十分摂ってゆっくり休むことが必要です。

熱が高くなくウイルスは活動しやすくなり、かぜは長引きます。ですから解熱剤などを飲むのはどうしても高熱で体の消耗が激しすぎただけにしましょう。抗生物質はドーピング禁止物質ではありませんが、ウイルスを殺すものではないので、むやみに服用するのはやめましょう。インフルエンザと診断されたのならば、インフルエンザの薬は早い時期に飲むと有効な場合があります。ただし、従来健康な人は、栄養、食事、水分補給でも十分です（ドーピング禁止物質ではありません）。

解熱剤はドーピングに関係なく安全に使用できるものが多くあります。また、咳止

栄養補助剤（サプリメント）の使い方

スポーツで用いられるサプリメントは、食事からの摂取が十分でないときに栄養補助剤ができれば、運動能力を高めることが期待される物質を含むものに大別できます。

現代の日本の食料事情においては、規則正しい食生活とバランスのとれた栄養摂取を行えば、栄養補助剤が不足することは考えにくい状態です。しかしながら、激しい運動量となる競技選手にあってはタンパク質、鉄分、ビタミンなどが不足しがちなことも事象です。従って、サプリメントを上手に使用することも必要です。小学生、中学生、高校生、高校生レベルでは家庭で家族とともに食卓を囲み、家族と会話をしながらの食生活習慣が大切で、この中で十分栄養摂取が可能と考えます。逆に食事からの栄養が不足するよう激しいトレーニングを強要してはいけません。また、栄養素が不足しないような栄養指導も大切です。大学生、社会人になると練習量やトレーニングの質も向上するため、栄養素が不足しがちになります。しかし、最初からサプリメントに頼るのではなく、栄養素がどれだけ摂れているか、何が不足しているかを栄養士に相談し、不足している分をサプリメントで補うようにしましょう。

運動能力を高めることが期待されるものはエルゴジェニックスやエイドとよばれ、効率的にエネルギーを供給するもの、効率的に筋肉づくりを促すもの、精神的に影響を与えらるものなどがあります。ミネラル、水分補給のためのスポーツ飲料やアミノ酸飲料などは問題ないと考えますが、近年ではドーピング禁止物質に近いものもあります。安易にこれらに手を出さず、「心のドーピング」と考えられ、将来禁止薬物に手を出さないことも必要です。薬物に依存する気持はすでに危険な兆候です。せいぜい水分、ミネラル、アミノ酸の補給程度にしましょう。

サプリメントの摂取も最終的には自己の責任です。市販されているものでもその成分には十分注意し、必要なものだけを使用しましょう。成分がよく分らないものや、外国からの輸入製品は特に注意し、できれば使用しない方がよいでしょう。かつて日本は安全な国でした。しかし、現在は危険がいっぱいあります。甘い誘惑、危険な薬、氾濫（はんらん）する情報、これらは真のスポーツには必要ありません。本来の自身の肉体と精神を鍛え、全力を尽くし公正に戦うことによつて競技者自身も喜びが得られ、社会にも感動を与え、夢と希望をもたらすことができるのです。

め、薬も安全に使用できるものがあります。確認して使用しましょう。喘息やアレルギーの薬は禁止物質や届け出が必要な薬がありますので確認して下さい。

市販の総合感冒薬は多くのものが禁止物質を含んでいます（エフェドリン等）。エフェドリンは、競技会の禁止物質です。通常の練習時は服用してもかまいません。競技会の3日前から服用を中止しましょう。また、古くから家に伝わる秘薬など、成分の分からない薬も危険です。医師が処方しない限り、悪意がなく知らずに使用してもドーピングとみなされず、医師が処方する薬にも禁止物質が含まれていることがあります（ドーピング禁止物質を知らない医師もたくさんいます）。

かぜは予防が一番です。日頃から規則正しい生活をして、栄養のバランスに気を付けて免疫機能を高めましょう。精神的ストレスを解消することも免疫機能を高めるのに役立ちます。うがいや手洗いは言うまでもありません。集団生活の中で誰がかぜをひいたら、なるべく接触を避けましょう。インフルエンザの予防接種も有効な場合があります（ドーピング禁止物質ではありません）。

漢方薬を飲むときの注意

一般に市販されているエキスタ（粉薬やシロップ）の漢方薬でもドーピング禁止物質を含んでいるものが多いです。主にマオオウ（麻黄）とメチルエフェドリン、ホミカ（スートリキニネを含む）です。

また、葉や根、茎といったそのもので販売されているものは、その成分が十分には分らないので使用しないほうがいいでしょう。健康食品として出回っている減肥茶ややせ薬などには、禁止物質である覚醒剤の成分、利尿剤が含まれているものがあります。不注意に飲まないようにしましょう。漢方薬でも薬の副作用があり、ドーピング禁止物質を含んだものがあるので、安易に服用するのはやめましょう。

ドリンク剤を飲むときの注意

多くのドリンク剤の成分は数種類のビタミン剤、カフェイン、アルコール、漢方の生薬成分などです。ビタミン剤は問題ありませんが、アルコールは競技によつては禁止物質となります（ソフトボール競技では禁止物質ではありません）。

漢方の生薬成分の多くは興奮剤ですから、競技の前日からは飲まない方がよいでしょう。ドリンク剤を飲むと気分が高揚し疲れがとれたように感じられますが、これはカフェインやアルコール、漢方薬の生薬成分に含まれた興奮剤のためでしょう。こういふドリンク剤を常用することは、精神的に薬物に依存する気持を持つようになり、好ましくありません。疲労をとることやビタミンの補給はしっかりとした食事による栄養管理で行い、休養をとることも大切です。禁止物質ではなくとも薬物に頼ることはやめましょう。

ドーピング検査の方法とその手順

——ドーピング検査——

ドーピング検査を受けることによっては、競技者は自ららがクリーンであることを証明できます。検査の種類は競技会検査と競技外検査があります。

1. 競技会検査

競技会開催時に、競技終了後、競技場内あるいは近隣の施設で実施されます。競技会に参加したすべての競技者が検査を受けられますが、検査対象選手は競技成績などを考慮して抽選で選択されます。検査の実施は、あらかじめ競技会開催前に通達されます。

2. 競技外検査

競技会検査以外のすべての検査を指します。通常は抜き打ち的に練習中や合宿中に実施されます。国際大会などではWADAから検査官が派遣されて実施されることもあります。検査の対象は一定以上の競技レベルの選手（国際大会の代表選手など）となります。抜き打ち的な検査ですから、日頃から注意が必要です。

——ドーピング検査（競技会検査）の手順——

1. ドーピング検査対象選手の決定

ドーピング検査の対象になる選手はすべての選手が対象となることが定められています。ただし、競技会検査での検査対象選手は指定された試合（決勝・準決勝戦）終了前に抽選により決められます。

2. 通告

指定された試合の終了直後にシャペロン（通告誘導係）により通告が行われます。選手はシャペロンの持参した通告書の内容を確認して自分であると判断すれば、選手署名欄に自分で署名します。

通告された選手は、通告後1時間以内に検査室（ドーピング・コントロール・ステーション）に行くことが義務づけられています。試合終了直後にインタビューや表彰式が行われるような場合には、シャペロンが常に付き添います。シャペロンは検査手が終了するまで、検査室外の行動には必ず付き添うことになっています。

また、1時間以内に出頭しなければ、検査を拒否したとみなされて、検査結果陽性と判断されます。

3. 検査室到着

検査室に入ったら、選手IDの写真または名前・所属を示し、先に署名した通告書（1枚）と検査室に届けられたその綴り（つづり）のもう一方の通告書と照らし合わせ、選ばれた本人に間違いのないことをお互いに確認します。また、同伴者の確認も同時にを行います。

4. 採尿から手続完了まで

検査室で受付終了後、尿が必要量（75ml）採れる場合は、直ちに採尿室で採尿し、所定の手続きを済ませるだけです。約10分もあれば手続完了です。

尿が出ない場合は待合室（ウェイトイングルーム）で、リラックスした気持ちで、水分補給（予め待合室に準備された飲み物）をしながら検査に必要な尿量が溜まるまで待ちます。また、一度出たが必要量に満たない場合は、必要量以上になるまで採尿が繰り返されます。

尿が必要量（75ml）採れた場合はAボトルとBボトルに分けられます。Bボトル（2次検査用）に約25ml、Aボトル（1次検査用）に約50mlと選手本人が尿を分けます。さらに、尿のpHと比重が測定されます。通常pHは5.0～7.0とし、比重は1.005以上とされ、水や利尿剤などで尿が極端に薄められていないかを知るために測られます。

また、検査では選手に競技会前7日以内に使用した薬があるかないかの質問をすることが決められています（選手は、いつ検査を受けても対応できるように常に自分の使用した薬物については把握しておくことも必要です）。この申告について薬物を使用した場合には、その使用した薬品名ならびに使用量など詳しく聴取して公式記録書に記入します。

最後に、選手ならびに同伴者に公式記録書の記載内容を確認した上、署名をしてもらい、公式記録書と通告書のピンク色の用紙を切り離して選手に渡します。これですべての検査手続きが完了となります。

——ドーピング検査（競技外検査）の手順——

1. 抜き打ち検査

抜き打ち検査は、普段の日常生活の中（練習中や合宿中など）で突然、ドーピング検査の検査員が来て、その場で検査を行うものです。選手はいつでもどこでも、検査を受けることが義務づけられています。

また、抜き打ち検査の通告については、通常抜き打ちであるため通告はしないで行われますが、選手の日常管理など把握しきれない場合があり、事前の通告（日程調整）をします。一般的には通告なしで検査が実施されることを覚えておいてほしいものです。

2. 検査手順

検査手順については競技会検査の手順（採尿から手続完了まで）とほぼ同じですが、検査の対象は異なります。

【紹介】 北京オリンピック観戦記

末井 健作（兵庫県立大学）

久保田 豊司（大阪国際大学）

日本チームは、第29回オリンピック北京大会で念願の金メダルを獲得した。私は決勝トーナメント（8月20・21日）を観戦したので、その感動的なドラマを報告します。

ソフトボール競技は北京市の豊台（フェンタイ）球技場で行われた。日本戦は内外野席とも満席で、エキサイティングな試合にスタンドは大いに盛り上がった。決勝トーナメントの初戦はアメリカ戦、上野投手が好投するもアメリカチームのクリストル・ブストス選手の超特大のホームランで勝負が決した。しかし、予選リーグとは違い日本チームに勢いを感じさせる試合であった。

続いて決勝進出をかけたオーストラリア戦は、上野投手の熱投で死闘の末に勝利した。そこには、両チーム共に大きなプレッシャーと戦いながらのプレイが展開されたが、ポイントはオーストラリアチームの二塁手が平凡なファールフライを落球したことが流れを一気に日本チームに引き寄せた感があった。私の目の前で二塁手の硬直した身体とプレイが今も脳裏に残っている。オリンピックという表現のしようのない巨大な重圧に負けたのであろうか。

翌日のアメリカチームとの決勝戦は、早朝よりの大雨で1時間遅れの試合開始となった。日本チームは初回のピンチを切り抜けて勢いに乗った。初回が勝負と予想されていただけに「やるぞ」といったムードがスタンドを支配した。そして、宿敵オスターマン投手を攻略し先取得点を挙げ、3連投(413球)上野投手の「一球入魂」の投球が冴え、涙と歓喜の金メダルを獲得した。まさにこの金メダルは技術・体力をはるかに越えた「勝利への執念」、「根性」の勝利と言える。

勝利の瞬間、テレビ解説席で号泣する宇津木妙子元日本チーム監督の絶叫解説は、日本オリンピック史上に残る感動の場面となるだろう。

「念願の金メダル」「悲願の金メダル」、どうしても勝てなかったアメリカという大きな壁を越えたその試合をこの目で見られたことはとても幸せであった。決勝トーナメントに入ってから試合は、全てが苦しい場面の連続であり、スタンドから観戦していた私は常に鳥肌が立っていた。試合を通して感じたことをここに報告します。

この金メダルは準備の勝利であろう。打倒アメリカ、それは左投手をいかに攻略するかであった。そのため、日本チームはトップレベルの男子左投手を徹底的に打ち込んできた。もちろん打撃だけでなく、守備・走塁も強化してきた。私は日本ソフトボール協会の強化本部会の委員でもあるため、日本チームの強化策についてはある程度の内容は知っていた。強化本部会の議論は、この北京オリンピックで十二分に活かされていた。上野投手を中心とした内・外野の守り、それを支えたベンチワーク、そして戦略・戦術を指示したコーチングスタッフ、さらに各国の分析、選手のコンディショニング等、日本チームを支えたスタッフ全員で獲得した金メダルである。オリンピック後、マスコミは上野投手をクローズアップして報道している、当然のことである。決勝トーナメントの413球は見事の一言に尽きる。それと同時に、最年長の伊藤選手がベンチから先頭を切って大きな声を出して指示しており、ブルペンを見ると坂井投手が初回からいつでも投げられる準備をしていた。それぞれが自分の仕事、チームでの立場を考えた行動であった。このような光景を目の前で見た私は、チームワークとは何なのかを改めて考えさせられた。ソフトボールは一人では勝てない。上野投手がインタビューで答えたチームスポーツの楽しさの一つである。

日本チームの金メダル。ソフトボールに携わっている人たちは誰もが勇気と感動をもらったはず

である。私たちが出来ることは、一人ひとりがソフトボールの楽しさを伝え広めることである。こ

のことが、ソフトボールの普及、Back Softballに繋がるものと確信している。

【紹介】 第8回世界男子ジュニア選手権大会

本年6月20日～29日の10日間にわたって、カナダ・ユーコン州ホワイトホースにおいて開催された大会は、常勝オーストラリアの4連覇で幕を閉じたが、U19日本代表は、18年ぶりの「世界一」には届かなかったものの、見事に第3位、銅メダ

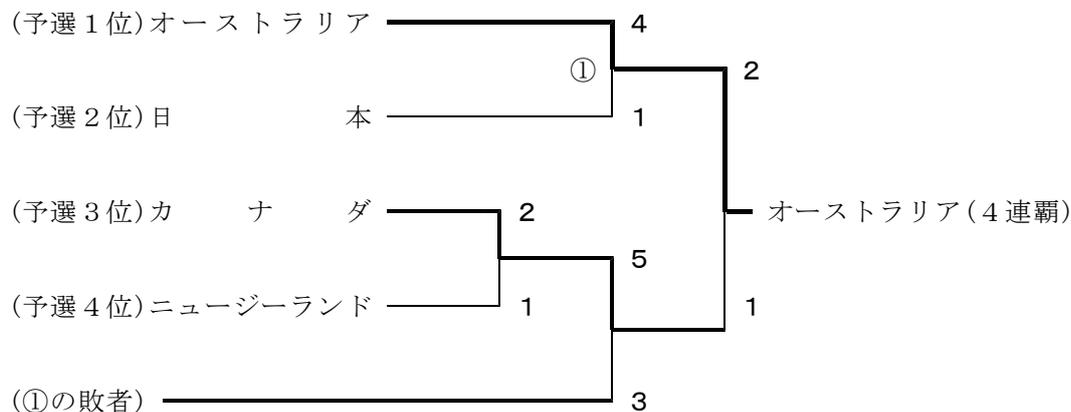
ルを獲得しました。代表選手17名中、11名が学連登録選手でありましたので、その概要を紹介します。なお、本大会直前の強化合宿（刈谷市、5月31日～6月3日）には、東海学連の選抜チームが練習試合の相手を務めました。

大会結果

予選リーグ戦

参加チーム	J P	A U	C A	N Z	V E	U S	A R	M X	D K	Z A	C Z	B W	順位
日 本	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	2位
オーストラリア	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	1位
カ ナ ダ	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
ニュージーランド	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	4
ベネズエラ	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	5
アメリカ	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	○	○	8
アルゼンチン	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	7
メキシコ	○	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	6
デンマーク	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	10
南アフリカ	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	○	○	9
チェコ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	11
ボツワナ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	12

決勝トーナメント



代表選手

No.	守備	氏名	所属	年
1	投手	谷川智紀	熊本学園大学	18
2	〃	谷脇靖雄	宇部興産	18
3	〃	内海裕也	京都産業大学	18
4	〃	古賀元気	立命館大学	18
5	〃	濱田耕児郎	豊田自動織機	18
6	〃	嶋田智希	環太平洋大学	18
7	〃	立石壮平	岡豊高校	17
8	捕手	藤川拓郎	立命館大学	18
9	内野手	菅野達也	環太平洋大学	19
10	〃	首藤大地	トヨタ自動	18
11	〃	林卓磨	立命館大学	18
12	〃	筒井昭太	環太平洋大学	18
13	〃	佐次田誠	カネボウ小田原	19
14	外野手	植田貴也	岡豊高校	17
15	〃	大嶋匠	早稲田大学	18
16	〃	山崎雄太	神戸学院大学	18
17	〃	川口拓馬	関西大学	18

代表コメント

世界大会

古賀 元 気(立命館大学)

世界大会で一番ためになったことは「自分は弱い」ってことに気付いたことです。メキシコ戦、これ以上点をとられたらいけない場面でマウンドに上がりました。ランナーを背負っている状態で、打者に対してツーストライクと追い込みました。キャッチャーがインコースにミットを動かした時、頭の中に「デットボールだと・・・。」と不安がよぎりました。その不安を抱えたまま、私はモーションにはいり投げました。ボールは気持ちが伝わったかのように、インコースを避けあまいボールとなり、気持ちが逃げていたぶん球威がない球

になりました。言うまでもなく、その球をきれいに打たれ、点をゆるしてしまいました。私はその時のことが今でも忘れられません。

日本代表だという自覚や自信はあったし、負けたくないと思う気持ちは他の人以上にあったと思います。しかし、ピンチになったとき結果として「弱い自分」に負けてしまいました。ピッチャーで大切なのは気持です。常に打者に対して攻める気持ちを忘れないようにしていきたいと思います。また他のピッチャーの人にも同じ苦い思い出をしてほしくないの、日頃から強い気持ちで頑張っ

世界からの意識改革

嶋田 智 希(環太平洋大学)

今回、世界ジュニア選手権に参加させてもらって、様々な国のソフトボールに触れることができるとてもいい経験になりました。1月にニュージーランドに遠征をして本場でソフトボールが出来るとてもうれしかったし、目指すところは自分の思ってる所よりも上にしないといけないと思いました。しかし、ピッチャーとして体格はどうしても外国人には劣ります。そこで、大事だと思うのは、いかに普段の練習の一つ一つを考えてするかだと思います。

カナダの本大会では自分の力を思うように発揮できずに悔しい思いをしました。登板機会が一定でないため、調整が思うようにできずにチームに迷惑をかけてしまいました。

そういった経験の踏まえて、自分の与えられたイニングはしっかりと抑えること、そのために日ごろからの、練習での意識を変えていかないといけないと思いました。今度もしこのような世界大会に参加できたら今度は、今回の反省をふまえて自分の力を出し切りしたいと思います

選考会に参加するのも、全国のすごい選手から少しでも技術などを盗み、これからの大学でのソフトボールにつなげていきたいという意志から参加しました。静岡で開催された選考会では、ピッチャーは速球の速さや、球種、あと実戦での登板で選考しました。私としては実戦での選考のとき

全国のすごいバッターと対戦でき、とても光栄だと思いました。選ばれなくても選考会に参加できて本当によかったと思います。

最後に支えてくださった方に心から感謝したいと思います。

世界ジュニア選手権大会を終えて

藤川 拓郎(立命館大学)

この世界大会は自分にとってのソフトボール生涯において一番思い深い大会となりました。日本代表というプレッシャーもありましたが、カナダで試合を重ねていくとプレッシャーが、自信に変わっていきました。それも梅下監督をはじめコーチの方々などからのご指導があったからだと思います。バッティングでは梅下監督に前でとらえて、押すってということ学び、宮平コーチにはリード面を教えてもらいました。しかし自分の目標であった優勝ができなかったのがとても悔しくてなりません。今回の経験はだれもができる経験ではないので、自チームで他のメンバーに還元できるように、自分にできることを精一杯頑張りたいと思います。

世界選手権を体験して

林 卓磨(立命館大学)

ジュニア世界選手権に出場し、前回は下回る銅メダルという結果になってしまい満足はしていませんが、後悔はありません。僕達の代表は前評判もいいものではなくメダル獲得すら危ういと言われていました。僕達はそのように言われているのをなんとしてでも見返してやりたいと思っていました。カナダに到着してから練習試合として2試合ほどこなしましたが、自分達の動きはできていませんでした。そして、監督、コーチから喝がはいり気合がはいりました。そこからの動きは今までは格段によくなり、改めて気持ちの大きさがわかりました。

大会が始まり、試合を重ねていくたびにチームワークが深まり、ジャパンとしてふさわしいチームになっていったと思います。U19代表に選出され、世界大会に出場できたのは、自分のソフトボール人生に大きな財産となりました。世界に通用

するバッターになるためには、120キロをこすライズ、ドロップ、緩急のあるチェンジアップ、日本では見たことも無い変化球に対応しなければなりません。上には上がいることを学びました。そのことを肝に銘じて今後のソフトボール人生にかしていきたいと思います。

世界ジュニア選手権を終えて

山崎 雄太(神戸学院大学)

今回私は、U19日本代表として日の丸を背負って国際大会に出場するという大変な緊張感がありました。私自身、高校ではインターハイや選抜大会に出場したことはなく、いきなりの飛び級というかたちに驚きと不安がありました。しかしやれるだけのことは練習し、自分なら大丈夫と自信を持って大会に臨みました。

現地での練習やチームメイトの雰囲気はとても良く、中身の濃いしっかりとした調整ができ、試合を迎えることができました。試合中の全員の顔には笑顔があり、とても試合を楽しんでいたのではないかと私は思います。常に声をかけあって連携を大事にしていました。一つ一つのプレイが緊張で、責任が重く精神的に辛かったけど全員で全試合を乗り越えることができました。

結果は前回、前々回より下回ってしまい3位となってしまいましたが、それ以上の成果が残せたのではないかと思います。この大会を通してたくさんのことを勉強することができ、また自分に足りないことを深く考えさせられる貴重な体験ができました。

今大会お世話になった皆さん、本当にありがとうございました。

世界ジュニアの経験

川口 拓馬(関西大学)

私はこの度のカナダ・ユークオン州ホワイトホースで行われた、第8回世界男子ジュニア選手権大会を通して、今までに無い新たなソフトボールを体験することができた。

昨年11月末に行われた選考会では、受験勉強などで調整不足のまま臨む形となり、アピールも出来ず終わってしまった感じで悔しかった。しか

し、代表が発表され自分の名前があった時は、嬉しかったというよりも驚きや初めて経験する代表に責任を感じていた。

チームはニュージーランド遠征や国内合宿を行うことで徐々にまとまっていった。インターハイなどで戦ってきたライバル達が一つのチームで世界を相手に試合をすることに、私はどこか不思議な感じがしてならなかった。

本番では戦う度に強くなっていった気がした。本当に少しの間しか一緒にプレーしていないのに、カナダに負けて銅メダルが確定した時、涙を流すほど悔しかったということは、自分の中では最高のチームだったと感ずることができた。

個人的には、3番レフトとして全試合に出場させてもらい、色々なタイプのピッチャーと対戦することができた。今まで積み重ねてきたものを全て発揮したつもりだったが、オーストラリアやニュージーランドのピッチャーが投げるスピードボールやキレの良い変化球に対応しきれなかったことに力不足を感じた。しかし、カナダ戦で打ったホームランは今までやってきたことは間違いでは無かったと確信することができ、今後もっと努力しようという弾みになった。

後輩の皆さんへ、アドバイスがあるとすれば、世界の舞台で戦うチャンスがあるならば積極的に「挑戦」して欲しいと思う。1番大切なことは気持ちだこの大会を通して学んだことなので。私もまたチャンスがあるなら「挑戦」したいと思っている。

最後に今回の大会を通して支えて下さったスタッフの皆さん、関係者、応援して下さい下さった方々、本当に良い経験をさせて頂きありがとうございました。この経験を今後のソフトボール人生に生かしていきたいと思ひます。

日本選手団広報のコメント

吉田 徹(日本協会HPから転載)

10日間にわたる長い戦いを戦い抜いた17名の戦士たち。戦いを終えた戦士たちの頬を涙がつたう。決勝進出、オーストラリアとの再戦は叶わず「世

界一」の夢は消え失せた。

しかし、次の瞬間、カナダファンばかりのスタンドが、スタンディングオベーションで日本ナインを迎えてくれた。「グッドゲーム！」惜しみない拍手と歓声はいつまでも途切れることはなかった。この拍手こそが、この歓声こそが、彼らが持てる力のすべてを出し切り、戦ったことの「証」であった。

結果は、「世界一」には届かなかった。それどころか前々回、前回を下回る3位という成績に終わった。しかし、その戦いは称賛に値するものであり、胸を張れる結果であったと思う。恥ずべきことなど一つもない。全力で戦い、全力でプレーし、その持てる力のすべてを出し切り、そして…負けた。それを責めることなど、誰ができるだろうか。

彼らは「日本代表」の「誇りとプライド」に賭け、その名にふさわしい試合を展開した。それはこのスタンドで日本のプレーを目撃した観客の一人ひとりが証人である。行き交う人が口々に「グッドゲーム」「グッドチーム」と称賛の言葉を惜しまなかった。私自身もこの戦いに立ち会うことができたことを誇りに思う。

10日間にわたる戦いは終わった。しかし……「ソフトボール」は続いていく。このすばらしい戦いを見せたチームは、もはや存在しない。二度とこのメンバーが集まり、同じユニフォームを着ることはない。それでも……「ソフトボール」は続いていくのだ。それぞれのチームで。それぞれの場所で。今、このときの気持ちを決して忘れないでほしい。純粋にソフトボールに向かう気持ち。ただひたすらに「うまくなりたい」「強くなりたい」と欲する気持ち。それらを持ち続ける限り、「ソフトボール」は続いていく。「ソフトボール」に終わりはない。

誰かが言った。「ソフトボールは奥が深い」と。そう……君たちはまだ「ソフトボール」の「入口」へ立ったばかりなのだ。ようこそ！「ソフトボール」の世界へ!!「ソフトボール」は君たちを歓迎する。

【紹介】 2009年ニュージーランド遠征

今回のNZ遠征には、20名の派遣予定を大きく上回る44名の参加申込がありました。これまでにない多数の申し込みで、学連としてもうれしい悲鳴でしたが、男子強化部会を中心に、インカレなどの大会成績と地域性・学年を考慮し、次の派遣選手を決定しました。選ばれた選手は世界最高峰のソフトボールに触れて一回りも二回りも大きく飛躍してください。また、残念ながら選にもれた選手は、次のチャンスを掴めるよういっそうの努力を期待します。

日程

2月12日（水）：関西空港→オークランド→
ウエリントン
13日～15日：試合
16日（月）：ハットバレイ→ホークベイ
17日・18日：試合
19日（木）：ホークベイ→ノースハーバー
20日・21日：試合
22日（日）：オークランド→関西空港

スタッフ

団 長：末 井 健 作（兵庫県立大学）
監 督：高 橋 伸 次（高崎経済大学）
コーチ：石 井 賀一郎（中京学院大学）
コーチ：高 橋 流 星（日本体育大学）
総 務：吉 末 和 也（園田学園女子大学）



派遣選手

No.	守備	氏 名	所 属	年
1	投 手	開 田 卓 人	大阪産業大学	3
2	〃	松 本 健	立命館大学	3
3	〃	坪 内 剛	福岡大学	3
4	〃	岩 田 守	中京学院大学	2
5	〃	望 月 孝 典	中京大学	1
6	〃	谷 川 智 紀	熊本学園大学	1
7	捕 手	北 澤 慶 介	早稲田大学	3
8	〃	大 井 宗	関東学園大学	3
9	〃	平 本 拓 朗	環太平洋大学	2
10	一塁手	伊 藤 皓 二	日本体育大学	2
11	〃	菅 野 達 也	環太平洋大学	2
12	二塁手	染 谷 良	国土舘大学	3
13	三塁手	薩 澤 彰 大	早稲田大学	3
14	遊撃手	松 岡 隼	国際武道大学	2
15	〃	久 我 貴 大	早稲田大学	2
16	〃	祝 弘 樹	日本体育大学	2
17	左翼手	豊 永 諒	日本体育大学	3
18	〃	川 口 拓 馬	関西大学	1
19	中堅手	鶴 山 大 輔	熊本学園大学	3
20	〃	亀 田 亮 治	日本体育大学	2
21	右翼手	川 崎 祐 介	中京学院大学	3
22	〃	吉 田 晴 貴	高崎経済大学	2

文部科学大臣杯第43回全日本大学男子ソフトボール選手権大会

会期：平成20年8月29日(金)～9月1日(月)

会場：宮城県東松島市／鷹来の森運動公園

大会概要

日本体育大(東京) 5年ぶり27度目の優勝!!

大会記録長：丹羽米子

大学男子「日本一」を決める本大会が、豊かな自然環境に恵まれた絶景を誇る町、東松島市で開催された。

大会は、初日から雨の中で始まり、連日グラウンドは夜半からの雨で、とても使用できる状態ではなかったが、地元協会ははじめとする皆さんの献身的な働きで見事に整備され、無事全日程を終えることができた。雨と雷に悩まされた毎日であったが、協会・関係者の働きに応え、全力プレイを見せてくれた選手達には、たくさんの声援が送られ、すばらしい大会となった。

ベスト4には、大会「3連覇」を目指す国士舘大学、「覇権奪回」を誓う日本体育大学、エース・松田を中心に安定した戦いぶりで勝ち上がった京都産業大学、チーム一丸となり初優勝を狙う熊本学園大学が勝ち上がった。

準決勝第1試合は、国士舘大学が少ないチャンスに効果的な長打を生かし、初の決勝進出を窺う熊本学園大学を振り切った。また第2試合では、3回戦で完全試合を演じた京都産業大学松田投手に対して、日本体育大学打線が爆発し、12安打9得点をあげて6回コールド勝ちで決勝進出を決めた。

決勝戦は、ともに日本代表である日本体育大学・高橋、国士舘大学・諸見里の投げ合いで始まった。日本体育大学は4回に短長4安打を集中して一挙3点を先制、投げては高橋が国士舘大学の強力打線を1安打1失点に抑えてその「3連覇」を阻んだ。日本体育大学は5年ぶり27度目の優勝。投打がカッコリと噛み合い、大会最多の優勝回数を誇る「名門」がついに王座に還り咲いた。

大会講評

打倒「東京勢」に期待する(その2)

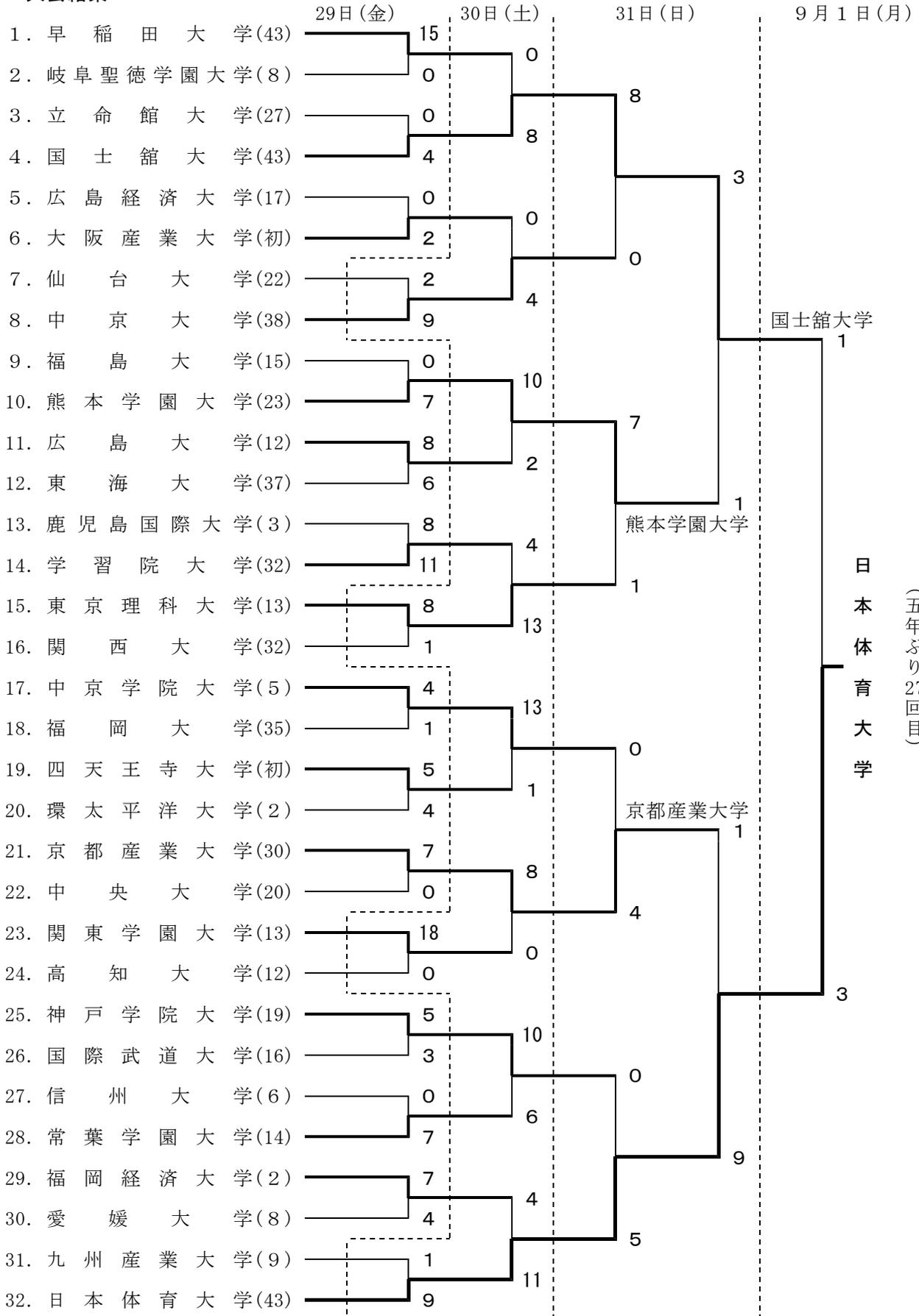
広報記録部長 水谷博

全国各地でゲリラ豪雨による被害が伝えられている最中、こちらも悪天候に悩まされた大会となったが、鎌田競技委員長・中邑競技副委員長の的確な判断と開催地役員各位のご尽力、そして素晴らしい競技施設によって予備日を用いたものの、全日程を無事終了できたことをまずもって喜びたい。また、競技日程が変更になったためにコンディションづくりに苦労され、それに一言の文句もなく、大会運営にご協力いただいた参加チームに御礼を申し上げる。

さて、大会は日本体育大学の5年ぶり27度目の優勝で幕を閉じた。決勝戦は、昨年に引き続いて大学ソフトボール界を代表する好投手(国士舘・諸見里VS日本体育・高橋)の投げ合いとなった。両投手による息の詰まるような投手戦は、4回裏に日本体育大学が4本の長短打を集中して3点を先制し、国士舘大学の追撃を6回の1失点に抑えてそのまま決着した。日本体育大学は昨年のリベンジを見事に果たし、国士舘大学の3連覇を阻んだ。終わってみれば、2時間を遙かに超える試合であったが、1球ごとの投球に見応えがあった。守備や走塁にも見るべきものが多く、投球間隔さえもう少し短くなれば、まさに「ベストゲーム」であったであろう。

3位には米良・谷川の両投手を擁する熊本学園大学と「完全試合投手」松田を擁する京都産業大学が入り、ベスト8を西日本の5チームが占めた。しかし、優勝・準優勝の両チームにはまったく歯が立たなかった。来年の宮崎でのインカレにおいては、捲土重来「東京勢」を倒すべく、「西日本勢」による乾坤一擲の戦いを期待したい。

大会結果



(五年ぶり27回目)

日本体育大学

※ () 内は出場回数で、校名変更のあった大学は以前の名称での出場も含む。

試合結果

▼第1日(8月29日)1回戦

岐阜聖徳学園大学 00000 : 0
早稲田大学 10113x : 15

[岐] ●笠井宏記—草 雄介

[早] ○青山紀彦—北澤慶介

(本)青山紀彦・蔭澤彰大

(二)久我貴大・北澤慶介

【評】早稲田、大量得点で発進

早稲田大学は4回に青山・蔭澤の連続アーチなどで大量13得点を挙げてコールド勝ちを得た。岐阜聖徳学園大学は、早稲田の青山投手に抑えられ1安打を放つにとどまった。

立命館大学 0000000 : 0
国士館大学 200101x : 4

[立] ●松本 健—川村真司

[国] ○諸見里俊—坪松悠輔

(二)佐方康二

【評】国士館の諸見里、散発4安打で立命を零封
国士館大学は、立命館松本の立ち上がりの制球難につけ込み、2安打2暴投で効率よく2点を先制し、試合を優位に進めて完封勝ちを収めた。

大阪産業大学 1001000 : 2
広島経済大学 000000x : 0

[大] ○開田卓人—岡本亮平

(二)岡本亮平

[広] ●池田将太—渡部勇太

【評】大阪産業大開田投手、2被安打で初戦突破
大阪産業大学は、初回先頭打者高橋の中前打の出塁を四番岡本のタイムリーで還して1点先取、4回にも岡本・開田の長短打で追加点を挙げる。一方、広島経済大学は、17三振を喫して無念の初戦敗退となった。

福島大学 00000 : 0
熊本学園大学 0052x : 7

[福] ●高橋啓介—伊藤博昭

[熊] ○米良英起—三丸大貴

(三)谷口一樹 (二)鶴山大輔

【評】熊本、中盤からの実力発揮でコールド勝ち
熊本学園大学は3回、2四球でチャンスをつかみ、安藤のタイムリーと鶴山・谷口の長打で大量5点を挙げ、4回にも2点を追加して試合を決めた。福島大学は、熊本の両投手に2安打8三振に抑え込まれ、元氣なく敗退した。

広島大学 4300100 : 8
東海大学 0003210 : 6

[広] ○八島大輔—西内佑太—岡信太郎

(本)村田健朗・三浦裕明 (三)兵間賢吾

(二)井上太智・下井卓三・三浦裕明

[東] ●坂本琢磨—波多野一輝—坂本裕樹

(本)鳥居裕生

【評】広島、先制パンチを継投で逃げ切り
広島大学は初回、3本の二塁打と兵間の三塁打で4点、2回にも村田の3点本塁打で試合を優位に進めた。東海大学は、4回に3点を返し5回にも鳥居の2点本塁打で追い上げたが及ばず、緒戦の大量失点が惜しまれた。

鹿児島国際大学 0302012 : 8
学習院大学 132023x : 11

[鹿] ●西 裕貴—原田卓也

(本)原田卓也 (三)前屋州佑

(二)池田淳哉

[学] 小島達也—神田浩史

(本)蓮見知広

【評】学習院、蓮見のスリーランで試合を決める
学習院大学は、2点リードの6回裏に五番蓮見の3点本塁打で逃げ切った。鹿児島国際大学は、12残塁の山を築き、終盤まで追いすがるも攻めきれなかった。

福岡大学 0000010 : 1
中京学院大学 120010x : 4

[福] ●坪内 剛—栗尾直樹

(二)東 繁

[中] ○坂本俊行—前田貴則

(三)鈴木 隆 (二)福重 遙

【評】中京学院、序盤のリードを守りきる

中京学院大学は初回に1点を先制すると、2回には鈴木の三里打などで2点を追加し、福岡大学の追撃を1点に抑えて緒戦を突破した。

四天王寺大学 0230000 : 5

環太平洋大学 0000004 : 4

[四] ○河畑圭亮－坂本雄基

(本) 中村祐哉 (二) 河畑圭亮

[環] ●村上貴裕・奥川洗平－平本拓朗

(本) 佐伯忠昭 (二) 松崎洗平

【評】環太平洋、追撃及ばず無念の敗退

四天王寺大学は、序盤に中村の本塁打などで2点、敵失と集中打で3点の計5点を挙げ、環太平洋の1点差まで迫る最終回の猛攻を逃れ、薄氷の勝利を得た。

中央大学 00000 : 0

京都産業大学 00421x : 7

[中] ●中田真史－古谷一行

[京] ○松田 光－田中元喜

(本) 塚本雄一朗・田中元喜

【評】京産松田投手、1安打完封勝利

京都産業大学は無得点で迎えた3回、本塁打を含む3本のヒットに2失策を絡めて4点先取、2点を追加した5回、六番田中の中越本塁打でコールド・サヨナラ勝ちを収めた。中央大学は井原の投前内野安打1本で、松田投手に手も足も出ず完敗した。

神戸学院大学 0023000 : 5

国際武道大学 2010000 : 3

[神] ○西川勝悟－西川 豪

(本) 丸尾啓太② (二) 西川 豪

[国] ●松尾達朗－田中智也

(本) 杉山和貴② (二) 田中智也

【評】神戸学院、本塁打で逆転勝利!!

神戸学院大学は、初回に杉山の本塁打で先制されたが、3回に丸山の本塁打で追いつき、再び杉山の本塁打で追いつかれると、4回には2走者を置いての丸山の2打席連続本塁打で逆転し、勝ちを

収めた。

信州大学 00000 : 0

常葉学園大学 5101x : 7

[信] ●中町皓哉－堀口裕和

[常] ○米田倫弘－田島嘉人

(本) 向畑公博 (三) 川上利彦

(二) 長田昇平

【評】常葉の米田投手、完封勝利

常葉学園大学は初回、六番川上の三塁打、七番向畑の本塁打などで5点を奪い、その後も2点を追加した。信州大学は、1安打で走者を二塁に進めることもなく敗れ去った。

愛媛大学 01300 : 4

福岡経済大学 00304 : 7 ※雷雨コールド

[愛] ●永井民浩－寺本 将

[福] ○鮫島 怜－本田 勝

【評】福岡経済、5回に逆転2回戦進出

1点を追う福岡経済大学は5回、四死球と敵失に犠打を絡め、一挙4点を奪って試合を決めた。試合途中からの降雨と雷鳴によってコールドゲームとなったが、2回を残しての愛媛大学の敗戦は惜しまれる。

▼第2日 (8月30日) 1回戦

仙台大学 00200 : 2

中京大学 13212x : 9

[仙] ●小坂橋一央・伊藤直樹－江崎 将

(本) 渡邊芳幸

[中] ○望月孝典－秋屋一樹

(本) 鶴飼秀徳 (三) 岡村良輝

【評】投打で圧倒 中京大学は四番鶴飼の本塁打を含む毎回10安打、投げては主戦望月が7奪三振で勝利した。仙台大学は、渡邊の2点本塁打で完封を免れた。

関西大学 01000 : 1

東京理科大学 0152x : 8

[関] ●北村和樹－瀬戸 護

(二) 山崎和将・原田大樹・瀬戸 護

坂井佳文

[東] ○井上 剛ー土肥 強
 (本)井上 剛 (三)来栖昌和・下沖 航
 (二)早川修平

【評】東京理科大学は3回相手失策に乗じて大量5点を挙げて試合を優位に進めた。一方、関西大学も2本の二塁打で追いついたが及ばなかった。

高知大学 00000 : 0
 関東学園大学 31140x : 18

[高] ●荒木亮太ー岡本泰平
 (二)荒木亮太
 [関] ○福田 学・笠原寛史・山口智丈ー
 大井 宗・園部和紀

(本)福田 学・武井勝宏・鈴木恭平
 (三)大井 宗 (二)藤巻 玄・高橋圭太

【評】関東学園大学は、3本の本塁打を含む長短14安打の猛打を放ち、大差で2回戦へ進んだ。

日本体育大学 00018 : 9
 九州産業大学 00001 : 1

[日] ○高橋速水ー松本敬介
 (本)筒井拓友・伊藤皓二 (三)堀田哲史
 (二)芳賀慎二郎

[九] ●武内耕平・渡邊 勝ー渡邊 勝・坂田泰大
 (二)渡邊 勝

【評】日本体育大学は、5回2本塁打を含む7本の長短打で、一挙8得点し、圧勝する。

▼第2日(8月30日)2回戦

早稲田大学 00000 : 0
 国士舘大学 6110x : 8

[早] ●青山紀彦ー北澤慶介
 (二)薩澤彰大
 [国] ○諸見里俊ー坪松悠輔
 (本)諸見里俊 (二)尾上弘隼・佐方康二・
 山口雅史②

【評】国士舘大学は、青山投手の立ち上がりを取らぬ、4四死球に本塁打と二塁打で大量6点を挙げて試合を決めた。

広島大学 200000 : 2
 熊本学園大学 120106x : 10

[広] ●八島大輔・西内佑太ー岡信太郎
 (二)村田健朗
 [熊] ○米良英起・谷川智紀ー三丸大貴
 (本)五郎丸辰美・鶴山大輔・米良英起
 (二)鶴山大輔

【評】熊本学園大学は、2回八番五郎丸の2点本塁打で逆転し、6回には西内投手から三番鶴山と五番米良の本塁打で6点を挙げ、ワールド勝ちを収めた。

中京学院大学 01723 : 13
 四天王寺大学 01000 : 1

[中] ○坂本俊行・木伏淳吉ー前田貴則
 (本)鈴木 隆・西條貴大・川崎祐介
 (二)福重 遙・松原史郎

[四] ●河畑圭亮・山下大貴ー坂本雄基

【評】中京学院大学打線好調大量得点で3回戦へ
 中京学院大学は、四天王寺大学の投手陣を3本塁打を含む13安打で打ち崩した。

常葉学園大学 0501000 : 6
 神戸学院大学 310033x : 10

[常] 米田倫弘・●伊奈大介ー田島嘉人
 (本)向畑公博 (二)長田昇平

[神] ○西川勝悟ー西川 豪

【評】神戸学院大は、5回連続三塁打で逆転すると、6回にも敵失を足掛かりに3連打3点を追加。一方、常葉学園大学は、2回5安打で一挙5点を先取するもあとわずかに及ばず無念の敗退となった。

大阪産業大学 0000000 : 0
 中京大学 010300x : 4

[大] ●開田卓人ー岡本亮平
 [中] ○望月孝典ー秋屋一樹
 (本)鶴飼秀徳・角島準之助

【評】中京大学は、3回戦進出。2本の本塁打で計4点を取り、投げてはエース望月が完封で勝利した。大阪産業大学は散発2安打で涙を飲んだ。

学習院大学 10201 : 4
東京理科大学 07024x : 13

[学] ●小島達也・中島宏彰－神田浩史
(本)山内智士 (三)澤田清剛

[東] ○高木 優－田辺晃大
(本)中山 翔 (三)下沖 航・高木 優

【評】東京理科大学は、5回七番中山の本塁打で
ワールド勝ちし、3回戦へ進出した。

関東学園大学 00000 : 0
京都産業大学 1016x : 8

[学] ●福田 学－大井 宗
[京] ○松田 光・菅村直也－田中元喜

(三)栗岡紀之・岡林秀明 (二)内海裕也

【評】京都産業大学は、1回に先制すると続く2
回には栗岡の三塁打に失策が絡み1点を追加。4
回には岡林の三塁打、内海の二塁打を含む6安打
で一挙6点を奪い試合を決定づけた。

福岡経済大学 00004 : 4
日本体育大学 03512x : 11

[福] ●鮫 島 怜－本田 勝
(本)三國準平

[日] ○高橋速水・矢野崇史－松本敬介
(本)芳賀慎二郎・堀田哲史②・伊藤皓二
(二)筒井拓友

【評】日本体育大学は、4本塁打を含む5本の長
打で2回以降順調に点を重ね、福岡経済大学に圧
勝。

▼第3日(8月31日)準々決勝戦

国士舘大学 02114 : 8
中京大学 00000 : 0

[国] ○諸見里俊－坪松悠輔
(本)高橋和義・澤田生
(二)坪松悠輔・安井琢磨

[中] ●望月孝典－秋屋一樹

【評】国士舘大学 諸見里投手 被安打2の完封
勝！

国士舘大学は2本塁打含む13長短打で圧勝し、
準決勝に駒を進める。

熊本学園大学 2031010 : 7
東京理科大学 0000001 : 1

[熊] 谷川智紀・○有働雄士－三丸大貴
(本)田中仁崇・米良英起

(二)五郎丸辰美・三丸大貴

[東] ●井上 剛・高木 優－土肥 強・田辺晃大

【評】熊本学園大学は2本塁打を含む8長短打の
猛攻で準決勝に進出。

熊本学園大学は序盤に5得点。東京理科大学終
盤の追撃かわす。

中京学院大学 0000000 : 0
京都産業大学 300010x : 4 ※完全試合

[中] ●坂本俊行－前貴則

[京] ○松田 光－田中元喜
(本)松田 光

【評】京都産業大学松田投手が完全試合を達成し、
自ら決勝本塁打も放つ！

完全試合の内容は投球数81、奪三振10、内野ゴ
ロ10、外野フライ1であり、また守備陣も攻守で
盛り立てた。

神戸学院大学 0000000 : 0
日本体育大学 010022x : 5

[神] ●西川勝悟－西川 豪
[日] ○高橋速水－松本敬介

(二)筒井拓友

【評】日本体育大学 高橋投手 神戸学院大学を
完封！

日本体育大学は二回裏筒井の好走塁で二塁打と
し2犠打で先制、5回には3本の安打で2点追加
する。高橋投手は13奪三振2安打で完封した。

▼第3日(8月31日)準決勝戦

熊本学園大学 0000100 : 1
国士舘大学 100200x : 3

[熊] ●米良英起－三丸大貴
(三)猿渡広樹

[国] ○諸見里俊－坪松悠輔
(本)安井琢磨 (二)坪松悠輔

【評】国士舘大学 諸見里投手11奪三振の好投で

熊本学園大学を1点に抑え決勝進出!

熊本学園大学は7回一死一・三塁の同点機にあ
と1本が出ず惜敗した。

日本体育大学 022005 : 9
京都産業大学 001000 : 1

[日] ○高橋速水-松本敬介

(本)筒井拓友・亀田亮治 (三)堀田哲史

[京] ●松田 光-田中元喜

【評】日本体育大学が圧勝 決勝へ進出!

2回に日本体育大学は四番筒井の目の覚めるよ
うな特大本塁打により先制し、6回には九番亀田
の右翼越え本塁打など6安打を集中して一挙5点

を加えて試合を決めた。

▼第4日(9月1日)決勝戦

国士舘大学 0000010 : 1
日本体育大学 000300x : 3

[国] ●諸見里俊-坪松悠輔

[日] ○高橋速水-松本敬介

(三)芳賀慎二郎 (二)芳賀慎二郎

【評】5年ぶり27回目の優勝! 日本体育大学は、

4回4本の長短打で3点を先制し、国士舘の追撃
をかわして逃げ切り勝利した。一方、国士舘大学
は、6回に走者二塁から中前打で1点を返したが、
後続を断たれて準優勝に終わった。

大会新記録

[打撃の部] ☆満塁本塁打 三國隼平(福岡経済大学) 対 日本体育大学

[投手の部] ☆完全試合 松田 光(京都産業大学) 対 中京学院大学

男子大会打撃ベスト20(規定打席数12以上)

左打	位置	選手名	大学名	打席数	打点	安打	得点	打点	犠打	四球	死球	三振	盗塁	残塁	出塁	打妨	本塁打	三塁打	二塁打	打撃率	試合
○	5	筒井 拓友	日本体育	16	10	7	7	5	・	6	・	1	・	6	13	・	2	・	2	0.700	5
○	8	芳賀慎二郎	日本体育	15	15	10	5	7	・	・	・	3	・	5	10	・	1	1	2	0.667	5
○	7	栗岡 紀之	京都産業	12	12	6	4	1	2	・	・	2	1	3	6	・	・	1	・	0.600	4
○	7	豊永 諒	日本体育	18	15	7	3	5	1	1	1	2	・	4	9	・	・	・	・	0.467	5
○	6	安井 琢磨	国士舘	15	14	6	3	2	・	1	・	3	1	2	7	・	1	・	1	0.429	5
○	9	亀田 亮治	日本体育	15	12	5	5	5	2	1	・	4	・	2	6	・	1	・	・	0.417	5
○	8	佐方 康二	国士舘	15	12	5	6	3	・	3	・	3	・	4	8	・	・	・	2	0.417	5
	3	伊藤 皓二	日本体育	15	13	5	4	4	・	2	・	1	・	1	7	・	2	・	・	0.385	5
○	7	鶴山 大輔	熊本学園	14	13	5	5	5	・	1	・	1	・	1	6	・	1	・	2	0.385	4
	18	米良 英起	熊本学園	13	11	4	3	4	・	・	2	4	1	2	6	・	2	・	・	0.364	4
	5	安藤 祐輔	熊本学園	13	12	4	3	2	・	1	・	4	1	2	5	・	・	・	・	0.333	4
○	9	山口 雅史	国士舘	16	13	4	4	・	1	・	2	4	・	2	6	・	・	・	2	0.308	5
○	7	尾上 弘隼	国士舘	15	13	4	1	4	・	2	・	5	・	3	6	・	・	・	1	0.308	5
○	8	清水 大輔	京都産業	12	10	3	3	・	・	1	1	1	・	3	5	・	・	・	・	0.300	4
○	DP	天久 未来	日本体育	19	17	5	2	・	1	1	・	3	1	4	6	・	・	・	・	0.294	5
○	6	堀田 哲史	日本体育	17	17	5	4	4	・	・	・	3	・	2	5	・	2	2	・	0.294	5
	4	祝 弘樹	日本体育	15	11	3	4	3	2	2	・	2	・	1	5	・	・	・	・	0.273	5
○	3	田中 仁崇	熊本学園	14	12	3	2	2	・	2	・	2	・	3	5	・	1	・	・	0.250	4
	2	松本 敬介	日本体育	16	13	3	1	・	3	・	・	2	・	1	3	・	・	・	・	0.231	5
	2	坪松 悠輔	国士舘	13	13	3	・	3	・	・	・	4	・	4	3	・	・	・	2	0.231	5

男子大会投手成績ベスト8 規定投球イニング11以上)

左 投	選 手 名	大 学 名	投 球 回	打 席 数	打 者 数	被 安 打	失 点	自 責 点	被 犠 打	与 四 球	与 死 球	奪 三 振	被 本 打	暴 投	不 正 投	投 球 数	防 御 率	勝 試 合	負 試 合	試 合 数
	高橋 速水	日本体育	29	103	96	9	3	1	1	5	1	53	・	1	・	411	0.24	5	0	5
	諸見里 俊	国士舘	30	114	106	21	4	4	1	5	2	39	・	2	・	424	0.93	4	1	5
	米良 英起	熊本学園	13	53	48	12	5	3	2	2	・	14	1	・	・	183	1.62	2	1	3
	松田 光	京都産業	22	83	79	14	9	6	1	3	・	38	2	2	・	337	1.92	3	1	4
	坂本 俊行	中京学院	17	70	62	11	6	5	2	3	3	24	1	1	・	300	2.06	2	1	3
	開田 卓人	大阪産業	13	51	48	8	4	4	1	2	・	24	2	・	・	189	2.15	1	1	2
	西川 勝悟	神戸学院	20	88	72	20	14	10	6	9	1	13	3	・	・	322	3.50	2	1	3
	望月 孝典	中 京	17	72	66	17	10	9	1	3	2	18	3	1	・	271	3.71	2	1	3

全日本大学ソフトボール選手権を終えて…

日本体育大学主将 筒井 拓友

率直に、この一年間ずっと目標にしてやってきた全日本大学選手権を優勝できたことを本当に嬉しく思っています。優勝できた要因はたくさんありますが、その中でも特に大きな三つを挙げたいと思います。

まず一つが、チームの練習がとても雰囲気よくできていたという事です。みんなで盛り上がる所では楽しく、集中する所では、一打席、一球に各々が集中していました。また、私はこのチームでは、練習試合でも紅白戦でもレギュラーメンバーを大きく替えませんでした。それは、練習試合であれば少しは試合に出してもらえらるだろうという考えをチーム内で持って欲しくなかったからです。普通であれば、それで試合に出ることを諦めてしまう選手も出るでしょう。

しかし、日本体育大学の選手達は、この状況をもっと良い方向に考えてくれました。チーム内で試合に出れていない選手が、どうしたら試合に出ることができるかを常に考えながら練習するようになってくれました。それにより、結果が出始めた選手を使えば、代えられた選手がポジションを取り返そうと必死になる。そのような連鎖反応が繰り返された事により、選手全員が中身の濃い練

習をすることができ、チーム力の向上に繋がりました。

二つ目に、試合中のチームの空気がとても良かった事があげられます。攻撃している時も、守備についている時も、ベンチに入っているチームメイトがグラウンドにいる選手に絶え間なく声をかけ続けてくれました。また、ベンチだけでなくスタンドからも、毎試合沢山の声援を送って頂きました。沢山の声援に後押しされれば緊張もほぐれ、普段通り、もしくはそれ以上のプレイもできるでしょう。すなわち、グラウンドにいる選手だけではなく、ベンチにいるチームメイトや、スタンドから応援をして下さる方々、全員で一つの目標を目指すことができたというのも、この大会を優勝できた大きな理由の一つだと思っています。

最後に、私が、そしてチームがここまで成し遂げる事ができたのは、今まで様々な形でサポートをして頂いた回りの方々がいってくれたからだと思っています。

毎年、公式戦などでは試合会場がどこであろうと、このチームを応援する為に会場まで足を運んで下さる方々がおられます。また、大学の中だけに限らず選手が卒業した高等学校なども帰省した時は、練習に参加させて頂いたり、こちらから遠

征をして色々とお世話になることも少なくはありません。まだまだ挙げていけばきりが無いほど私達は沢山の方々に支えられてきました。その沢山の支えの中の一つでも欠けていたら、今回このような結果で終わる事は出来なかったかもしれませ

ん。

この大会で優勝できた事により、今までお世話になった沢山の方々に、ほんの少しでも良いので恩返しが出来たのであれば、私はこれ以上嬉しい事はありません。

文部科学大臣杯第43回全日本大学女子ソフトボール選手権大会

会期：平成20年8月29日(金)～8月31日(月)

会場：宮城県女川町／女川町総合運動場

大会感想等

東北福祉大(宮城)

地元で歓喜の優勝(2回目)を飾る!!

大会記録長：井之上 哲夫

昨年と違いさほど暑さはなかったが、「ゲリラ豪雨」に翻弄され、グラウンド整備に追われる毎日。結果的に予備日を使って全日程を消化するという、まさに運営泣かせの大会となった。女川町長さんを筆頭に、実行委員会の皆さんの献身的な取り組みと水はけのよい素晴らしいグラウンドがなければ全日程の終了は厳しかったかもしれない。

今大会は、北京オリンピック後初の全国大会ということもあり、関心度も高く、それに応えるかのように熱戦が展開された。

試合は、全体的に接戦にもつれ込む好ゲームが多く、年々地域格差がなくなってきたように思えた。これは、各大学の地道な取り組みと努力の表れであるといえる。昨年は、ベスト4を近畿勢に独占されたが、今年は東京勢の奮起が見られ、東京女子体育大学、日本女子体育大学が準決勝に進出。また、昨年準優勝で今大会悲願の初優勝を狙う大阪国際大学、安定した戦いぶりで3年ぶり2度目の優勝を狙う・地元東北福祉大学もベスト4に名乗りを上げた。

準決勝第1試合は、大阪国際大学が初回の1点をエース中見里が粘り強いピッチングで再三のピ

ンチを凌ぎ、完封勝利を収めた。日本女子体育大学は、中盤から毎回の得点機にあと1本が出ず、惜敗した。第2試合は、東北福祉大学がそれまで無安打に抑えられていた4回、5本の長短打を集中して一挙7点を奪ってコールド勝ちを収めた。序盤毎回のように走者を出していた東京女子体育大学は、タイムリーの欠乏に泣き、屈辱の5回コールド負けとなった。

決勝戦は、序盤から東北福祉大学が優位に試合を進め、先発高橋投手がコーナーをキッチリ突くピッチングで大阪国際大学打線から10三振を奪う力投。見事3年ぶり2度目の優勝を飾った。

今大会は、天候不順のため、会場変更・日程変更が重なり、選手達もコンディション維持が大変だったと思われるが、両チームともに最後まで集中力を切らさず、全力で戦っていたのが印象的であった。

印象に残った選手は、次の通りである。

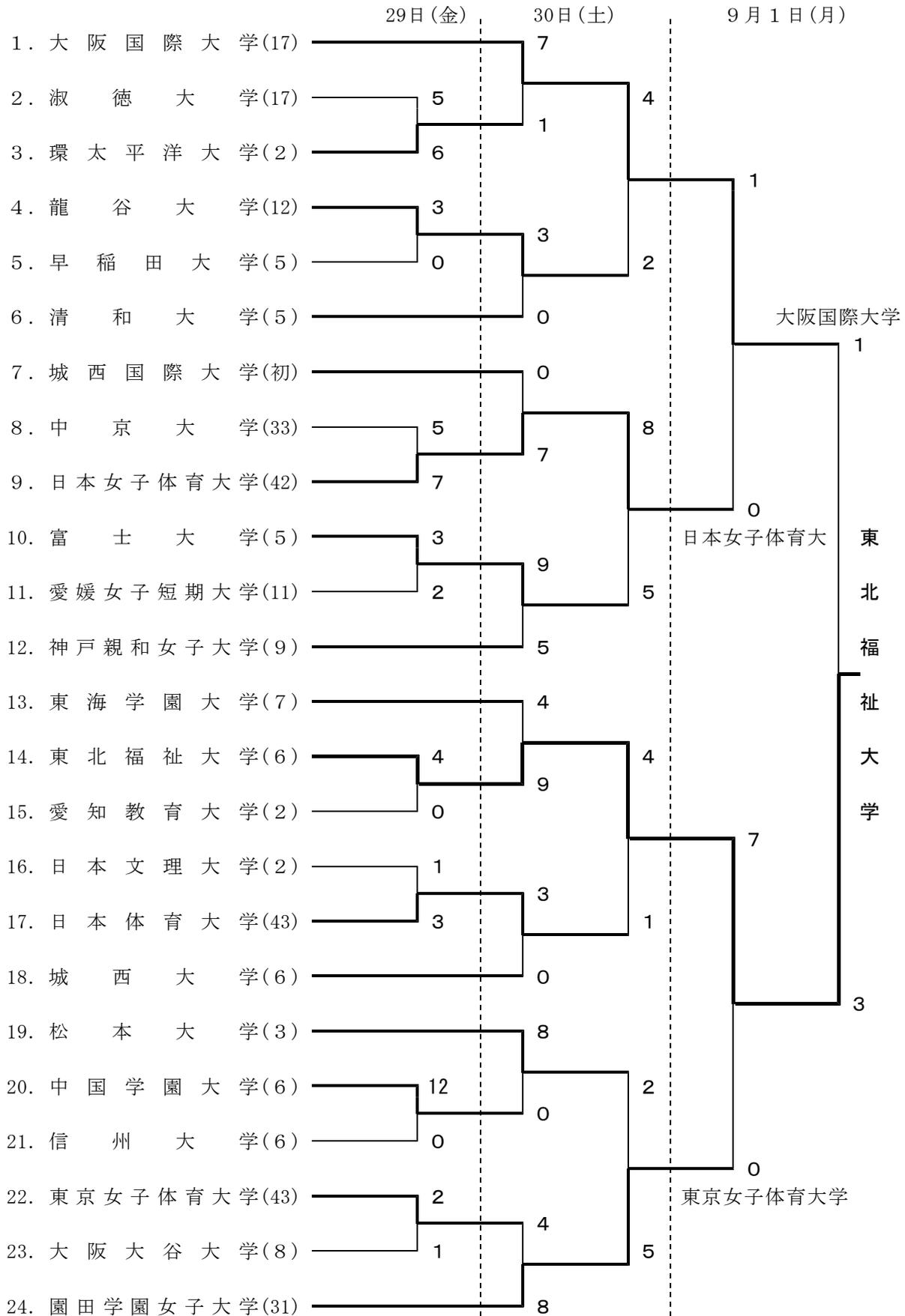
投手部門

- ・高橋 真 弓(東北福祉大学)
- ・中里見 友紀子(大阪国際大学)

打撃部門

- ・小川 絵 里 加(富士大学)
- ・高橋 聡 美(日本女子体育大学)
- ・粕 張 舞 (東北福祉大学)
- ・岡 本 由 香(大阪国際大学)
- ・高橋 恵 (東京女子体育大学)

大会結果



(三年ぶり二回目)

※ () 内は出場回数で、校名変更のあった大学は以前の名称での出場も含む。

試合結果

▼第1日（8月29日）1回戦

淑徳大学 0100040 : 5
環太平洋大学 1002021x : 6

[淑] 多田裕美一・●関根有希一篠田美穂
(二)篠田美穂

[環] ○江里口淳子一三崎奈緒
(三)浜渦聡美・富永夏美

【評】同点で迎えた7回環太平洋大学は、九番富永の左越え三塁打を足掛かりに三番千原の三遊間タイムリーで勝利した。

早稲田大学 0000000 : 0
龍谷大学 000012x : 3

[早] ●山下友香一内田はるか
(二)内田はるか・佐藤裕利

[龍] ○島津あゆみ一中村実香
(本)吉田 薫 (二)山口詢子

【評】龍谷大学は5回に先制し、6回には四番吉田の本塁打で突き放し、3対0で勝利した。早稲田大学は、得点機を逃して敗退した。

日本女子体育大学 00020001112 : 7
中京大学 11000001110 : 5

[日] ○河本恵美子一藤川紀子
(本)高橋聡美 (二)高橋聡美②

[中] 小沢佳那子一佐々木可那子

【評】拮抗した好ゲーム。タイブレーカーを制したのは、日本女子体育大学。中京大学は、11回の2失策が悔やまれる。

愛媛女子短期大学 0001010 : 2
富士大学 001101x : 3

[愛] ●松尾奈々子・オールドティナ川満一堤万里子
(本)松尾美希・玉城亜弥子 (三)松尾美希

[富] ○佐藤志保子一後藤愛実
(本)後藤愛実・小川絵里加 (三)林 真心
(二)小川絵里加

【評】両チームで4本の本塁打と3本の長打が乱れ飛んだが、富士大学が勝利した。

愛知教育大学 0000000 : 0
東北福祉大学 111001x : 4

[愛] ●河部祐里一鈴木彩乃

[東] ○高橋真弓・長南友子一石田奈々
(本)粕張 舞 (三)粕張 舞

【評】東北福祉大学は初回三番粕張が左翼越え本塁打で先制。終始優勢に試合を展開して勝利した。愛知教育大学は高橋・長南両投手に2安打に抑えられ、完敗した。

日本体育大学 1000020 : 3
日本文理大学 0000100 : 1

[体] ○重藤恵理佳一鹿島 唯
(二)川西梨沙②・佐々木結翔

[文] ●藤井瞳・桑野絵里子・宮崎美穂一前田秋子
(二)吉岡美穂

【評】同点で迎えた6回日本体育大学は、代打佐々木、三番川西の二塁打で2点を加点し勝利を収めた。重藤投手は12奪三振の好投を見せた。

中国学園大学 15420 : 12
信州大学 00000 : 0

[中] ○岡江里子・高野友紀一大崎裕美子

[信] ●荒木奏子一外山純子

【評】中国学園大学、投打に力の差を見せ5回ワールド勝ち。信州大学は、散発2安打に終わった。

大阪大谷大学 0000100 : 1
東京女子体育大学 010010x : 2

[大] 田家由里・●乾 彩華・洞井絵梨香一橘あかね・飯田桃子

(本)横山知世 (三)下山洋子

[東] ○森さやか一鶴澤真緒

(本)鶴澤真緒 (二)鶴澤真緒

【評】本塁打の応戦で迎えた同点の5回、東京女子体育大学は代わった乾投手から死球と二番城戸の左前適時打で勝ち越した。

▼第2日（8月30日）2回戦試合結果

清和大学 0000000 : 0
龍谷大学 120000x : 3

[清] ●井上瑠唯一柴田華奈江

[龍] ○島津あゆみー中村実香

(本)前出由佳 (三)堂山 真里

【評】龍谷大学は、前出の本塁打を含む2長打で勝利した。清和大学は、初回の好機を活かすことができず、得点できなかった。

城西国際大学 000000 : 0

日本女子体育大学 030121x : 7

[城] ●横田美樹ー鈴木睦咲

(三)青木希代美

[日] ○河本恵美子・富田 薫ー藤川紀子

(三)奥田桃子・高橋聡美

【評】日本女子体育大学は、2回3本の長短打により3点を先制、その後も着々と加点し圧勝した。城西国際大学は、得点機に恵まれず完敗した。

大阪国際大学 0031003 : 7

環太平洋大学 0000001 : 1

[大] ○中里見友紀子・森田由衣子・中里見友紀子ー柳田優香

(三)岡本由香・西山 遥子

(二)柳田 優

[環] ●溝渕彩美ー三崎奈緒

(二)稲富梨佳・山田絢音

【評】大阪国際大学は、3回に四球、野手選択、三塁打で3点を先制し試合を決めた。環太平洋大学も最終回に1点を返すものの、力及ばなかった。

富士大学 102020004 : 9

神戸親和女子大学 004000100 : 5

[富] 佐藤志保子・岩崎幸愛・○佐藤志保子ー後藤愛実

(三)及川 香織

[神] 山田麻未・米泉 咲・●山田麻未・倉田 明ー大塚 潤

(三)三好 恵 (二)新井貴恵・三好 恵

【評】5対5の同点で迎えた9回、富士大学は5安打の猛攻で4点を加点し勝利した。神戸神話女子大学も7回に同点に追いつくものの力尽き敗退した。

東北福祉大学 2231100 : 9

東海学園大学 0102100 : 4

[北] ○高橋真弓・長南友子ー石田奈々

(本)藤田奈央 (二)井上 愛・石田奈々

[海] ●大野由貴・伊藤 愛・久保田量子ー林萌絵

(本)村瀬夏奈 (二)村瀬夏奈

【評】東北福祉大学は井上の二塁打で先制し、さらに5回まで連続得点して勝利した。東海学園大学は、好機に得点するものの逆転することができなかった。

日本体育大学 0000030 : 3

城西大学 0000000 : 0

[日] 重藤恵理佳・邑上由衣・山村香織ー

鹿島 唯

(本)古宇田佳愛 (三)川西梨沙

[城] ●岡田江津子・野村美和子・岡田江津子ー

阿波沙央里

【評】日本体育大学・重藤、城西大学・岡田の両エースの好投で5回まで互いに無得点であったが、日本体育大学は6回三番川西の三塁打、四番古宇田の本塁打等で試合を決めた。

松本大学 03104 : 8

中国学園大学 00000 : 0

[松] ○伊藤ゆき・塩沢明日香ー小山彩夏

(三)井出綾子・森岡涼・野尻真子

(二)野尻 真子②

[中] ●高野友紀・岡江里子ー大崎裕美子

【評】松本大学は2回3本の連続長短打と失策により先制点を挙げ、14安打を放ち圧勝した。中国学園大学は、4回の好機に得点できず敗退した。

園田学園女子大学 0110002 : 4

東京女子体育大学 201311x : 8

[園] ●山口憲子・尾崎望良・西岡里恵・山口憲子ー西岡萌子

(本)吉川未咲・谷池紫穂 (二)森田 涼

[東] ○森さやかー鶴澤真緒

(三)森さやか (二)鶴澤真緒②

【評】東京女子体育大学は初回鶴澤の二塁打により先制し、その後も打線が奮いリードを許すことなく勝利した。園田学園女子大学は最後まで粘りを見せたが、敗退した。

▼第2日（8月30日）準々決勝戦

大阪国際大学 2001010 : 4
龍谷大学 0010010 : 2

[大] ○中里見友紀子・森田由衣子・中里見友紀子
一柳田優香

(二)林 仁美・大村英利佳

[龍] ●島津あゆみー中村実香

(二)前出由佳・吉田 薫

【評】安打数では変わらないが、出塁すれば必ず得点に結びつける大阪国際大学が勝利。一方、龍谷大学はあと1本が出ずに残塁が多く惜敗した。

日本女子体育大学 0000260 : 8
富士大学 1100201 : 5

[日] ○河本恵美子ー藤川紀子

(二)藤川紀子・中本雅子・佐藤泰代

[富] ●佐藤志保子ー後藤愛実

(三)小川絵里加・及川香織

(二)相馬亜里・林 真心

【評】日本女子体育大学は2点を追う6回に敵失と6長短打で一挙6得点し、乱打戦を制し準決勝に駒を進めた。富士大学は6回の失点が響き敗退した。

日本体育大学 1000000 : 2
東北福祉大学 000103x : 4

[日] ●重藤恵理佳ー鹿島 唯

(三)秋山磨貴子

[東] ○高橋真弓ー石田奈々

(三)横沢あゆみ (二)石田奈々

【評】東北福祉大学は同点で迎えた6回、二死から九番藤田の安打で1点を加点し、横沢も三塁打を打ち勝利した。日本体育大学は、先制点を挙げたが、その後は加点できず敗退した。

松本大学 0000200 : 2
東京女子体育大学 004100x : 5

[松] ●伊藤摩耶ー小山彩夏

(本)野尻真子

[東] ○神山里美・駒宮ひとみー鶴澤真緒

(本)小柳 薫・原野愛美 (二)森さやか

【評】投打に勝る東京女子体育大学は、3回五番小柳のスリーランホームラン。さらに4回にも加点し準決勝に駒を進めた。松本大学も終盤粘りを見せるも追いつけず敗退した。

▼第3日（9月1日）準決勝戦

日本女子体育大学 0000000 : 0
大阪国際大学 100000x : 1

[日] ●河本恵美子ー藤川紀子

(二)尾澤麻友佳・佐藤泰代

[大] ○中里見友紀子ー柳田優香

(二)大村英利佳

【評】大阪国際大学は、初回に先頭打者岡本が出塁し四番大村の二塁打にて先制。1点を守りきった。日本女子体育大学も、再三得点の機会があったが得点にはいたらず惜敗した。

東北福祉大学 00070 : 7
東京女子体育大学 00000 : 0

[福] ○高橋真弓ー石田奈々

(二)尾澤麻友佳・佐藤泰代

[体] ●森さやか・小澤麻美ー鶴澤真緒

(三)本田有依 (二)加藤恵理

【評】東北福祉大学は、4回に2本の長打と、四球、敵失を絡め一挙7点を先制、試合を決定づけた。東京女子体育大学は、2回の好機にあと1本がでず敗退した。

▼第3日（9月1日）決勝戦

大阪国際大学 0001000 : 1
東北福祉大学 102000x : 3

[大] ●中里見友紀子ー柳田優香

(本)矢野悠香

[福] ○高橋真弓ー石田奈々

(三)井上 愛 (二)加藤 恵理

【評】東北福祉大学3年ぶり2度目の優勝。初回に加藤の二塁打で先制し、3回にもナカ押しとな

る2点を加点し3対1で下した。大阪国際大学は、DP矢野の本塁打で一矢を報いた。

大会新記録

[打撃の部] ☆最多本塁打〈大会〉 19本（第37回大会の15本を更新）

☆最高打撃率〈チーム〉 0.714 環太平洋大学（第37回大会の東女体大0.681を更新）

女子大会打撃ベスト20（規定打席数9以上）

左打	位置	選手名	大学名	打席数	打数	安打	得点	打点	犠打	四球	死球	三振	盗塁	残塁	出塁	打妨	本塁打	三塁打	二塁打	打撃率	試合
○	4	小川絵里加	富士	12	12	9	5	3	・	・	・	・	2	2	9	・	1	1	1	0.750	3
○	8R	照沼和	日本体育	9	7	4	1	1	2	・	・	1	・	2	4	・	・	・	・	0.571	3
○	4	佐藤泰代	日女体	14	12	6	1	2	2	・	・	・	・	4	6	・	・	・	2	0.500	4
○	DP	高橋聡美	日女体	12	12	6	2	3	・	・	・	1	2	2	6	・	1	1	2	0.500	4
○	7	高橋恵	日女体	10	10	5	1	・	・	・	・	・	・	2	5	・	・	・	・	0.500	4
○	9	林真心	富士	9	6	3	3	1	2	1	・	・	2	・	4	・	・	1	1	0.500	3
○	3	粕張舞	東北福祉	16	13	6	2	2	・	3	・	2	1	4	9	・	1	1	・	0.462	5
○	6	岡本由香	大阪国際	14	13	6	3	2	・	・	1	・	1	3	7	・	・	1	・	0.462	4
○	2	鶴澤眞緒	東京女体	12	9	4	2	4	・	3	・	1	・	4	7	・	1	・	3	0.444	4
○	2	鹿島唯	日本体育	9	9	4	1	・	・	・	・	1	・	2	4	・	・	・	・	0.444	3
○	4	井上愛	東北福祉	16	14	6	4	4	2	・	・	1	1	2	6	・	・	1	1	0.429	5
○	8	山口絢子	龍谷	9	7	3	・	1	1	1	・	・	・	4	4	・	・	・	1	0.429	3
○	8	城戸絵理沙	東京女体	13	12	5	3	1	・	・	1	・	・	2	6	・	・	・	・	0.417	4
○	5	佐藤このみ	富士	12	10	4	4	4	2	・	・	1	2	1	4	・	・	・	・	0.400	3
○	3	川西梨沙	日本体育	10	10	4	1	1	・	・	・	2	・	1	4	・	・	1	2	0.400	3
○	9	吉田薫	龍谷	10	8	3	2	3	・	1	1	4	・	3	5	・	1	・	1	0.375	3
○	DP	矢野悠香	大阪国際	13	11	4	3	2	1	1	・	1	・	1	5	・	1	・	・	0.364	4
○	DP	原野愛美	東京女体	14	14	5	3	1	・	・	・	1	・	・	5	・	1	・	・	0.357	4
○	1	森さやか	東京女体	12	12	4	2	4	・	・	・	・	・	5	4	・	・	1	1	0.333	4
○	5	種田詩織	大阪国際	12	12	4	1	2	・	・	・	2	・	3	4	・	・	1	・	0.333	4

女子大会投手成績ベスト5（規定投球イニング16以上）

左投	選手名	大学名	投球回	打者数	打数	被安打	失点	自責点	被犠打	与四球	与死球	奪三振	被本塁打	暴投	不正投	投球数	防御率	勝試合	負試合	試合数
○	中里見友紀子	大阪国際	25	104	92	22	5	4	3	7	2	10	・	・	・	447	1.12	3	1	4
○	高橋真弓	東北福祉	29	109	100	19	5	5	5	2	2	27	2	1	・	417	1.21	5	0	5
○	島津あゆみ	龍谷	21	81	71	14	4	4	5	4	1	7	・	・	・	301	1.33	2	1	3
○	重藤恵理佳	日本体育	18	71	60	11	5	4	4	5	2	21	・	・	・	297	1.56	2	1	3
○	河本恵美子	日女体	29	114	98	20	11	7	10	3	3	7	・	1	1	402	1.69	3	1	4

大会講評

試合の流れ —ここ一番での勝負強さ—

広報記録部 矢澤久史

東北福祉大学は、準決勝戦までのすべての試合に圧勝し、決勝の大阪国際大学戦でも序盤に3点を先制して勝負を決め、3年ぶり2回目の優勝を地元で見事に飾った。

1回戦の環太平洋大学×淑徳大学、日本女子体育大×中京大学、2回戦の富士大学×神戸親和女

子大学なども、逆転あり延長ありで、準決勝戦や決勝戦に劣らず、手に汗を握る熱戦であった。伝統校と新興勢力が力と技でぶつかり合う戦国時代と言われる大学女子ソフトボール界、各チームの実力が接近していた本大会において、試合の勝敗を分けたのはピンチを凌ぎチャンスをもにするという、ここ一番での勝負強さの有無であった。そして、試合の流れを引き寄せる勝負強さを一番発揮できていたのが、東北福祉大学であった。

「優しく勝つ」

東北福祉大学女子ソフトボール部主将 加藤恵理

東北福祉大学ソフトボール部に入部してすぐ、私にとって初めてのインカレで、初の日本一を経験しました。この大会で日本一の喜びを知り、先輩方には大きな夢を与えてもらいました。しかし、連覇の壁は高く、2回目のインカレでは、勝負の厳しさを知りました。追われる立場になって初めてわかるプレッシャー。先輩方の力になれなかった悔しさが、自分を強くも厳しくも変えました。そして、過去一番弱いチームと言われて迎えた3回目のインカレでは、優勝こそならなかったものの、チーム一丸となって戦うことの強さを学びました。そして何よりも、先輩方には、真面目に一生懸命取り組むことの大切さ、仲間を思いやる気持ち、人としての生き方を背中であげてもらいました。これまでの経験が、技術的にも、精神的にも、人間的にも、私を大きく成長させてくれました。

この3回のインカレを経て、私たちは今年4回目のインカレを迎えたのです。大学生活最後の年に、地元宮城県でのインカレ開催。そしてその年の北京オリンピックで、日本ソフトボールチームは金メダルを獲得したのです。まさに自分たちに与えられた「運命」だと思いました。新チームになり、ずっとこの日のために乗り越えてきた1年

間。最後まで私たちの味方でいてくれた部長をはじめ監督、コーチ。温かく見守ってくれた父兄の方々。たくさんの方を背中であげてくださいました先輩方。何があっても、ずっとそばで支えてくれた同級生。頼りない自分に最後までついてきて力になってくれた後輩たち。本当にたくさんの方の支えがあつてここまでくることができました。私はこの4年間、ソフトボールを通して競技の裏側にある競技以上に大切なものに触れてきました。「絶対に、この大会で優勝しよう！」と、私たちがどのチームよりも優勝にこだわってきたのには、ただ実力だけで勝つのではなく、この経験があつたからこそ、優勝することで、全ての方に恩返しができると思ったからです。

勝負の世界で、結果だけを見れば力を出せなかったチームがほとんどかもしれません。ですが、どのチームも全力で戦ったと思います。お互いがお互いに全力で戦ったからこそ、記録だけでなく、記憶に残る大会になったのだと思います。大会に入っていくにあたり、日本一になった3年前と同様、今年も雨が心配されましたが、不思議と不安はありませんでした。それよりも、雨の中でも大会運営にあたって下さった女川町の大会役員、関係者の皆様方には、この大会を成功させたいと私

たちのために一生懸命グラウンドの整備にあたって下さる姿、全力でサポートして下さる姿に心を打たれました。東北福祉大がTシャツに掲げた「結束」の文字は、あの場所にいた全ての人を呑み込んでいたように思います。

学生生活4年間の半分以上の時間をソフトボールに費やしてきましたが、幾度となくやめたいと思ったこともありましたが、でも、この日を夢見ていたから、仲間がいたから、頑張ってくるのが

できました。ここでの出会いは、私の一生の宝物です。この経験を、この出会いを、これからも大切にしていきたいと思えます。

最後になりますが、この大会を無事終えることができたのも、大会関係者の皆様をはじめ、この大会に参加し大会を盛り上げてくれた各チームの選手達、多大なるご支援・ご協力を賜りました皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。有難うございました。

学生委員としてインカレに参加して

学連学生副委員長 平野 礼奈(国士舘大学)

私は今回インカレに学生役員として参加させていただきましたが、選手として参加するのと、役員として参加するのではまた一味違い、とても貴重な経験をさせていただいた思いました。

特に開会宣言と閉会宣言を女子会場でさせていただきましたが、インカレの試合が選手にとって大きな舞台であったように、私にとってもとても大きな舞台になりました。

今年のインカレは、宮城県東松島市と女川町の二か所で男女別れて開催されました。途中、天候が悪くなり、男子会場では夜の10時近くまでナイターゲームが行われていたこともありましたが、女子会場でも雨で一日延びてしまい、予備日も使って全日程が終了しました。雨天時の判断というのはとても難しいです。私も東京都のリーグ戦を行う際、雨が降った時はとても悩みます。女子会場は、女川町の実行委員会の方々と学連の先生方が相談をし、日程や時間、グラウンドの割り当てなどを調整して大会運営を行っていました。大会の運営というものは誰か一人で行えるものではありません。ひとりひとりが自分の役割を理解し、全員が協力して参加しなければ成功しません。今回の大会で、大会運営というのはどのように行われているのか、どれだけの人が関わってくれているのか、見えないところで動いてくれている人がた

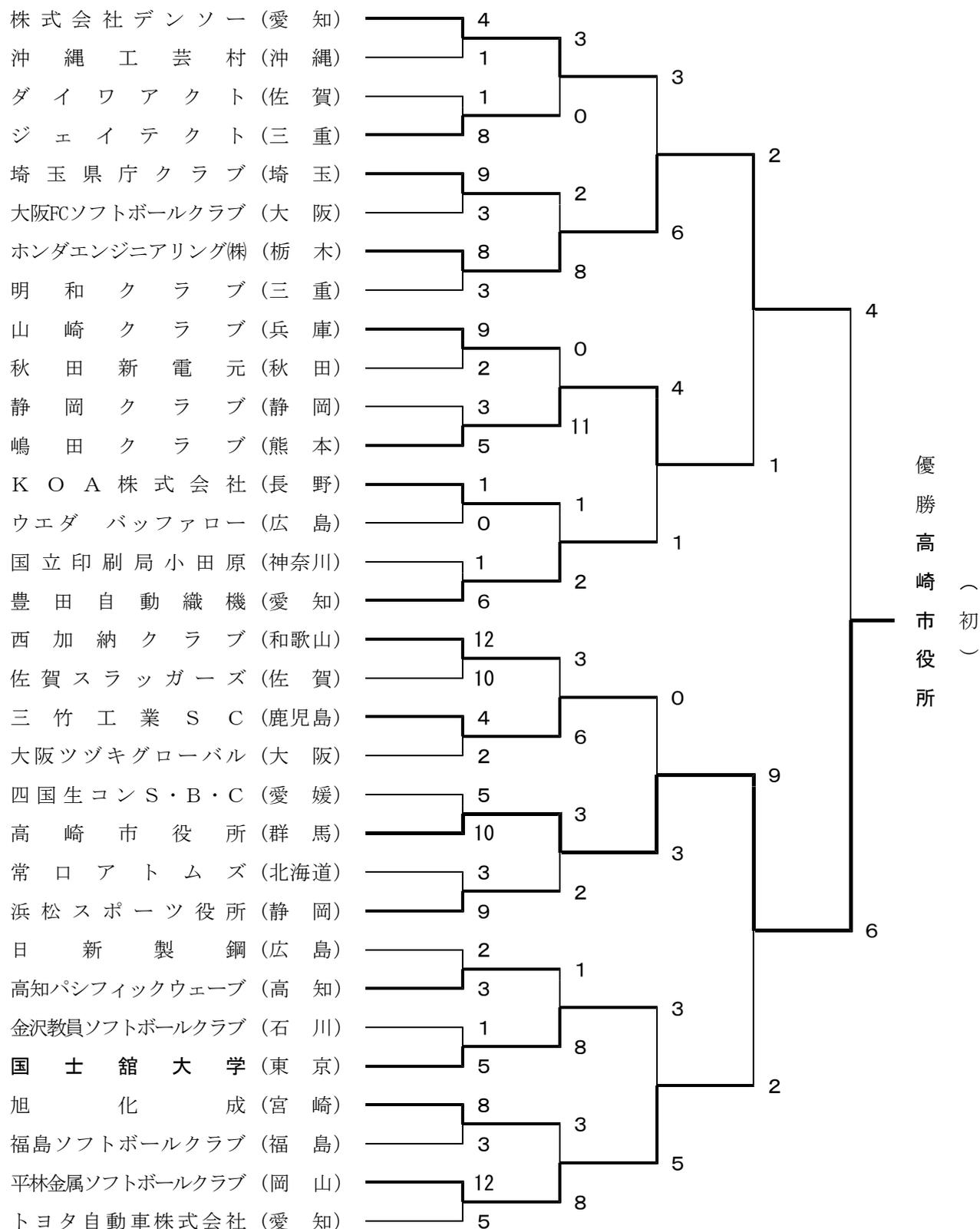
くさんいるのだということなど、様々なことを学びました。各チームに気持ち良く試合をしてもらうためにと、裏方をしてくださる人がいるから、無事に試合が行われ、素晴らしいプレイの数々を見ることができました。各チーム、それぞれのカラーがベンチでも、スタンドでも表れていました。部員数が多いチームもたくさんいましたが、ベンチに入ることができなかった部員も一つとなって応援している姿は、インカレにかける熱い思いを感じました。私が特に感動したのは、あるチームが試合に負けてしまいベンチから引き揚げた後に、ベンチに入っていた下級生がベンチに入ることができなかった4年生たちに対して、「わたしたちがここまでこれたのは4年生の先輩方がいたからです。ありがとうございます。」とあって、さっき表彰でもらったばかりのメダルをスタンドで応援していた4年生に掛けてあげていたところでした。それぞれのチームごとに、ここまでいたる間に様々なことがあったと思いますが、チームの絆を感じ、たまたま通りかかった私も感動してしまいました。

今回のインカレでは特に、大会運営というものについて私はたくさんを学びました。今回学んだことを、今後のリーグ戦運営に生かしていきたいと思っています。充実した5日間でした。

第54回全日本総合男子選手権大会

会期：平成20年9月13日（土）～15日（月）

会場：兵庫県豊岡市／兵庫県立但馬ドーム他

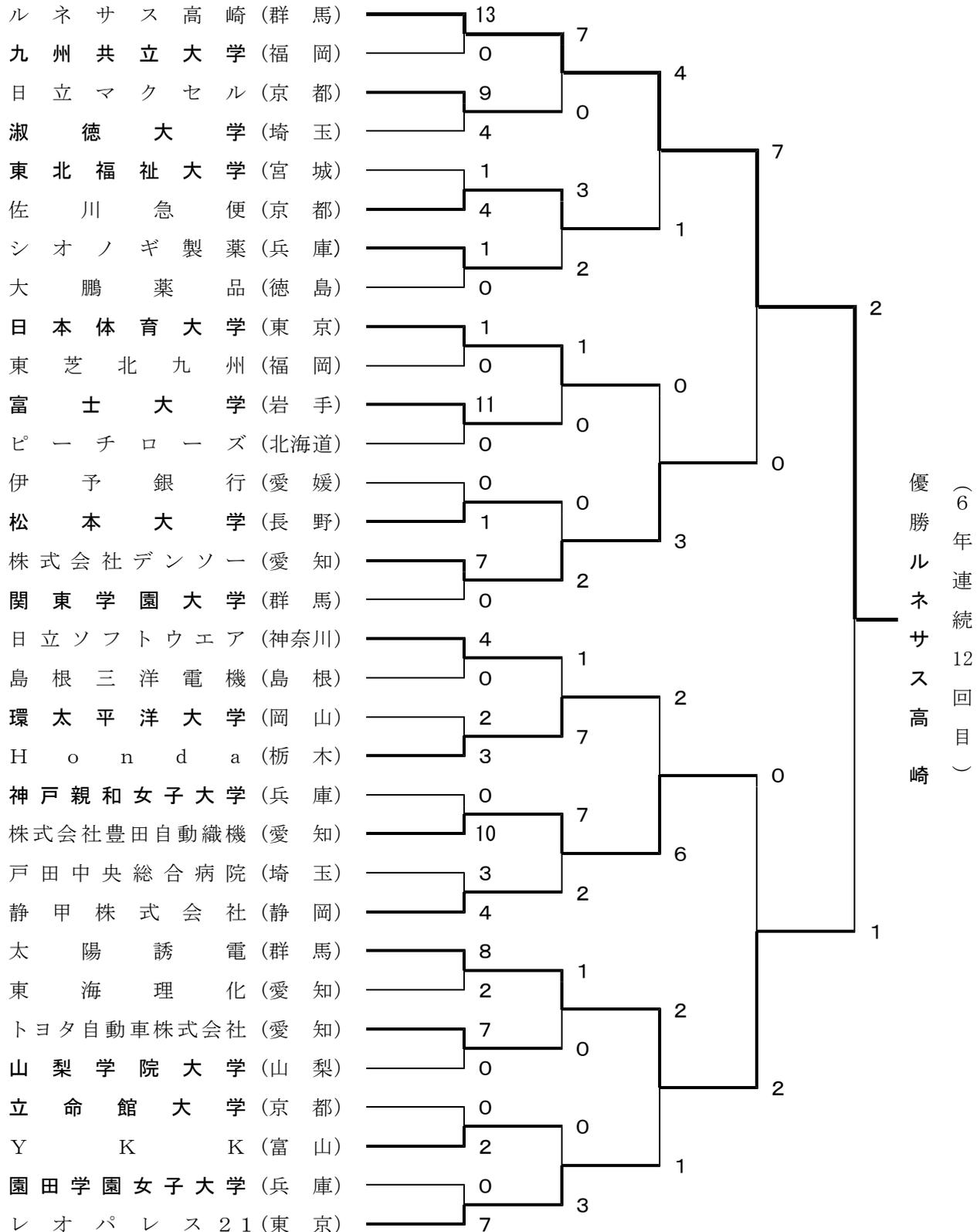


優勝
高崎市役所
(初)

第60回全日本総合女子選手権大会

会期：平成20年9月19日（金）～21日（日）

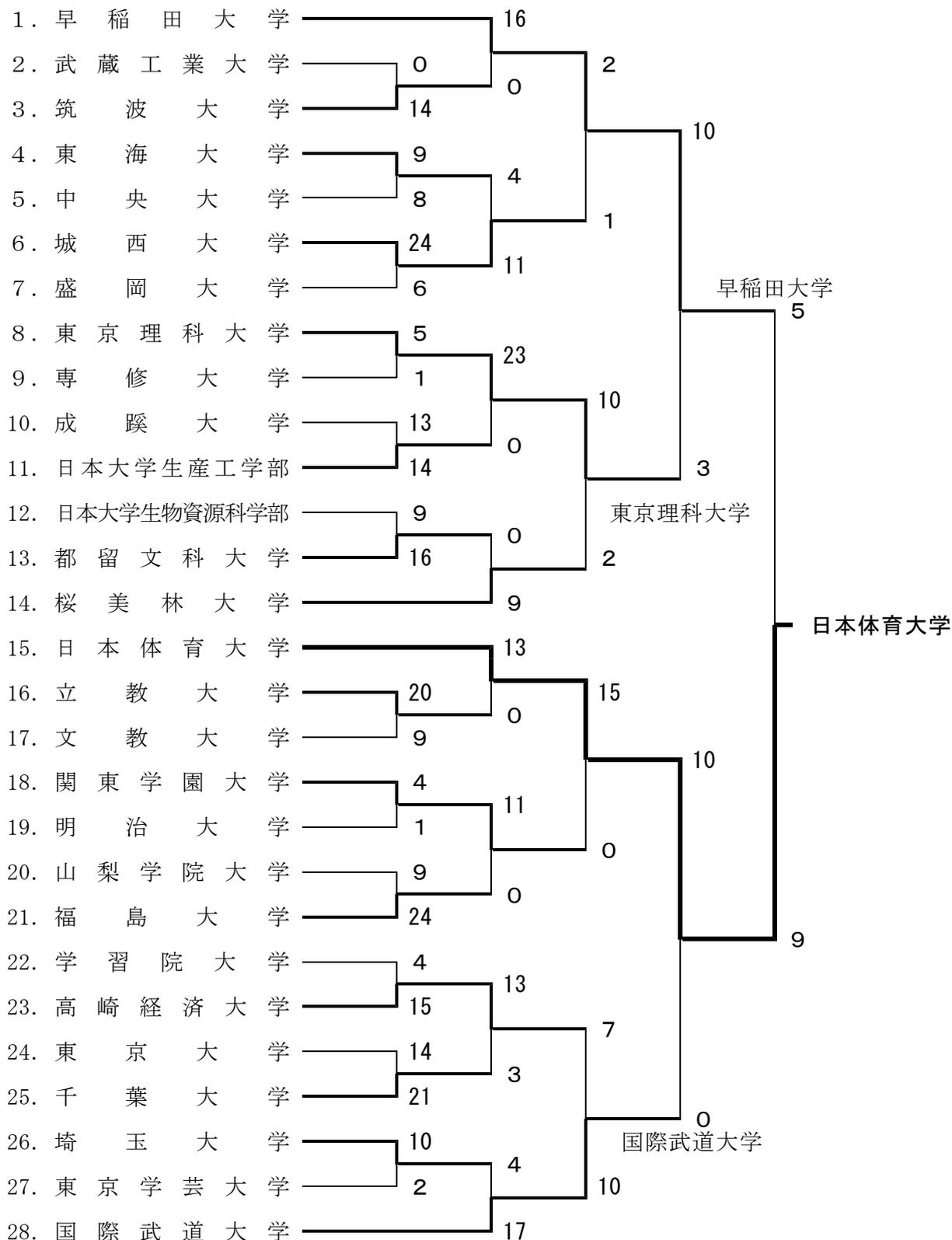
会場：新潟県上越市・糸魚川市／高田公園野球場他



第23回東日本大学(男子)ソフトボール選手権大会

会期：平成20年8月8日(金)～8月10日(日)

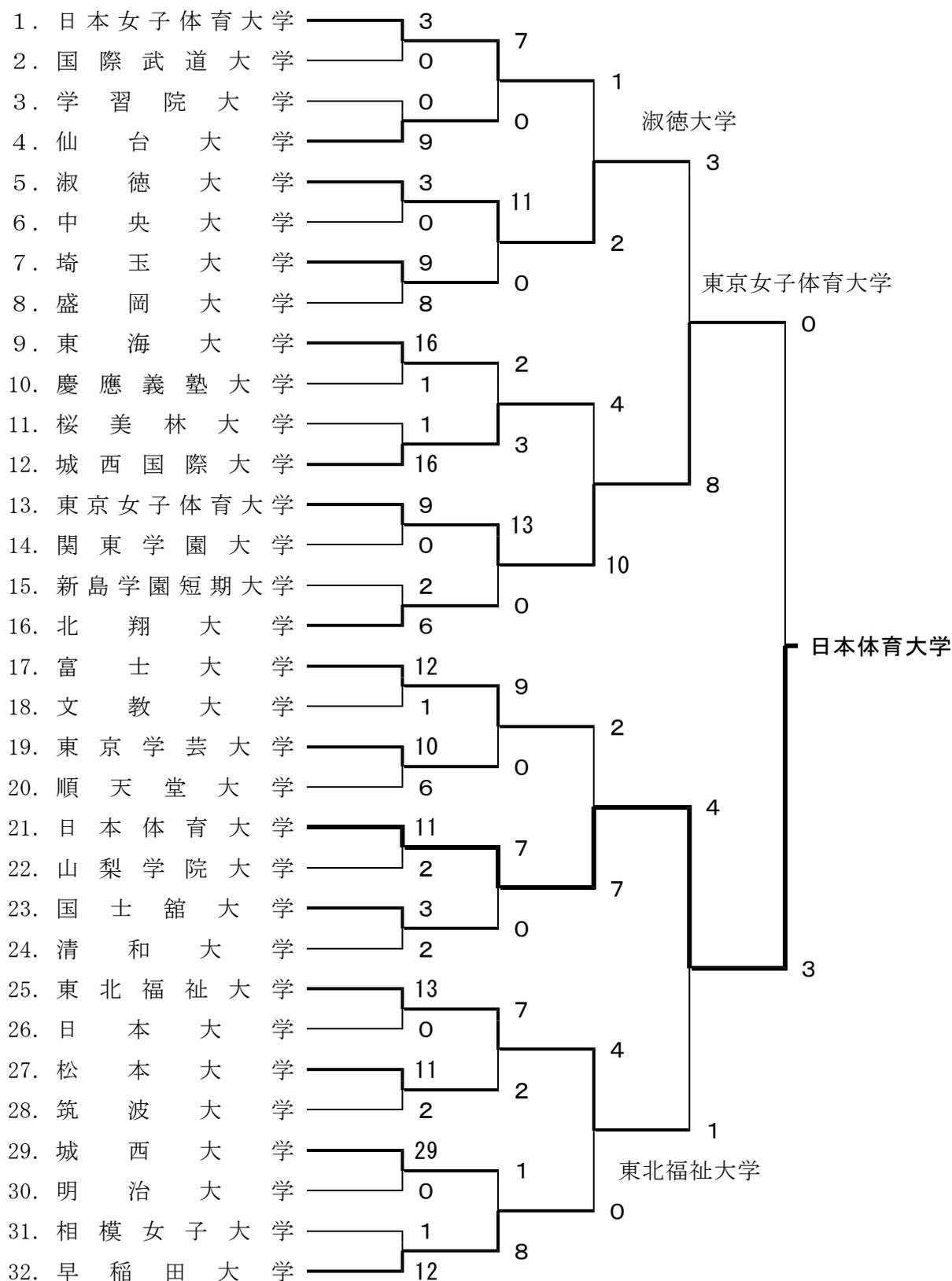
会場：東京都町田市／町田市民球場他



第23回東日本大学(女子)ソフトボール選手権大会

会期：平成20年8月8日(金)～8月10日(日)

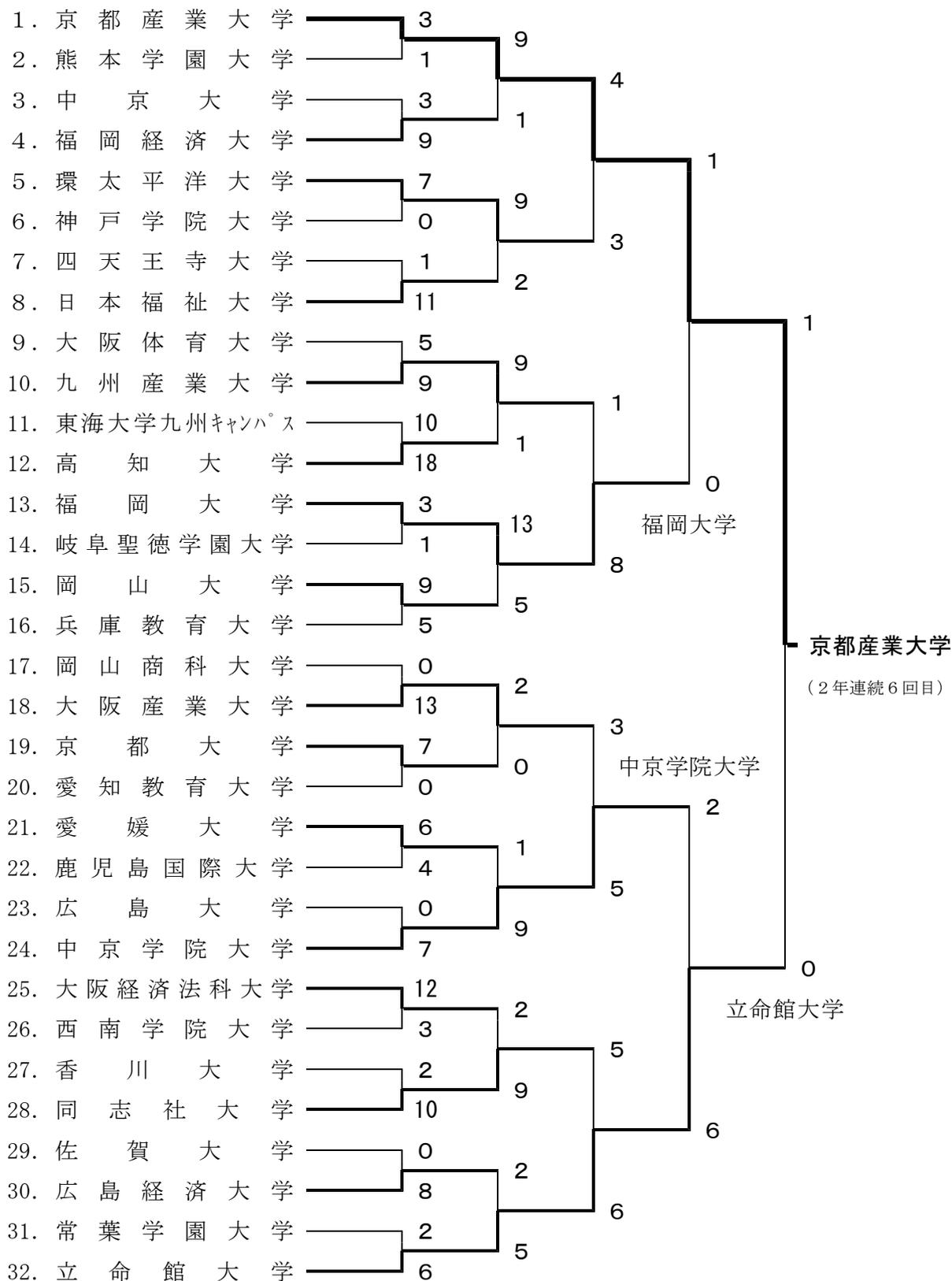
会場：東京都町田市／町田市民球場他



第40回西日本大学(男子)ソフトボール選手権大会

会期：平成20年8月8日(金)～8月10日(日)

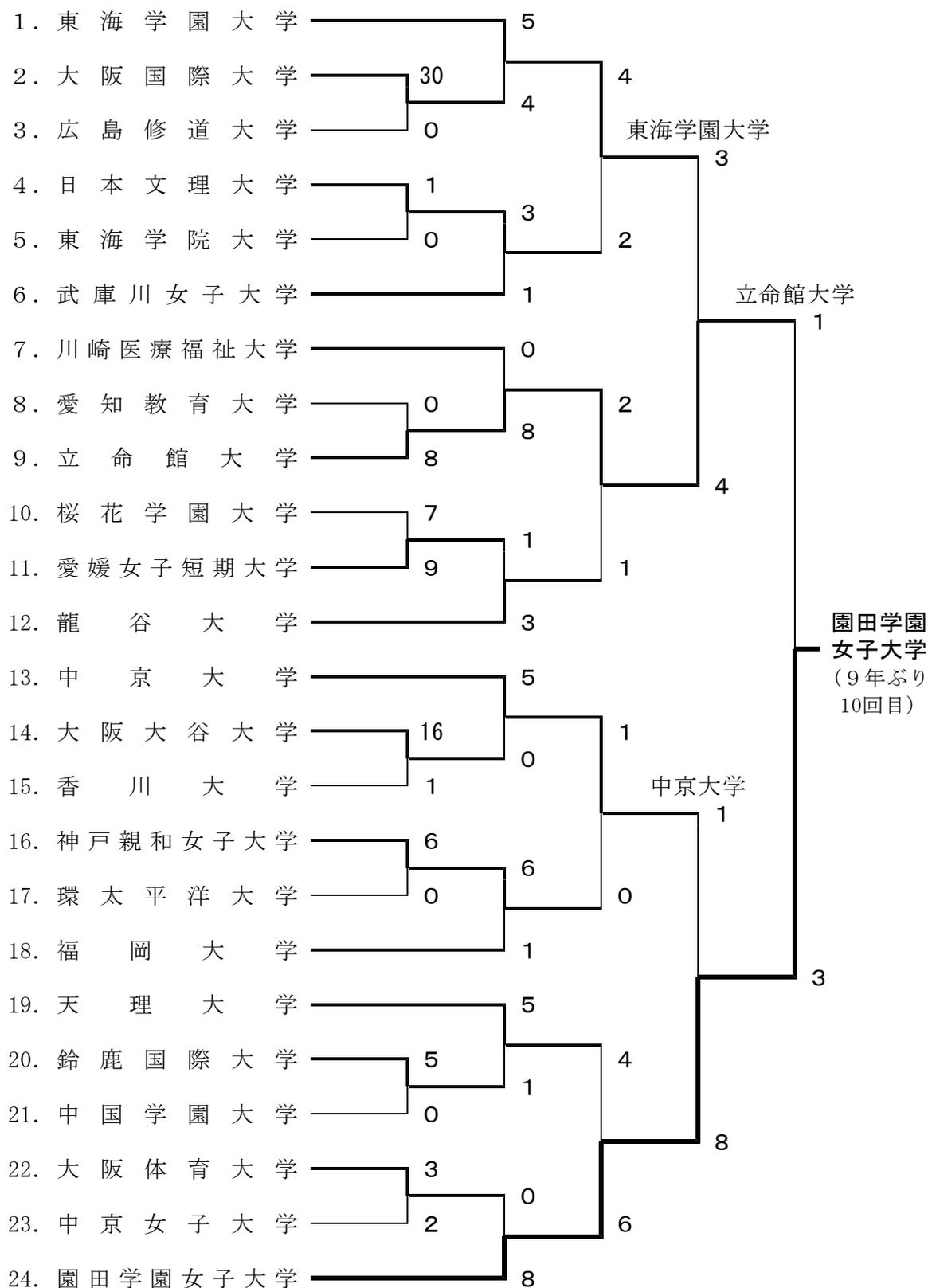
会場：山口県宇部市／東部体育広場他



第40回西日本大学(女子)ソフトボール選手権大会

会期：平成20年8月8日(金)～8月10日(日)

会場：山口県宇部市／東部体育広場他



トヨタ・デンソー・豊田自動織機・東海理化杯
第7回大学ソフトボール東海オープン

会期：平成20年3月12日(水)・13日(木)

会場：愛知県安城市／安城総合運動公園

男子予選リーグ戦（3月12日）

Aグループ	中 京	東京農業	愛知みずほ	順
中 京	-	○10-0	○6-5	1
東京農業	●0-10	-	○9-2	2
愛知みずほ	●5-6	●2-9	-	3

Cグループ	岐阜聖徳	福井県立	南 山	順
岐阜聖徳	-	○22-5	○16-1	1
福井県立	●5-22	-	●6-18	3
南 山	●1-16	○18-6	-	2

Bグループ	中京学院	佐 賀	愛知教育	順
中京学院	-	○7-1	○7-6	1
佐 賀	●1-7	-	○9-5	2
愛知教育	●6-7	●5-9	-	3

Dグループ	常葉学園	京 都	日本福祉	順
常葉学園	-	○7-5	●4-5	2
京 都	●5-7	-	●5-7	3
日本福祉	○5-4	○7-5	-	1

男子順位決定戦（3月13日）

1～4位決定戦

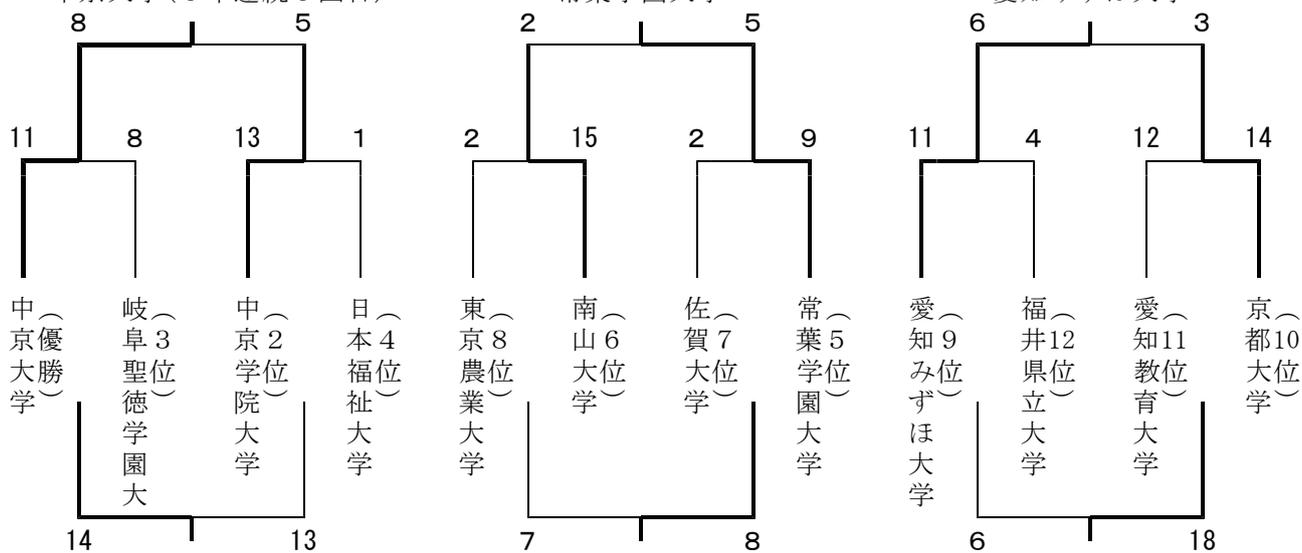
中京大学(3年連続3回目)

5～8位決定戦

常葉学園大学

9～12位決定戦

愛知みずほ大学



男子個人表彰

・最優秀選手賞：岡田倫明（中京大学）

・敢闘選手賞：川崎祐介（中京学院大学）

女子予選リーグ戦（3月12日）

Eグループ	中京	国士舘	東海学院	順
中京	-	△1-1	○2-0	1
国士舘	△1-1	-	○3-1	2
東海学院	●0-2	●1-3	-	3

Gグループ	松本	立命館	中京女子	順
松本	-	●0-4	●6-8	3
立命館	○4-0	-	○9-2	1
中京女子	○8-6	●2-9	-	2

※1・2位は失点率による。

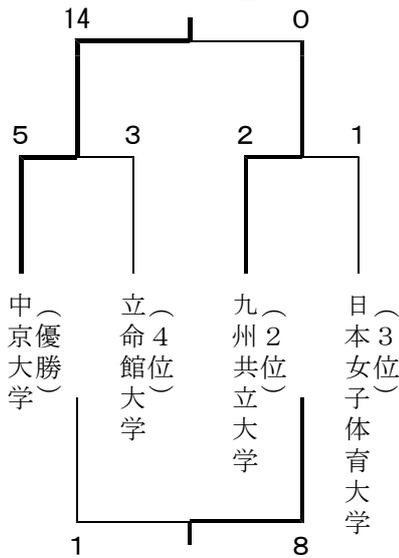
Fグループ	九州共立	愛知教育	桜花学園	順
九州共立	-	○2-1	○6-3	1
愛知教育	●1-2	-	○7-4	2
桜花学園	●3-6	●4-7	-	3

Hグループ	日本文理	日女体	日本福祉	順
日本文理	-	●2-7	○8-3	2
日女体	○7-2	-	○15-0	1
日本福祉	●3-8	●0-15	-	3

女子順位決定戦（3月13日）

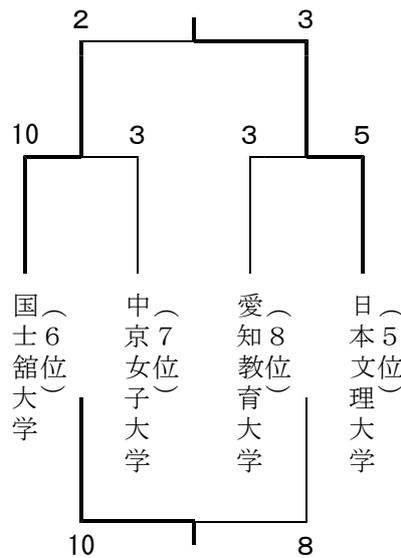
1～4位決定戦

中京大学（2年連続3回目）



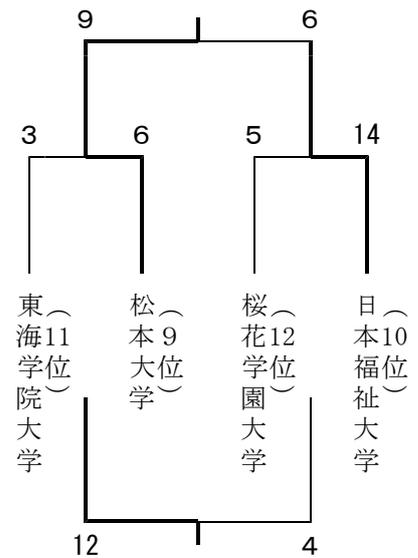
5～8位決定戦

日本文理大学



9～12位決定戦

松本大学



女子個人表彰

・最優秀選手賞：小沢佳那子（中京大学）

・敢闘選手賞：森永千代穂（九州共立大学）

講評

春の温かい日差しに恵まれ、球春を告げる大会は、九州から東京までの男女24チームによって、二日間にわたる熱戦が繰り広げられた。終わってみれば、地元、中京大学の2年連続アベック優勝で幕を閉じたわけであるが、各試合にそれぞれ見どころがあった。しかし、男女とも本塁打が飛び

交い、完封試合が女子決勝戦の1試合しかないという、各チームにとって、投手力と守備力に大きな課題を残す大会でもあった。これから各地区で開催されるインカレ予選や夏のインカレに向けて、本大会で浮き彫りになった課題を修正して臨んでもらいたい。（東海地区大学ソフトボール連盟理事長 水谷 博）

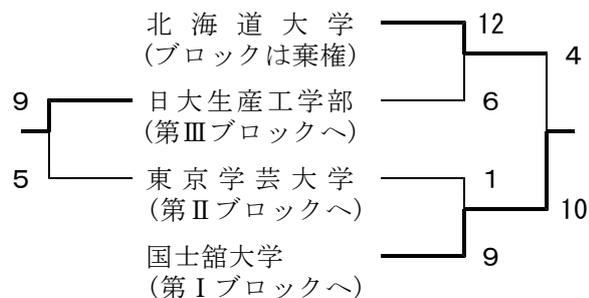
第10回千葉オープンチャレンジカップ・ソフトボールフェスティバル

会期：平成20年3月25日(火)・26日(水)

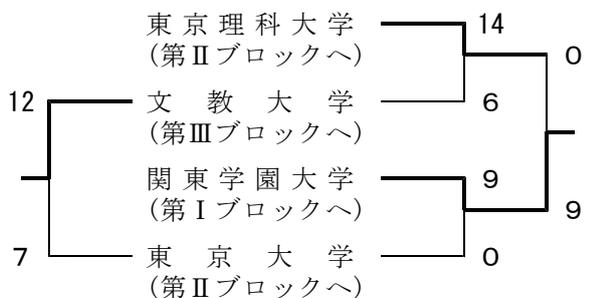
会場：千葉県野田市／東京理科大学ソフトボール球場

予選トーナメント

Aブロック (4チームによるトーナメント)



Bブロック (4チームによるトーナメント)



Cブロック (3チームによるリーグ戦)

学習院大学 9-8 千葉大学

岐阜聖徳学園大学 11-2 千葉大学

岐阜聖徳学園大学 4-1 学習院大学
 (第Ⅰブロックへ)

順位決定トーナメント

第Ⅰブロック (3チームによるリーグ戦)

岐阜聖徳学園大学 7-3 関東学園大学

国士舘大学 6-2 関東学園大学

岐阜聖徳学園大学 4-3 国士舘大学

第Ⅱブロック (3チームによるリーグ戦)

東京学芸大学 9-6 東京大学

東京理科大学 8-1 東京大学

東京理科大学 14-1 東京学芸大学

第Ⅲブロック (3チームによるリーグ戦)

文教大学 10-2 日本大学生産工学部

[以下、記録不明]

※本大会は、シーズン・スタート前の研修大会である。合計13チームの参加申し込みがあったが、雨天順延のために途中棄権のチームもあり、90分の制限時間を設けた変則的な開催となった。

第9回「峠のまち」Matsuida Cup 男・女大学ソフトボール強化大会

会期：平成20年4月19日(土)～20日(日)

会場：群馬県安中市／横川ふれあい運動公園野球場・坂本スポーツ広場

松井田町／西横野多目的広場野球場・小日向農村広場

男子 横川リーグ

チーム	千葉	山梨学院	関東学園	長野	勝	分	敗	順位
千葉	-	● 5-14	● 3-11	○ 20-2	1	0	2	3位
山梨学院	○ 14-5	-	● 0-15	○ 14-12	2	0	1	2位
関東学園	○ 11-3	○ 15-0	-	○ 32-1	3	0	0	1位
長野	● 2-20	● 12-14	● 1-32	-	0	0	3	4位

男子 碓氷リーグ

チーム	信 州	高崎経済	都留文科	城 西	勝	分	敗	順 位
信 州	-	△ 4 - 4	● 4 - 9	● 2 - 6	0	1	2	4 位
高崎経済	△ 4 - 4	-	○ 10 - 0	● 0 - 8	1	1	1	2 位
都留文科	○ 9 - 4	● 0 - 10	-	● 3 - 6	1	0	2	3 位
城 西	○ 6 - 2	○ 8 - 0	○ 6 - 3	-	3	0	0	1 位

男子順位決定戦

◇ 1 - 2 位決定戦：

関東学園大学 7 - 0 城西大学

◇ 3 - 4 位決定戦：

高崎経済大学 12 - 2 山梨学院大学

◆ 5 - 6 位決定戦：

千葉大学 11 - 1 都留文科大学

◆ 7 - 8 位決定戦：

信州大学 16 - 4 長野大学

女子 西横野リーグ

チーム	東 海	松 本	城 西	東北福祉	勝	分	敗	順 位
東 海	-	● 0 - 8	○ 4 - 3	● 0 - 10	1	0	2	4 位
松 本	○ 8 - 0	-	● 5 - 6	● 0 - 2	1	0	2	2 位
城 西	● 3 - 4	○ 6 - 5	-	● 0 - 10	1	0	2	3 位
東北福祉	○ 10 - 0	○ 2 - 0	○ 10 - 0	-	3	0	0	1 位

※ 2 ~ 4 位は大会規定による。

女子 小日向リーグ

チーム	相模女子	新島短期	山梨学院	関東学園	勝	分	敗	順 位
相模女子	-	● 5 - 13	● 0 - 10	● 3 - 4	0	0	3	4 位
新島短期	○ 13 - 5	-	● 1 - 5	● 0 - 8	1	0	2	3 位
山梨学院	○ 10 - 0	○ 5 - 1	-	○ 3 - 2	3	0	0	1 位
関東学園	○ 4 - 3	○ 8 - 0	● 2 - 3	-	2	0	1	2 位

女子順位決定戦

◇ 1 - 2 位決定戦：

東北福祉大学 4 - 1 山梨学院大学

◇ 3 - 4 位決定戦：

松本大学 0 - 0 関東学園大学

※大会規定により関東学園大学の勝ち

◆エキシビジョン

新島短期大学 10 - 2 東海大学

◆エキシビジョン

城西大学 8 - 4 相模女子大学

第5回 北信越大学オープンソフトボール大会

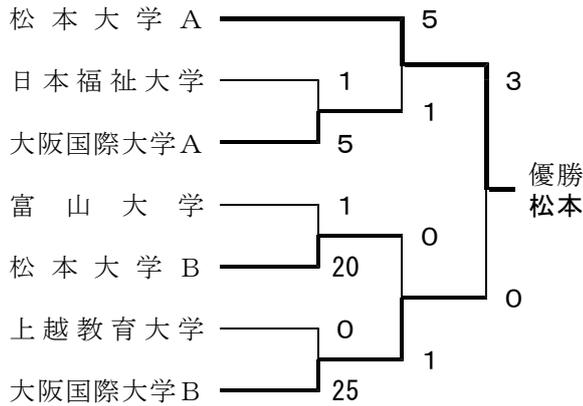
会期：平成20年6月7日(土)・8日(日)

会場：新潟県長岡市／信濃川右岸運動公園ソフトボール場

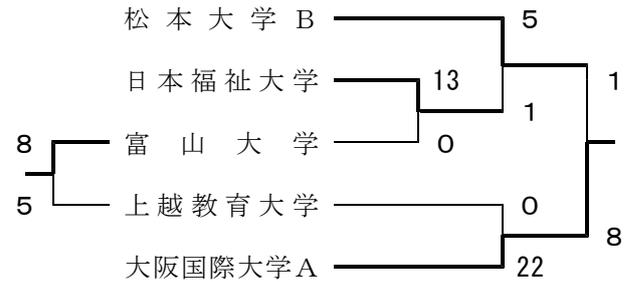
男子大会結果

富山大学 10
 高崎経済大学 6
 優勝 富山大学

女子大会結果



女子敗者戦



第7回全日本女子学生ソフトボール大会IN八幡浜

会期：平成20年8月23日(土)～24日(日)

会場：愛媛県八幡浜市／八幡浜スポーツパーク他

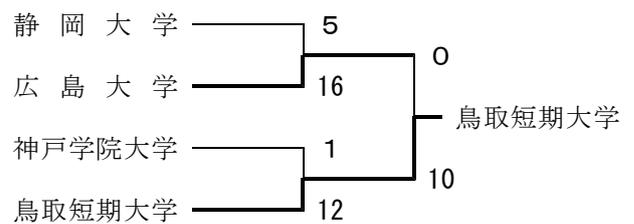
【予選リーグ】

A	愛 短	静 岡	神 戸	武庫川	順
愛媛女子短	-	○ 19-0	* 7-0	○ 7-0	1
静 岡	● 0-19	-	● 2-5	* 7-0	4
神戸学院	* 5-2	○ 5-2	-	雨天 中止	抽選 2
武庫川女子	● 0-7	* 5-2	雨天 中止	-	抽選 3

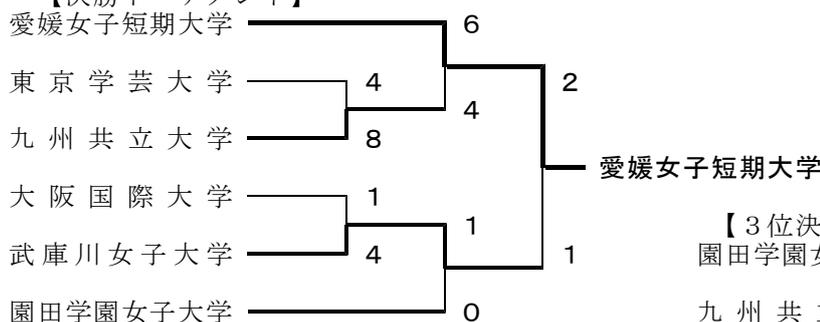
B	園 田	広 島	東 学	順
園田学園	-	○ 8-0	○ 5-1	1
広 島	● 0-8	-	● 3-7	3
東京学芸	● 1-5	○ 7-3	-	2

C	大 阪	鳥 取	九 州	順
大阪国際	-	○ 1-0	△ 1-1	点差 2
鳥取短期	● 0-1	-	● 2-5	3
九州共立	△ 1-1	○ 5-2	-	点差 1

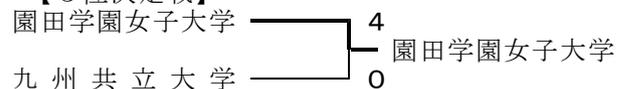
【エキストラマッチ】



【決勝トーナメント】



【3位決定戦】



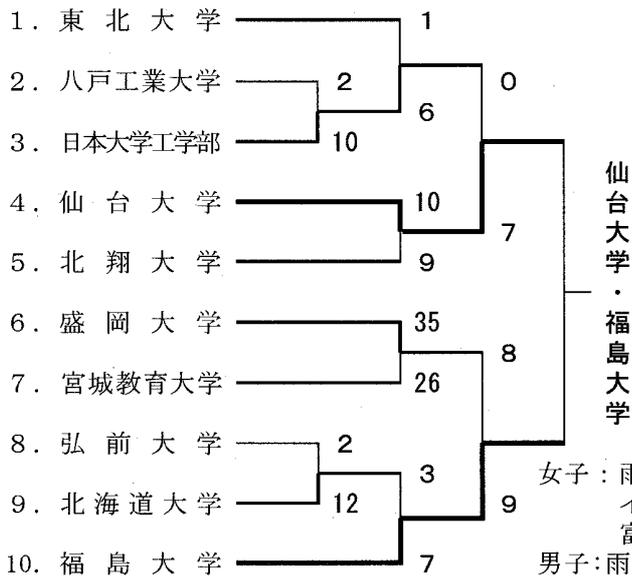
【北海道・東北地区】

第29回北海道・東北地区大学ソフトボール選手権大会
兼、第43回全日本大学ソフトボール選手権大会北海道・東北地区予選会

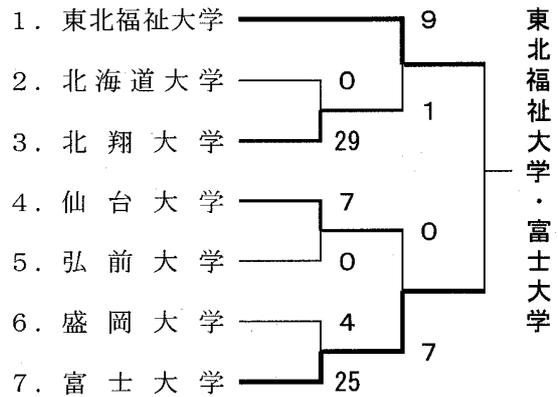
会期：平成20年5月24日(土)～25日(日)

会場：青森県八戸市／八戸工業大学・新井田公園多目的広場

男子選手権



女子選手権



【関東地区】 第3回関東学生男子ソフトボール春季リーグ戦

会期：平成20年5月5日(月)・6日(火)・10日(土)・11日(日)

会場：埼玉県坂戸市／坂戸市民総合運動公園他

I部リーグ

チーム	国際武道	関東学園	高崎経済	文教	東京理科	東海	城西	順位
国際武道	● 4-6	△ 3-3	○ 5-4	○ 9-8	○ 8-1	○ 9-2	優勝	
関東学園	○ 6-4	● 1-21	○ 11-3	● 5-13	○ 15-9	● 1-8	2位	
高崎経済	△ 3-3	● 8-14	● 3-11	● 1-9	● 6-8	○ 9-5	6位	
文教	● 4-5	● 3-6	○ 13-5	○ 9-1	△ 1-1	△ 8-8	4位	
東京理科	● 8-9	○ 7-6	● 9-15	○ 8-6	△ 1-1	○ 3-2	3位	
東海	● 1-8	○ 7-0	○ 8-1	● 5-9	△ 8-8	● 2-3	5位	
城西	● 2-9	○ 7-0	○ 8-1	● 5-9	△ 8-8	● 2-3	5位	

※5-6位は大会規定による。

Ⅱ部リーグ

チーム	千 葉	日大生資	都留文科	茨 城	山梨学院	埼 玉	勝	分	敗	順 位
千 葉		○14-8	○12-1	●4-16	○10-9	○19-2	4	0	1	2位
日大生資	●8-14		○8-6	●4-6	●3-16	●7-8	1	0	4	6位
都留文科	●1-12	●6-8		○14-4	○9-5	○13-4	3	0	2	3位
茨 城	○16-4	○6-4	●4-14		○14-1	○4-3	4	0	1	1位
山梨学院	●9-10	○16-3	●5-9	●1-14		●2-6	1	0	4	5位
埼 玉	●2-19	○8-7	●4-13	●3-4	○6-2		2	0	3	4位

※1~2位、5~6位は大会規定による。

Ⅲ部リーグ

チーム	筑 波	芝浦工業	城西国際	東京国際	勝	分	敗	順 位
筑 波		○10-2	○8-2	○14-2	3	0	0	1位
芝浦工業	●2-10		○19-2	○26-11	2	0	1	2位
城西国際	●2-8	●2-19		○16-7	1	0	2	3位
東京国際	●2-14	●11-26	●7-16		0	0	3	4位

I部Ⅱ部入替戦

文教大学(I部7位) 6-0 茨城大学(Ⅱ部1位) ※文教大学はI部残留

Ⅱ部Ⅲ部入替戦

日大生物資源科学部(Ⅱ部6位) 15-8 筑波大学(Ⅲ部1位) ※日大生物資源科学部はⅡ部残留

第3回関東学生女子ソフトボール春季リーグ戦

会期：平成20年5月5日(月)・6日(火)・10日(土)・11日(日)

会場：埼玉県毛呂山町／大類ソフトボールパーク他

I部リーグ

チーム	東 海	城 西	清 和	淑 徳	新島学園	国際武道	勝	分	敗	順 位
東 海		○4-0	●0-1	○8-4	○6-5	○5-3	4	0	1	優勝
城 西	●0-4		●0-1	●1-8	○7-0	○3-1	2	0	3	4位
清 和	○1-0	○1-0		●0-12	○7-5	△6-6	3	1	1	3位
淑 徳	●4-8	○8-1	○12-0		○4-0	○6-1	4	0	1	2位
新島学園	●5-6	●0-7	●5-7	●0-4		△3-3	0	1	3	6位
国際武道	●3-5	●1-3	△6-6	●1-6	△3-3		0	2	3	5位

※1~2位は大会規定による。

Ⅱ部リーグ

チーム	城西国際	国際武道	順天堂	文教	筑波	勝	分	敗	順位
城西国際	-	○8-7	○14-1	○8-1	○5-0	4	0	0	1位
国際武道	●7-8	-	○5-2	○6-5	△4-4	2	1	1	3位
順天堂	●1-14	●2-5	-	○18-1	●2-5	1	0	3	4位
文教	●1-8	●5-6	●1-18	-	●2-7	0	0	4	5位
筑波	●0-5	△4-4	○5-2	○7-2	-	2	1	1	2位

※2位～3位は大会規定による。

Ⅲ部リーグ

チーム	埼玉	茨城	山梨学院	勝	分	敗	順位
埼玉	-	○19-2 ○9-2	●1-12 ●0-14	2	0	2	2位
茨城	●2-19 ●2-9	-	●0-11 ●0-23	0	0	4	3位
山梨学院	○12-1 ○14-0	○11-0 ○23-0	-	4	0	0	1位

I部Ⅱ部入替戦

新島学園短期大学(I部6位) 0-11 城西国際大学(Ⅱ部1位) ※城西国際大学はI部昇格

Ⅱ部Ⅲ部入替戦

文教大学(Ⅱ部5位) 1-12 山梨学院大学(Ⅲ部1位) ※山梨学院大学はⅡ部昇格

第16回関東学生ソフトボール選手権大会

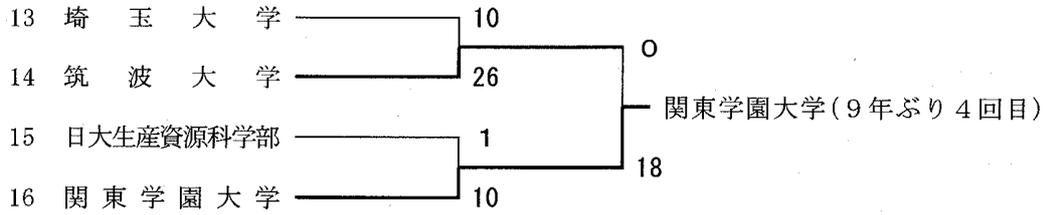
兼 第43回全日本大学ソフトボール選手権大会関東地区予選会

会期：平成20年5月24日(土)・25日(日)

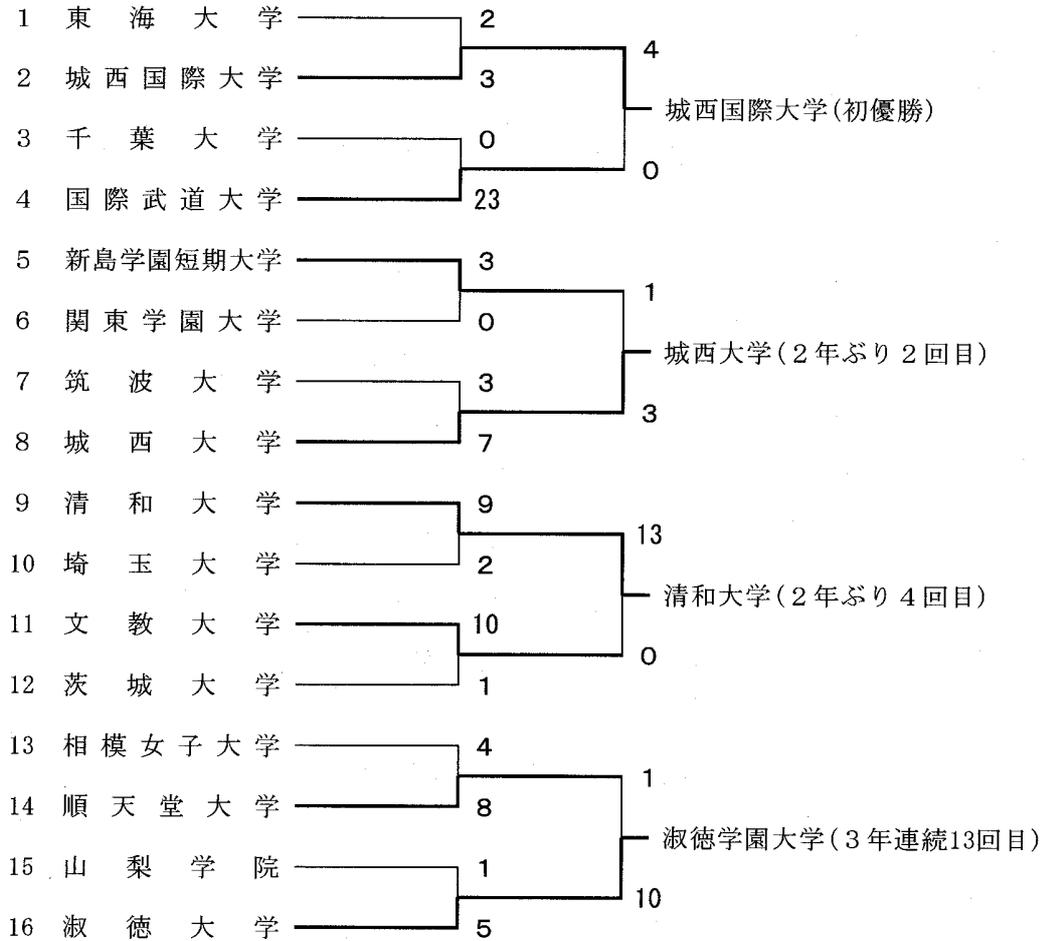
会場：千葉市／稲毛海浜公園野球場他(男子)・市原市／養老川臨海球場他(女子)

男子





女子



※大会二日目は、前夜からの雨が上がりず準決・決勝の戦いが中止となった。そのため、男女ともに四大学同時優勝で大会を終了することとなった。今夏のインカレには、優勝したそれぞれ

4大学が出場する。特に、女子の城西国際大学は初めての出場であり、フレッシュな旋風を期待したい。

第8回関東学生男子ソフトボール秋季リーグ戦

会期：平成20年10月11日(土)・12日(日)・13日(月)

会場：埼玉県東松山市／駒形公園ソフトボール場、毛呂山町／大類ソフトボールパーク他

I 部リーグ

チーム	国際武道	関東学園	東 海	東京理科	城 西	高崎経済	文 教	順 位
国際武道		○14-6	○3-2	○5-0	○10-1	●8-10	●6-10	優勝
関東学園	●6-14		●1-2	●2-9	○10-2	○3-2	○7-6	4位
東 海	●2-3	○2-1		●4-8	○5-1	○15-1	●0-4	3位
東京理科	●0-5	○9-2	○8-4		●6-7	○7-4	○8-7	2位
城 西	●1-10	●2-10	●1-5	○7-6		●3-7	●7-11	7位
高崎経済	○10-8	●2-3	●1-15	●4-7	○7-3		○8-6	5位
文 教	○10-6	●6-7	○4-0	●7-8	○11-7	●6-8		6位

※1~2位、3~6位は大会規定による。

II 部リーグ

チーム	茨 城	千 葉	都留文科	埼 玉	山梨学院	日大生資	勝	分	敗	順 位
茨 城		●11-12	○12-2	○9-7	○9-6	○8-2	4	0	1	2位
千 葉	○12-11		○12-9	○8-6	○22-7	○8-6	5	0	0	1位
都留文科	●2-12	●9-12		○11-9	○14-11	○8-1	3	0	2	3位
埼 玉	●7-9	●6-8	●9-11		○11-6	●6-11	1	0	4	5位
山梨学院	●6-9	●7-22	●11-14	●6-11		●4-12	0	0	5	6位
日大生資	●2-8	●6-8	●1-8	○11-6	○12-4		2	0	3	4位

III 部リーグ

チーム	筑 波	芝浦工業	城西国際	中央学院	日大生資	勝	分	敗	順 位
筑 波		○9-4	○20-3	○22-1	○11-10	4	0	0	1位
芝浦工業	●4-9		○6-2	○11-0	△9-9	2	1	1	3位
城西国際	●3-20	●2-6		●12-21	●12-27	0	0	4	5位
中央学院	●1-22	●0-11	○21-12		●5-20	1	0	3	4位
日大生産	●10-11	△9-9	○27-12	○20-5		2	1	1	2位

※2~3位は大会規定による。

I 部II 部入替戦 10月18日(土)

城西大学(I 部7位) 17-7 千葉大学(II 部1位) ※城西大学はI 部残留

II 部III 部入替戦

山梨学院大学(II 部6位) 4-11 筑波大学(III 部1位) ※筑波大学はII 部昇格



第8回関東学生女子ソフトボール秋季リーグ戦

会期：平成20年10月11日(土)・12日(日)・13日(月)

会場：埼玉県毛呂山町／大類ソフトボールパーク・鶴ヶ島市／鶴ヶ島市運動公園

I部リーグ

チーム	東海	淑徳	清和	城西	関東学園	城西国際	勝	分	敗	順位
東海	-	●1-7	○8-3	●0-2	●0-7	●3-5	1	0	4	5位
淑徳	○7-1	-	○3-1	○8-0	○2-1	○7-0	5	0	0	優勝
清和	●3-8	●1-3	-	●0-2	●0-11	△5-5	0	1	4	6位
城西	○2-0	●0-8	○2-0	-	●0-2	●7-8	2	0	3	4位
関東学園	○7-0	●1-2	○11-0	○2-0	-	○9-0	4	0	1	2位
城西国際	○5-3	●0-7	△5-5	○8-7	●0-9	-	2	1	2	3位

II部リーグ

チーム	新島学園	筑波	国際武道	順天堂	山梨学院	勝	分	敗	順位
新島学園	-	○4-3	○5-4	●4-8	●0-7	2	0	2	2位
筑波	●3-4	-	●0-6	△0-0	●0-6	0	1	3	5位
国際武道	●4-5	○6-0	-	○8-0	●1-3	2	0	2	3位
順天堂	○8-4	△0-0	●0-8	-	●0-7	1	1	2	4位
山梨学院	○7-0	○6-0	○3-1	○7-0	-	4	0	0	1位

※2位～3位は大会規定による。

III部リーグ

チーム	文教	埼玉	茨城	相模女子	日大生資	勝	分	敗	順位
文教	-	△2-2	○11-4	○7-0	○8-0	3	1	0	1位
埼玉	△2-2	-	○4-3	○5-3	△4-4	2	2	0	2位
茨城	●4-11	●3-4	-	●0-9	△6-6	0	1	3	5位
相模女子	●0-7	●3-5	○9-0	-	○6-3	2	0	2	3位
日大生資	●0-8	△4-4	△6-6	●3-6	-	0	2	2	4位

I部II部入替戦 10月18日(土)

清和大学(I部6位) 2-9 山梨学院大学(II部1位) ※山梨学院大学はI部昇格

II部III部入替戦

筑波大学(II部5位) 2-0 文教大学(III部1位) ※筑波大学はII部残留

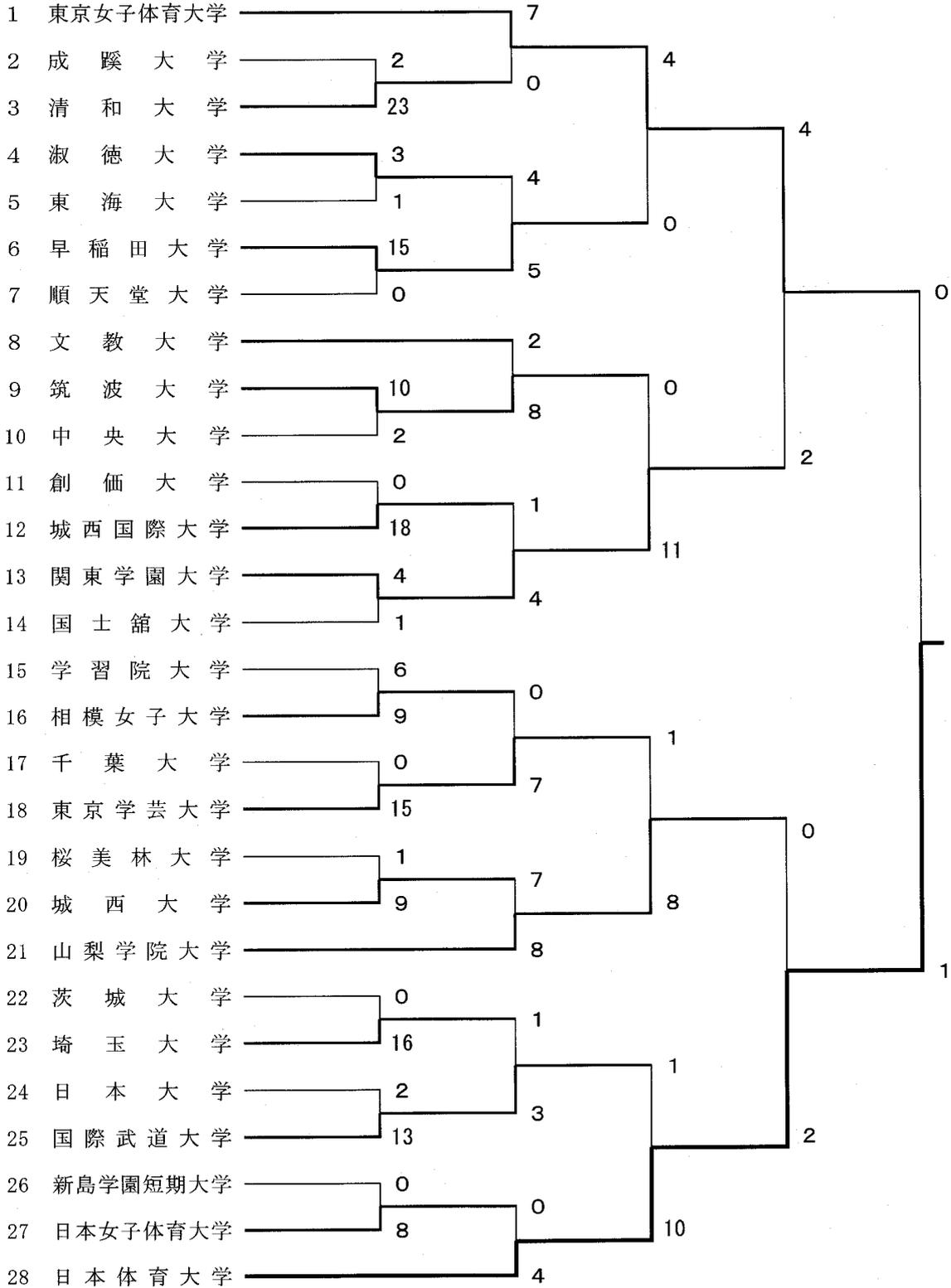


第39回関東大学ソフトボール選手権大会

会期：20年11月1日(土)～3日(月)

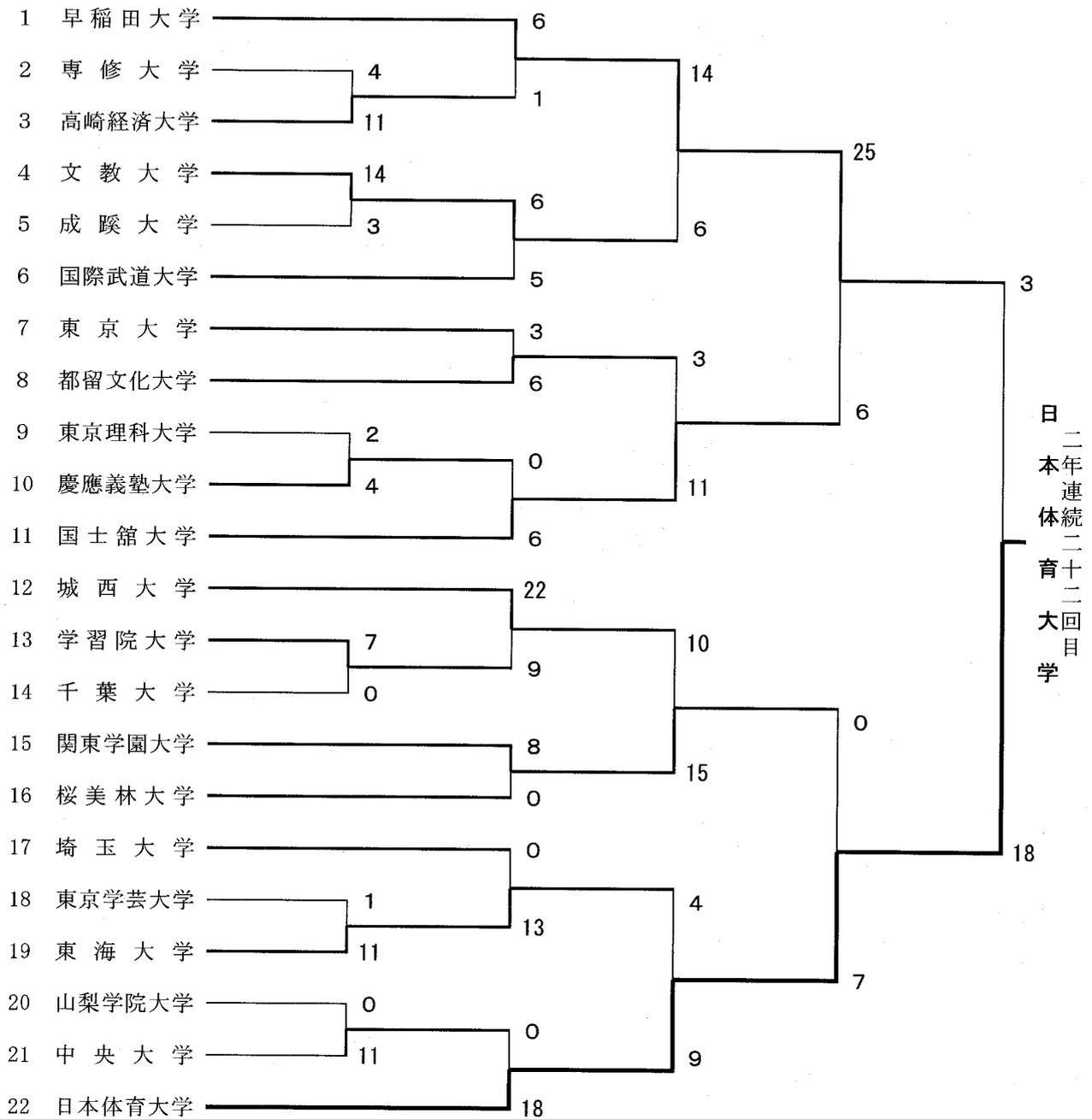
会場：神奈川県相模原市／昭和橋スポーツ広場他

女子



日本二年連続
体育第十五回
目大学

男子



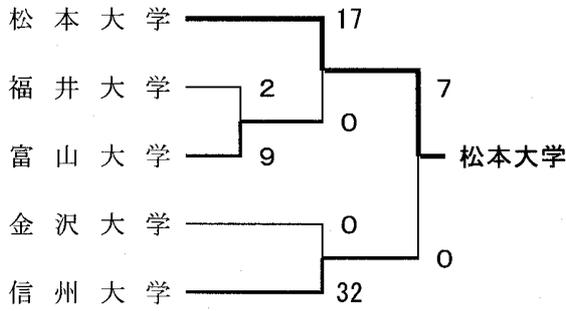
【北信越地区】

第14回北信越地区大学男子・女子ソフトボール選手権大会
(兼、文部科学大臣杯第43回全日本大学ソフトボール選手権大会予選会)

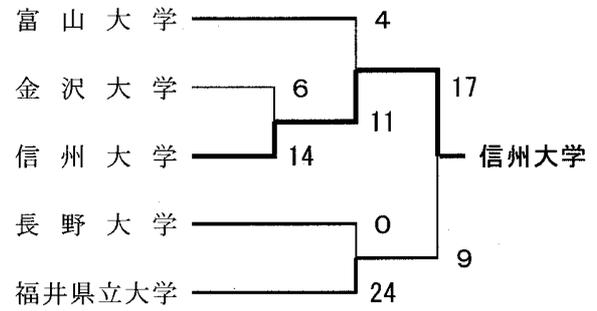
会期：平成20年5月24日(土)・25日(日)

会場：石川県金沢市／専光寺ソフトボール球場

女子

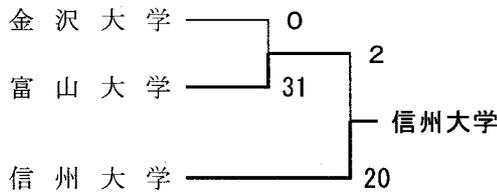


男子



※信州大学(3年ぶり6回目)がインカレ出場権を獲得

女子敗者復活戦



※松本大学(3年連続3回目)がインカレ出場権を獲得
 ※信州大学(3年ぶり6回目)がインカレ出場権を獲得

第14回北信越大学新人ソフトボール選手権大会

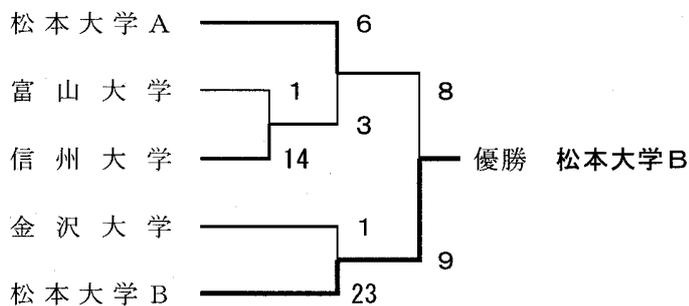
会期：平成20年9月13日(土)・14日(日)

会場：長野県安曇野市／有明運動場・西穂高運動場

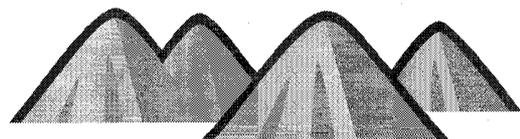
男子

チーム	金 沢	福井県立	富 山	信 州	勝	分	敗	順 位
金 沢		● 3 - 23	● 10 - 21	● 2 - 17	0	0	3	4位
福井県立	○ 23 - 3		● 2 - 9	● 4 - 5	1	0	2	3位
富 山	○ 21 - 10	○ 9 - 2		○ 15 - 11	3	0	0	優勝
信 州	○ 17 - 2	○ 5 - 4	● 11 - 15		2	0	1	2位

女子



敗者戦：富山大学36 - 6 金沢大学



【東京地区】

平成20年度第40回東京都大学ソフトボール春季リーグ戦

男子1部

チーム	国士館	日本体育	早稲田	学習院	中央	桜美林	勝	分	敗	順位
国士館	-	●0-3	●4-5	○23-1	○7-0	○24-0	3	0	2	3位
日本体育	○3-0	-	●11-12	○22-0	○13-0	○21-4	4	0	1	2位
早稲田	○5-4	○12-11	-	○14-1	○17-1	○15-1	5	0	0	優勝
学習院	●1-23	●0-22	●1-14	-	○10-3	○9-4	2	0	3	4位
中央	●0-7	●0-13	●1-17	●3-10	-	●5-6	0	0	5	6位
桜美林	●0-24	●4-21	●1-15	●4-9	○6-5	-	1	0	4	5位

男子2部

チーム	慶應義塾	成蹊	明治	専修	東京農業	立教	勝	分	敗	順位
慶應義塾	-	○11-5	●0-7	○8-5	○19-5	○18-12	4	0	1	2位
成蹊	●5-11	-	○7-6	●1-5	○11-2	○6-5	3	0	2	3位
明治	○7-0	●6-7	-	○6-2	○9-8	○14-4	4	0	1	1位
専修	●5-8	○5-1	●2-6	-	●5-7	○16-2	2	0	3	4位
東京農業	●5-19	●2-11	●8-9	○7-5	-	●0-19	1	0	4	6位
立教	●12-18	●5-6	●4-14	●2-16	○19-0	-	1	0	4	5位

※1~2位、5~6位は直接対戦の勝敗による。

男子3部

チーム	東京	日本	東京学芸	東洋	I C U	帝京	勝	分	敗	順位
東京	-	●4-6	○11-5	○13-2	○16-2	○14-0	4	0	1	2位
日本	○6-4	-	△6-6	○17-8	○12-7	○8-0	4	1	0	1位
東京学芸	●5-11	△6-6	-	○24-4	○13-5	○17-3	3	1	1	3位
東洋	●2-13	●8-17	●4-24	-	●6-8	○7-4	1	0	4	4位
国際基督教	●2-16	●7-12	●5-13	○8-6	-	●4-8	1	0	4	6位
帝京	●0-14	●0-8	●3-17	●4-7	○8-4	-	1	0	4	5位

※4~6位は得失点差と失点率による。

男子4部

チーム	文教	一橋	日本歯科	武蔵工業	勝	分	敗	順位
文教	-	●2-12	○16-15	○21-20	2	0	1	3位
一橋	○12-2	-	○31-4	●8-9	2	0	1	1位
日本歯科	●15-16	●4-31	-	●0-21	0	0	3	3位
武蔵工業	●20-21	○9-8	○21-0	-	2	0	1	2位

※1~3位は得失点差による。

男子入れ替え戦

- 1部2部 中央大学(6位) 10-7 明治大学(1位) ※中央大学は1部残留
 2部3部 東京農業大学(6位) 11-6 日本大学(1位) ※東京農業大学は2部残留
 3部4部 国際基督教大学(6位) 11-9 一橋大学(1位) ※国際基督教は3部残留

女子1部

チーム	日本体育	早稲田	東京女体	日本女体	国士舘	東京学芸	勝	分	敗	順位
日本体育		●4-5	●3-8	●1-2	○3-1	○19-0	2	0	3	4位
早稲田	○5-4		●3-8	○5-3	○6-0	○8-0	4	0	1	2位
東京女体	○8-3	○8-3		○12-4	○11-1	○43-0	5	0	0	優勝
日本女体	○2-1	●3-5	●4-12		○7-0	○13-1	3	0	2	3位
国士舘	●1-3	●0-6	●1-11	●0-7		○7-0	1	0	4	5位
東京学芸	●0-19	●0-8	●0-43	●1-13	●0-7		0	0	5	6位

女子2部

チーム	学習院	中央	日本	成蹊	創価	明治	勝	分	敗	順位
学習院		○10-1	○18-3	○15-5	○8-0	○6-1	5	0	0	1位
中央	●1-10		○12-8	●5-9	○9-0	●4-15	2	0	3	5位
日本	●3-18	●8-12		○15-6	○8-7	○5-4	3	0	2	2位
成蹊	●5-15	○9-5	●6-15		○6-4	●1-6	2	0	3	4位
創価	●0-8	●0-9	●7-8	●4-6		●1-7	0	0	5	6位
明治	●1-6	○15-4	●4-5	○6-1	○7-1		3	0	2	3位

※2~3位、4~5位は直接対戦の勝敗による。

女子3部

チーム	桜美林	専修	慶應義塾	I C U	実践女子	勝	分	敗	順位
桜美林		○12-5	○14-11	○20-2	○10-5	4	0	0	1位
専修	●5-12		●6-7	●6-7	●0-7	0	0	4	5位
慶應義塾	●11-14	○7-6		○9-6	○14-4	3	0	1	2位
国際基督教	●2-20	○7-6	●6-9		●0-8	1	0	3	4位
実践女子	●5-10	○7-0	●4-14	○8-0		2	0	2	3位

女子入れ替え戦

- 1部2部: 東京学芸大学(6位) 11-2 学習院大学(1位) ※東京学芸大学は1部残留
 2部3部: 創価大学(6位) 1-8 桜美林大学(1位) ※桜美林大学は2部昇格

平成20年度第40回東京都大学ソフトボール秋季リーグ戦

男子1部

チーム	早稲田	日本体育	国士舘	学習院	桜美林	中央	勝	分	敗	順位
早稲田	-	●3-11	○9-2	○17-9	○11-7	○8-0	4	0	1	2位
日本体育	○11-3	-	●1-2	○10-2	○8-1	○7-1	4	0	1	優勝
国士舘	●2-9	○2-1	-	○7-5	○7-3	○3-1	4	0	1	3位
学習院	●9-17	●2-10	●5-7	-	●7-8	○16-4	1	0	4	4位
桜美林	●7-11	●1-8	●3-7	○8-7	-	●1-8	1	0	4	6位
中央	●0-8	●1-7	●1-3	●4-16	○8-1	-	1	0	4	5位

※1~3位は得失点差、4~6位は得失点差と失点率による。

男子2部

チーム	明治	慶應義塾	成蹊	専修	立教	東京農業	勝	分	敗	順位
明治	-	●2-7	●3-7	●1-3	●5-9	○10-7	1	0	4	5位
慶應義塾	○7-2	-	●5-8	○4-2	●3-10	○8-7	3	0	2	3位
成蹊	○7-3	○8-5	-	●6-7	○8-7	△9-9	3	1	1	2位
専修	○3-1	●2-4	○7-6	-	●2-18	○10-3	3	0	2	4位
立教	○9-5	○10-3	●7-8	○18-2	-	○5-3	4	0	1	1位
東京農業	●7-10	●7-8	△9-9	●3-10	●3-5	-	0	1	4	6位

※3~4位は直接対戦の勝敗による。

男子3部

チーム	日本	東京	東京学芸	東洋	帝京	国際基督教	勝	分	敗	順位
日本	-	●1-7	●3-14	○8-7	○14-5	○9-4	3	0	2	4位
東京	○7-1	-	●1-8	△7-7	○15-0	○29-4	3	1	1	2位
東京学芸	○14-3	○8-1	-	●4-10	○15-14	○12-2	4	0	1	1位
東洋	●7-8	△7-7	○10-4	-	○18-2	○15-5	3	1	1	2位
帝京	●5-14	●0-15	●14-15	●2-18	-	●13-17	0	0	5	6位
国際基督教	●4-9	●4-29	●2-12	●5-15	○17-13	-	1	0	4	5位

※2位は直接の対戦が引き分けのため両校2位

男子4部

チーム	一橋	武蔵工業	文教	日本歯科	勝	分	敗	順位
一橋	-	●8-17	○21-2	●10-14	1	0	2	3位
武蔵工業	○17-8	-	●8-15	○12-7	2	0	1	1位
文教	●2-21	○15-8	-	●8-9	1	0	2	4位
日本歯科	○14-10	●7-12	○9-8	-	2	0	1	2位

※1~2位、3~4位は直接対戦の結果による。

男子入れ替え戦

1部2部 桜美林大学(6位) 8-1 立教大学(1位) ※桜美林大学は1部残留
 2部3部 東京農業大学(6位) 8-9 東京学芸大学(1位) ※東京学芸大学は2部昇格
 3部4部 帝京大学(6位) 15-10 武蔵工業大学(1位) ※帝京大学は3部残留

女子1部

チーム	東京女体	早稲田	日本女体	日本体育	国士舘	東京学芸	勝	分	敗	順位
東京女体	-	○8-0	○7-1	○2-1	○13-5	○7-0	5	0	0	優勝
早稲田	●0-8	-	●1-3	●0-1	○5-2	○12-4	2	0	3	4位
日本女体	●1-7	○3-1	-	●1-2	○7-2	○9-0	3	0	2	3位
日本体育	●1-2	○1-0	○2-1	-	○2-1	○14-2	4	0	1	2位
国士舘	●5-13	●2-5	●2-7	●1-2	-	○5-0	1	0	4	5位
東京学芸	●0-7	●4-12	●0-9	●2-14	●0-5	-	0	0	5	6位

女子2部

チーム	学習院	日本	明治	成蹊	中央	桜美林	勝	分	敗	順位
学習院	-	○7-4	●0-9	○4-3	○6-5	○16-4	4	0	1	2位
日本	●4-7	-	●1-5	○9-8	●5-6	○14-2	2	0	3	4位
明治	○9-0	○5-1	-	○13-4	○9-0	○9-0	5	0	0	1位
成蹊	●3-4	●8-9	●4-13	-	●5-6	●7-11	0	0	5	6位
中央	●5-6	○6-5	●0-9	○6-5	-	○8-3	3	0	2	3位
桜美林	●4-16	●2-14	●0-9	○11-7	●3-8	-	1	0	4	5位

女子3部

チーム	創価	慶應義塾	実践女子	I C U	専修	津田塾	勝	分	敗	順位
創価	-	○6-3	○13-0	○2-0	○11-7	○18-0	5	0	0	1位
慶應義塾	●3-6	-	●6-9	○22-0	○9-4	○11-5	3	0	2	3位
実践女子	●0-13	○9-6	-	○14-1	●0-1	○14-0	3	0	2	2位
国際基督教	●0-2	●0-22	●1-14	-	●0-13	○20-6	1	0	4	5位
専修	●7-11	●4-9	○1-0	○13-0	-	○6-1	3	0	2	4位
津田塾	●0-18	●5-11	●0-14	●6-20	●1-6	-	0	0	5	-

※2~4位は得失点差による。津田塾大学はオープン参加である。

女子入れ替え戦

1部2部 東京学芸大学(6位) 6-5 明治大学(1位) ※東京学芸大学は1部残留
 2部3部 成蹊大学(6位) 5-18 創価大学(1位) ※創価大学は2部昇格

【東海地区】

東海テレビ杯平成20年度春季第62回東海地区大学(男子)ソフトボールリーグ戦
 一兼、第43回全日本大学ソフトボール選手権大会一次予選一
 一兼、第40回西日本大学ソフトボール選手権大会予選一

会期：平成20年4月26日・27日・29日、5月3日・4日・5日

会場：愛知県豊田市／豊田市運動公園ソフトボール場他

7. 一部リーグ戦

チーム	中京学院	岐阜聖徳	中 京	常葉学園	愛知教育	南 山	勝	敗	失点率	順
中京学院	○12-5	○6-4	○3-1	○5-0	○9-0	5	0	2.06	1	
岐阜聖徳	●5-12	●1-5	○6-2	○5-1	○9-0	3	2	4.28	3	
中 京	●4-6	○5-1	○3-2	○10-0	○6-0	4	1	1.40	2	
常葉学園	●1-3	●2-6	●2-3	●3-4	○6-4	1	4	4.24	5	
愛知教育	●0-5	●1-5	●0-10	○4-3	○15-5	2	3	6.41	4	
南 山	●0-9	●0-9	●0-6	●4-6	●5-15	0	5	13.31	6	

※失点率は、タイブレーカーの失点・守備回数を除く。

二部リーグ戦

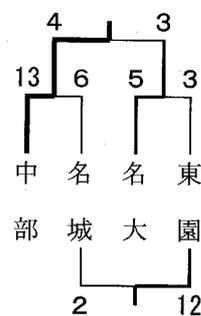
チーム	日本福祉	愛 知	みずほ	名 商	静 岡	愛知学院	勝	敗	失点率	順
日本福祉	○5-4	○10-1	○15-0	○10-1	○7-0	5	0	1.17	1	
愛 知	●4-5	●2-8	○8-0	○7-6	○7-4	3	2	4.60	3	
みずほ	●1-10	○8-2	○10-3	○7-0	○9-1	4	1	3.61	2	
名古屋商	●0-15	●0-8	●3-10	○10-5	●5-12	1	4	14.58	5	
静 岡	●1-10	●6-7	●0-7	●5-10	●5-7	0	5	8.97	6	
愛知学院	●0-7	●4-7	●1-9	○12-5	○7-5	2	3	7.00	4	

※失点率は、タイブレーカーの失点・守備回数を除く。

三部リーグ戦

予選リーグ	中 部	名 城	名古屋	東 園	勝	敗	順
中 部	○12-9	○5-4	○6-2	3	0	1位	
名 城	●9-12	●3-11	●7-18	0	3	4位	
名古屋	●4-5	○11-3	○22-8	2	1	2位	
東海学園	●2-6	○18-7	●8-22	1	3	3位	

順位決定戦



【東海地区】

東海テレビ杯平成20年度春季第62回東海地区大学(男子)ソフトボールリーグ戦

ー兼、第43回全日本大学ソフトボール選手権大会一次予選ー

ー兼、第40回西日本大学ソフトボール選手権大会予選ー

会期：平成20年4月26日・27日・29日、5月3日・4日・5日

会場：愛知県豊田市／豊田市運動公園ソフトボール場他

7. 一部リーグ戦

チーム	中京学院	岐阜聖徳	中 京	常葉学園	愛知教育	南 山	勝	敗	失点率	順
中京学院	○12-5	○6-4	○3-1	○5-0	○9-0	5	0	2.06	1	
岐阜聖徳	●5-12	●1-5	○6-2	○5-1	○9-0	3	2	4.28	3	
中 京	●4-6	○5-1	○3-2	○10-0	○6-0	4	1	1.40	2	
常葉学園	●1-3	●2-6	●2-3	●3-4	○6-4	1	4	4.24	5	
愛知教育	●0-5	●1-5	●0-10	○4-3	○15-5	2	3	6.41	4	
南 山	●0-9	●0-9	●0-6	●4-6	●5-15	0	5	13.31	6	

※失点率は、タイブレーカーの失点・守備回数を除く。

二部リーグ戦

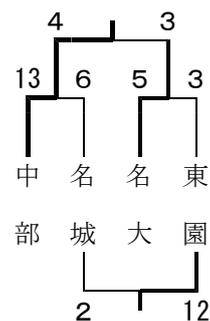
チーム	日本福祉	愛 知	みずほ	名 商	静 岡	愛知学院	勝	敗	失点率	順
日本福祉	○5-4	○10-1	○15-0	○10-1	○7-0	5	0	1.17	1	
愛 知	●4-5	●2-8	○8-0	○7-6	○7-4	3	2	4.60	3	
みずほ	●1-10	○8-2	○10-3	○7-0	○9-1	4	1	3.61	2	
名古屋商	●0-15	●0-8	●3-10	○10-5	●5-12	1	4	14.58	5	
静 岡	●1-10	●6-7	●0-7	●5-10	●5-7	0	5	8.97	6	
愛知学院	●0-7	●4-7	●1-9	○12-5	○7-5	2	3	7.00	4	

※失点率は、タイブレーカーの失点・守備回数を除く。

三部リーグ戦

予選リーグ	中 部	名 城	名古屋	東 園	勝	敗	順
中 部	○12-9	○5-4	○6-2	3	0	1位	
名 城	●9-12	●3-11	●7-18	0	3	4位	
名古屋	●4-5	○11-3	○22-8	2	1	2位	
東海学園	●2-6	○18-7	●8-22	1	3	3位	

順位決定戦



一部・二部入れ替え戦

常葉学園大学(5位)7-1 愛知みずほ大学(2位)
 ※常葉学園大学一部、愛知みずほ大学二部残留
 日本福祉大学(1位)10-3 南山大学(6位)

※日本福祉大学一部昇格、南山大学二部降格

二部・三部入れ替え戦

中部大学(1位)11-2 静岡大学(6位)
 ※中部大学は二部昇格、静岡大学は三部降格

代表

第5回東海地域大学ソフトボール選手権大会(第43回インカレ最終予選) :

中京学院大学・中京大学・岐阜聖徳学園大学・
 愛知教育大学・常葉学園大学・日本福祉大学・
 南山大学・愛知みずほ大学

第39回西日本大学ソフトボール選手権大会 :

中京学院大学・中京大学・岐阜聖徳学園大学・
 愛知教育大学・常葉学園大学・日本福祉大学

個人表彰選手

最優秀選手賞 : 坂本 俊行(中京学院大学)

一部首位打者賞 : 荻田 悠介(南山大学)

記録6割0分0厘

一部打点賞 : 前田 貴則(中京学院大学)

記録8

一部最優秀防御率賞 : 岩田 守(中京学院大学)

記録0.00

二部優秀選手賞 : 田代 大悟(日本福祉大学)

二部首位打者賞 : 田代 大悟(日本福祉大学)

記録7割6分9厘

二部最優秀防御率賞 : 小久保雄介(日本福祉大学)

記録1.04

三部優秀選手賞 : 山田 佳史(中部大学)

三部首位打者賞 : 山口 真志(中部大学)

記録6割0分0厘

三部最優秀防御率賞 : 山田 佳史(中部大学)

記録0.50

ベストスコアラー賞 : 荒川茉由菜(南山大学)

ベスト放送員賞 : 太田 亘哉(常葉学園大学)

ベストナイン

投手 望月 孝典(中京大 1年)

捕手 前田 貴則(中京学院大4年)

一塁手 : 川上 敏彦(常葉学園大4年)

二塁手 : 紙漉 高志(中京学院大3年)

三塁手 : 鶴飼 秀徳(中京大 4年)

遊撃手 : 角島準之助(中京大 4年)

外野手 : 中西 健太(中京学院大4年)

外野手 : 福重 遥(中京学院大4年)

外野手 : 川崎 祐介(中京学院大3年)

DP・DEFO : 尾山 竜成(岐阜聖徳大3年)

岡崎ソフトボール協会創立50周年記念

東海テレビ杯平成20年度春季第51回東海地区大学(女子)ソフトボールリーグ戦

一兼、第43回全日本大学ソフトボール選手権大会一次予選一

一兼、第40回西日本大学ソフトボール選手権大会予選一

会期 : 4月29・30日、5月3・4日
 会場 : 愛知県岡崎市/岡崎中央総合公園球場

一部リーグ戦

チーム	東海学園	中京	愛知教育	東海学院	桜花学園	中京女子	勝	敗	失点率	順
東海学園	-	●0-2	○8-5	○2-1	○17-4	○7-0	4	1	2.47	3
中京	○2-0	-	●0-3	○1-0	○5-0	○7-0	4	1	0.62	1
愛知教育	●5-8	○3-0	-	○1-0	○10-0	○6-2	4	1	1.40	2
東海学院	●1-2	●0-1	●0-1	-	○8-1	○1-0	2	3	0.40	4
桜花学園	●4-17	●0-5	●0-10	●1-8	-	●1-8	0	5	12.14	6
中京女子	●0-7	●0-7	●2-6	●0-1	○8-1	-	1	4	5.02	5

※優勝~3位は、タイブレーカーを除く失点率による。

二部リーグ戦

チーム	日本福祉	中京学院	名古屋	岐阜聖徳	鈴鹿国際	勝	敗	失点率	順
日本福祉	○6-2	○13-6	○10-0	●4-7	3	1	4.40	2	
中京学院	●2-6	○8-0	○13-3	●0-7	2	2	3.00	3	
名古屋	●6-13	●0-8	●9-11	●1-18	0	4	20.19	5	
岐阜聖徳	●0-10	●3-13	○11-9	●0-10	1	3	17.64	4	
鈴鹿国際	○7-4	○7-0	○18-1	○10-0	4	0	1.84	1	

※失点率は、タイブレーカーと没収試合の失点・守備回数を除く。

一・二部入れ替え戦

中京女子大学(5位)2-0日本福祉大学(2位)

※中京女子大学一部、日本福祉大学二部残留

桜花学園大学(6位)8-7鈴鹿国際大学(1位)

※鈴鹿国際大一部昇格、桜花学園大二部降格

代表

第5回東海地域大学ソフトボール選手権大会(第43回インカレ最終予選) :

中京大学・愛知教育大学・東海学園大学・東海学院大学・中京女子大学・鈴鹿国際大学・桜花学園大学・日本福祉大学

第40回西日本大学ソフトボール選手権大会 :

中京大学・愛知教育大学・東海学園大学・東海学院大学・中京女子大学・桜花学園大学

個人表彰選手

最優秀選手賞 : 小沢佳那子(中京大学)

一部首位打者賞 : 稲垣ゆみこ(東海学園大学)
記録6割6分7厘

一部打点賞 : 山田あおい(東海学園大学)
記録8

一部盗塁賞 : 該当者なし

一部最優秀防御率賞 : 薄井 妙子(東海学院大学)
記録0.00

二部優秀選手賞 : 柏木 菜奈(鈴鹿国際大学)
二部首位打者賞 : 柏木 菜奈(鈴鹿国際大学)
記録6割6分7厘

二部最優秀防御率賞 : 渡邊 奈緒(日本福祉大学)
記録0.00

ベストスコアラー賞 : 那須野秀実(中京女子大学)

ベスト放送員賞 : 柳生 理沙(愛知教育大学)

ベストイン

投手 : 河部 祐里(愛知教育大学)

捕手 : 佐々木可那子(中京大学)

一塁手 : 山田あおい(東海学園大学)

二塁手 : 村瀬 夏奈(東海学園大学)

三塁手 : 河村 彩名(東海学園大学)

遊撃手 : 本多亜也子(愛知教育大学)

外野手 : 駒野 まみ(中京大学)

外野手 : 稲垣ゆみこ(東海学園大学)

外野手 : 杉山 文子(東海学院大学)

DP・DEFO 三輪 一恵(中京女子大学)

講評

初日の急な雷雨で出鼻をくじかれたものの、その後は風薫る五月晴れの下に、熱戦が繰り広げられた。順位決定の方法は、今季リーグ戦から失点率が重視されることになり、各チームの監督を悩ませることになった。

女子一部リーグ戦は、東海学園大学と中京大学の優勝争いになると思われていたが、第2日の第一試合で、愛知教育大学が中京大学を完封すると様相は一転した。愛教大はその後も快進撃を続け、東海学園大学戦も6回裏まで3点のリードと初の優勝が見えていた。しかし、勝利の女神は愛教大に微笑まず、3チームが4勝1敗で並んで失点率により中京大の優勝となった。4位に甘んじた東海学院大学の3敗はいずれもタイブレーカーでの1点差負けであり、この4チームの力の差は紙一重であった。なお、二部リーグ戦は、新規加

盟の鈴鹿国際大学が初戦で苦戦をしたものの、全勝で初優勝を決めて1部にも昇格を果たす見事な戦いぶりを見せた。

一方、最終日も天候に恵まれなかった男子リーグ戦は、中京学院大学の5季連続5回目の優勝で幕を閉じた。しかし、中京大学が中京学院大学戦でタイブレーカーにまで持ち込む健闘を見せ、久々の優勝にも手が届くところに来ているようであ

った。二部は日本福祉大学が一部への復活を決める快進撃で注目された。今後の課題としては、三部も含めて、すべてのプレイにおける「スピードのアップ」が全国の扉を開くカギのように思われた。最後に、リーグ戦の開催にご尽力を賜った関係各位に対し御礼を申し上げ、講評といたします。(理事長 水谷 博)

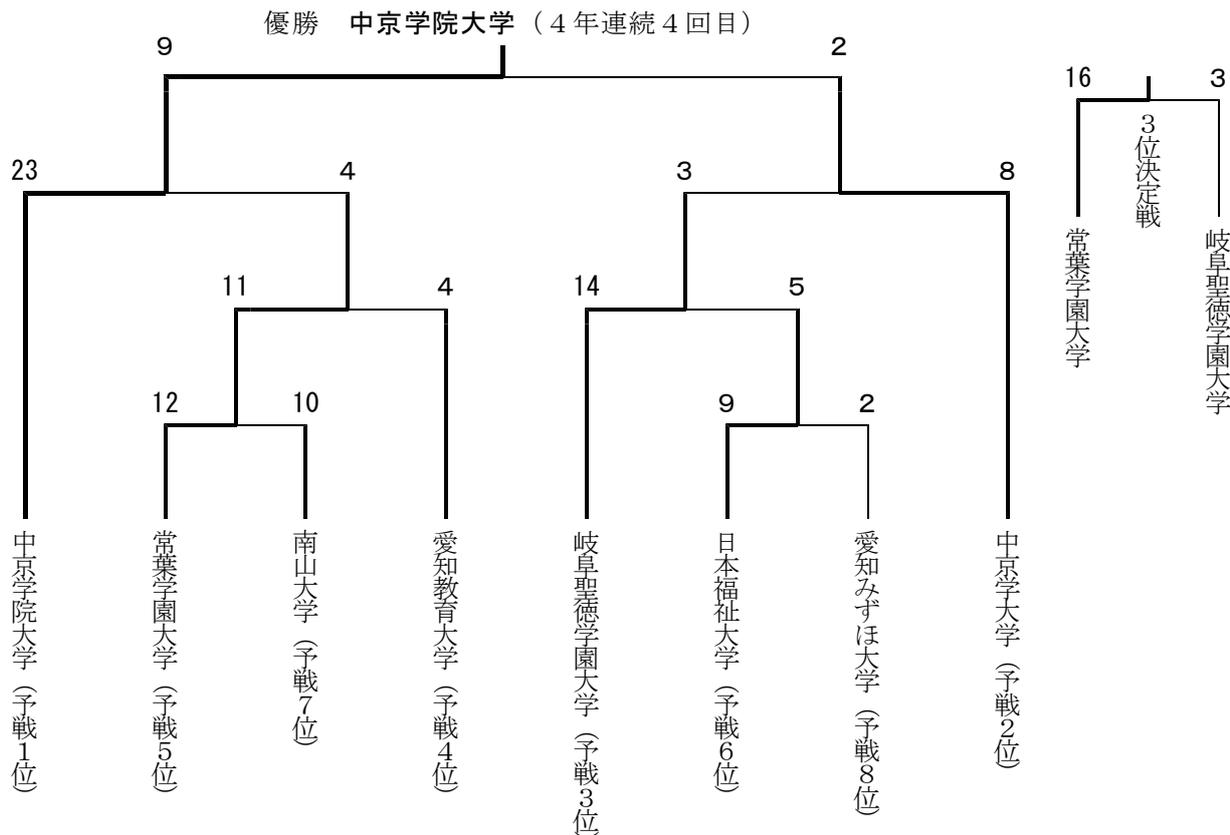
第5回東海地域大学男女ソフトボール選手権大会

—兼、第43回全日本大学(男・女)ソフトボール選手権大会東海地区最終予選会—

会期：平成20年 5月17日(土)・18日(日)

会場：愛知県江南市／蘇南公園多目的グラウンド(A・B)・多目的広場(C)

男子



男子全日本大学選手権大会代表権獲得チーム

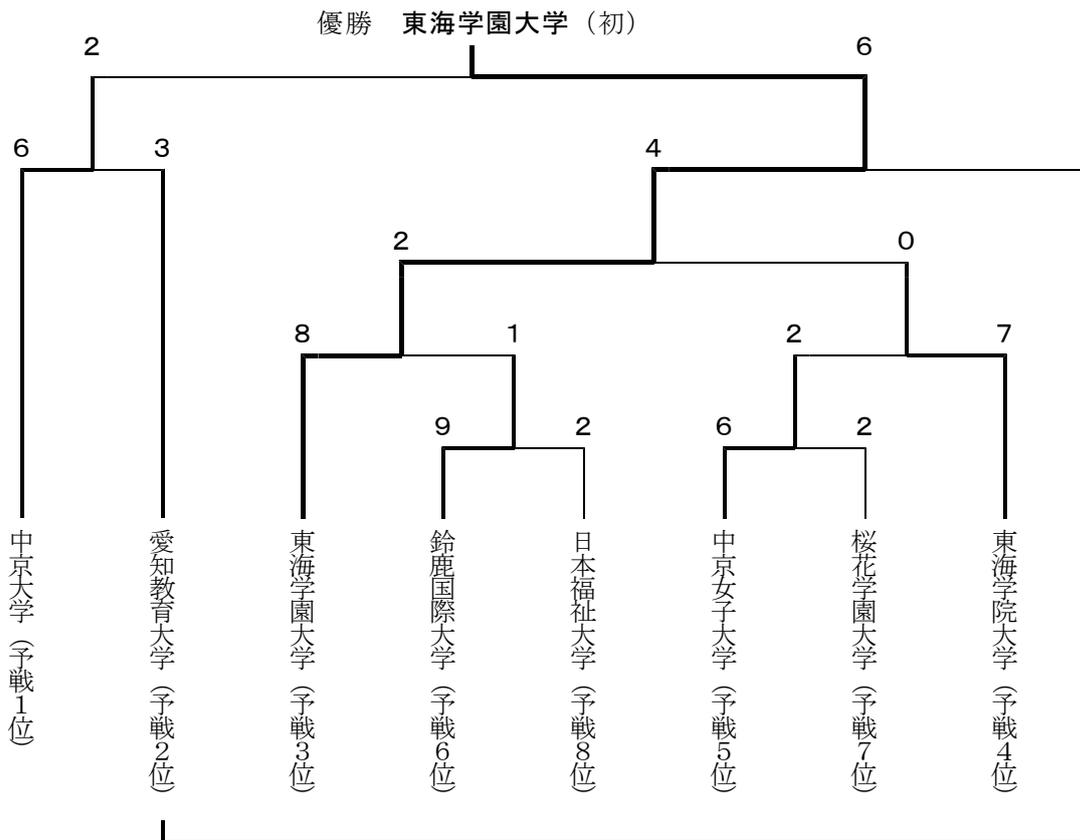
- ・中京学院大学 (4年連続5回目)
- ・中京大学 (4年ぶり38回目)
- ・常葉学園大学 (7年連続14回目)

- ・岐阜聖徳学園大学 (2年ぶり7回目)

男子個人表彰

- 最優秀選手賞：川崎 祐介 (中京学院大学)
- 優秀選手賞：望月 孝典 (中京大学)

女子



女子全日本大学選手権大会代表権獲得チーム

- ・東海学園大学（2年ぶり7回目）
- ・中京大学（24年連続33回目）
- ・愛知教育大学（2年連続2回目）

女子個人表彰

最優秀選手賞：山田あおい（東海学園大学）

優秀選手賞：入野 恵里（中京大学）

講評 やや強風に悩まされた感はあったが、2日間に亘る大会は好天に恵まれ、東海地域における大学ソフトボールの覇者が決定された。兼ねて、第43回全日本大学選手権大会への出場権を得ることになった大学も決まり、大会を無事終了することができた。これは、偏に東海協会・愛知県協会・同協会尾張支部、就中開催地の江南市ソフトボール協会のご尽力によるものであり、まずもって御礼を申し上げます。

さて、男子の部は、中京学院大学がリーグ戦から引き続き圧倒的な力を見せ、見事に4年連続5回目の優勝を決めた。正に圧勝の感があった。リ

ーグ戦ではタイブレーカーにまで持ち込み、4年ぶりにインカレ出場権を獲得した2位の中京大学も、今回は完敗であった。坂本・岩田の2本柱と堅い守備陣に加えて長打力と機動力も有する攻撃陣は、インカレでも優勝を狙える力を付けてきていると思われる。それだけに、ちょっとした小さなミスにもつけ込まれないような試合運びが求められる。なお、3位に入賞した常葉学園大学は、登録人数ぎりぎりの10名での戦いであったが、リーグ戦5位の汚名を返上し、最後に力尽きたもののその戦いぶりは爽やかで賞賛されるべきものであった。しかし、一点危惧される点は、全8試合で完封試合がなかったことである。本塁打が飛び交う試合は見ていて迫力はあるが、大味な試合が多かったことは否定できない。スピーディーで息詰まる投手戦こそ、ソフトボールの醍醐味でもある。インカレ出場チームには、投手力のいっそうの強化を臨みたい。

一方女子は、予選リーグ戦3位から、最終日の3連戦を戦い勝ち抜いた東海学園大学が初優勝に

輝いた。3連戦を勝ち抜いての優勝は、第1回男子の中京大学だけであり、女子では初の快挙となった。これは、分厚い選手層と豊富な練習量に裏付けられるものであり、正に日頃の研鑽の賜物と言えよう。そしてもうひとつ、昨年インカレ出場を逃し、西日本で優勝したように、失点率でリーグ戦3位に甘んじた悔しさがバネとなって、苦しい戦いでの優勝を勝ち取ったものと考えられる。

その大学名にあるように、インカレにおいても「東海」の名を強く印象づけてもらいたいものである。2位と3位に甘んじた中京大学と愛知教育大学は、投手陣にリーグ戦で見せたキレがなかったようである。それは失点の多さに示されている。投手を中心とする守り、特に厳しい場面での内野守備の強化が強く望まれる。(東海地区大学ソフトボール連盟理事長 水谷 博)

東海テレビ杯平成20年度秋季第63回東海地区大学(男子)ソフトボールリーグ戦

会期：平成20年10月4日・18日・25日、11月1日

会場：愛知県刈谷市／双葉グラウンド・亀城グラウンド

一部リーグ戦

チーム	中京学院	中 京	岐阜聖徳	愛知教育	常葉学園	日本福祉	勝	分	敗	順 位
中京学院	-	○3-0	○5-3	○12-4	○8-0	●5-6	4	0	1	優勝
中 京	●0-3	-	○8-2	△3-3	○11-1	○8-1	3	1	1	2位
岐阜聖徳	●3-5	●2-8	-	○5-4	●0-4	●2-4	1	0	4	6位
愛知教育	●4-12	△3-3	●4-5	-	△8-8	○7-5	1	2	2	5位
常葉学園	●0-8	●1-11	○4-0	△8-8	-	○5-3	2	1	2	3位
日本福祉	○6-5	●1-8	○4-2	●5-7	●3-5	-	2	0	3	4位

二部リーグ戦

チーム	南 山	み ず ほ	愛 知	愛知学院	名 商	中 部	勝	分	敗	順 位
南 山	-	○9-1	○5-1	○17-12	○11-7	●3-4	4	0	1	2位
愛知みずほ	●1-9	-	○1-0	○14-5	○4-2	●3-4	3	0	2	3位
愛 知	●1-5	●0-1	-	○15-11	●3-4	○2-0	2	0	3	4位
愛知学院	●12-17	●5-14	●11-5	-	○6-4	●4-11	1	0	4	5位
名古屋商科	●7-11	●2-4	○4-3	●4-6	-	●6-13	1	0	4	6位
中 部	○4-3	○4-3	●0-2	○11-4	○13-6	-	4	0	1	1位

※1・2、5・6位は、リーグ戦規定により、当該チーム間の直接対戦の結果による。

三部リーグ戦

チーム	静岡	名古屋	東海学園	名城	朝日	勝	分	敗	順位
静岡	-	● 2-9	● 4-11	○ 15-0	○ 7-0	2	0	2	3位
名古屋	○ 9-2	-	○ 2-1	○ 24-1	○ 11-0	4	0	0	1位
東海学園	○ 11-4	● 1-2	-	○ 8-7	○ 15-0	3	0	1	2位
名城	● 0-15	● 1-24	● 7-8	-	● 5-6	0	0	4	4位
朝日	● 0-7	● 0-11	● 0-15	○ 6-5	-	1	0	3	5位

※5・6位は、リーグ戦規定により、棄権試合の有無による。

一部・二部入れ替え戦

愛知教育大学(5位) 15-13 南山大学(2位)

※愛知教育大学は一部残留

岐阜聖徳学園大学(6位) 6-5 中部大学(1位)

※岐阜聖徳学園大学は一部残留

二部・三部入れ替え戦

名古屋商科大学(6位) 11-2 名古屋大学(1位)

※名古屋商科大学は二部残留

個人表彰

最優秀選手賞：川崎 祐介(中京学院大学)

一部首位打者賞：川崎 祐介(中京学院大学)
岡村 良輝(中京大学)

記録0.600

一部打点賞：川崎 祐介(中京学院大学)

記録11

一部本塁打賞：尾山竜(岐阜聖徳学園大学)

記録3

一部盗塁賞：大石 貴文(日本福祉大学)

記録5

一部最優秀防御率賞：望月 孝典(中京大学)

記録1.35

ベストナイン

投手：岩田 守(中京学院大学)

捕手：秋家 一樹(中京大学)

一塁手：田島 嘉人(常葉学園大学)

二塁手：紙漉 高志(中京学院大学)

三塁手：鈴木 隆(中京大学)

遊撃手：長谷川和磨(愛知教育大学)

外野手：岡村 良輝(中京大学)

外野手：尾山 竜成(岐阜聖徳学園大学)

外野手：岡田 倫明(中京大学)

DPDEF0：西川 隆雅(日本福祉大学)

二部優秀選手賞：山口 真志(中部大学)

二部首位打者賞：内藤直生人(名古屋大学)

記録0.625

二部最優秀防御率賞：飯山 雅貴(中部大学)

記録0.62

三部優秀選手賞：伊東 真一(名古屋大学)

三部首位打者賞：内藤直生人(名古屋大学)

谷口 昌平(東海学園大学)

記録0.600

三部最優秀防御率手賞：三宝 勝利(名古屋大学)

記録1.87

ベストスコアラー賞：横井 愛(岐阜聖徳学園大学)

ベスト放送員賞：阿知波君恵(愛知教育大学)

講評

今季リーグ戦は毎週土曜日という1ヶ月にわたる長期の開催となったが、今季も好天に恵まれ、開催地刈谷市連盟のご尽力により、予定通り無事終了できた。まずは御礼申し上げます。

一部リーグ戦は、常勝中京学院大学が初戦で春季に昇格した日本福祉大学に敗れるという波乱の幕開けとなった。しかし、その後は強力打線が爆発し、堅い守備と相まって確実に勝ち星を積み上げていった。春季2位の中京大学は、やはり初戦で愛知教育大学と引き分けたが、その後は投手力に支えられて危なげなかった。両チームは最終日に優勝をかけて対戦したが、打力が一步勝った中京学院大学が6季連続の優勝を飾り、中京大学は

11季ぶりの優勝を惜しくも逃した。他の4チームの実力は紙一重であったが、リーグ戦の戦い方に長けた常葉学園大学が確実に3位を決め、インカレのショックが大きかったと思われる岐阜聖徳学園大学が最下位となって、久々の入れ替え戦に愛知教育大学とともに回るようになった。

二部は今季も全勝・全敗のチームがなく「地獄の二部」となったが、今春昇格したばかりの中部大学が、一歩抜きんでた投手力で見事に優勝を決めた。大味な試合が多い二部の中で、常に安定した守備で失点を抑えてきたのが功を奏した。しか

し、南山大学とともに戦った一部との入れ替え戦では、両チームともあと一歩で昇格を逃し、きめの細かさが求められていることを裏付けた。

三部は古豪名古屋大学がいかんなく力を発揮して優勝を決めたが、二部昇格はかなわなかった。さわやか静岡大学の3位は悔やまれるが、東海学園大学の2位は今後に大きな期待を抱かせた。各チームとも、ゲームそのものの楽しさとともに、勝負の厳しさも楽しんでもらいたい。三部の活性化が、リーグ戦全体の向上に直結しているからである。(東海学連理事長 水谷 博)

碧南市制60周年記念

東海テレビ杯平成20年度秋季第52回東海地区大学(女子)ソフトボールリーグ戦

会期：平成20年10月12日・18日・19日・25日

会場：愛知県碧南市／玉津浦グラウンド

一部リーグ戦

チーム	中 京	愛知教育	東海学園	東海学院	中京女子	鈴鹿国際	勝	分	敗	順 位
中 京	○	○1-0	●3-4	●0-6	○9-4	○5-0	3	0	2	4位
愛知教育	●0-1	○	●0-5	○5-0	○2-1	○3-1	3	0	2	2位
東海学園	○4-3	○5-0	○	○3-0	○14-1	○1-0	5	0	0	優勝
東海学院	○6-0	●0-5	●0-3	○	○3-0	○3-2	3	0	2	3位
中京女子	●4-9	●1-2	●1-14	●0-3	○	○2-1	1	0	4	5位
鈴鹿国際	●0-5	●1-3	●0-1	●2-3	●1-2	○	0	0	5	6位

※2位～4位は、リーグ戦規定により、タイブレイカーを除く失点率による。

二部リーグ戦

チーム	桜花学園	岐阜聖徳	名 古 屋	浜 松	日本福祉	中京学院	静 岡	順 位
桜花学園	○	○11-1	○5-4	○28-0		○3-2		優勝
岐阜聖徳	●1-11	○	△4-4	○16-1			●5-8	6位
名 古 屋	●4-5	△4-4	○	○10-3	●0-7			4位
浜 松	●0-28	●1-16	●3-0	○				7位
日本福祉			○7-0		○	●1-8	○10-0	3位
中京学院	●2-3				○8-1	○	○2-0	2位
静 岡		○8-5			●0-10	●0-2	○	5位

※斜線のある欄は予選リーグ戦で、斜線のない欄は順位決定戦である。
 ※予選リーグ戦の名大(2位)と聖徳大(3位)は、タイブレイカーを除く失点率による。

一部一二部入れ替え戦

中京女子大学(5位) 2-0 中京学院大学(2位)

※中京女子大学は一部残留

鈴鹿国際大学(6位) 3-0 桜花学園大学(1位)

※鈴鹿国際大学は一部残留

個人表彰

最優秀選手賞：大野 由貴(東海学園大学)

一部首位打者賞：駒野 まみ(中京大学)

記録0.615

一部打点賞：岡村 珠希(東海学園大学)

駒野 まみ(中京大学)

記録 5

一部本塁打賞：該当者なし

一部盗塁賞：岡村 珠希(東海学園大学)

記録 7

一部最優秀防御率賞：矢田 文香(鈴鹿国際大学)

記録 0.54

ベストナイン

投手：河部 祐里(愛知教育大学)

捕手：岩崎 純子(鈴鹿国際大学)

一塁手：成岡 千裕(東海学院大学)

二塁手：村瀬 夏奈(東海学園大学)

三塁手：村井 美保(東海学園大学)

遊撃手：稲垣ゆみこ(東海学園大学)

外野手：岡村 珠希(東海学園大学)

外野手：駒野 まみ(中京大学)

外野手：千田恵里子(愛知教育大学)

DPDEF0：古閑久美子(愛知教育大学)

二部優秀選手賞：加藤あゆ美(桜花学園大学)

二部首位打者賞：岩瀬 知美(桜花学園大学)

記録0.692

二部最優秀防御率賞：渡邊 奈緒(日本福祉大学)

記録1.40

ベストスコアラー賞：那須野秀美(中京女子大学)

ベスト放送員賞：千田恵里子(愛知教育大学)

講評 本リーグ戦は天候に恵まれなかったが、開催地碧南市と碧南市連盟の献身的なご尽力により、最高のグラウンドコンディションで全日程を無事終了できた。また、最終日は午前8時試合開始という日程であったが、全チームのご理解とご協力のもとで開催できたことをまずもって御礼申し上げたい。

一部は、東海学園大学が5試合で3失点という安定した守備力で無難に優勝を決めた。2~4位は3チームが3勝2敗で並び、失点率の争いになったが、中京大学が初の4位という屈辱を味わうことになった。その中で特筆されるのは、春季に一部に昇格した鈴鹿国際大学の戦いであった。結果的には全敗で最下位に甘んじたが、すべての試合で接戦を演じ、3試合が最少得点差であった。このことは、最優秀防御率賞を矢田投手が獲得したことに端的に示されている。最下位チームからのこの賞の受賞は初めてのことである。攻撃力をアップすれば、インカレ出場も決して夢ではない競技力を持っていると思われる。なお、中京女子大学を除く各チームの主戦投手の防御率が0点代もしくは1点代の前半であったので、投高打低のリーグ戦であったことを示している。来年度に向けては、この冬のトレーニングによって、いっそうの投手力の向上はもとより、スピードある攻撃による得点力を身につけていくことが大きな課題となろう。

二部は、浜松大学の新規加盟によって7チームによる厳しい戦いであった。特に、上位3チームは一部の経験もあり、入れ替え戦でも緊迫したゲームを展開した。ともに一部への昇格はかなわなかったが、実力は紙一重であり、春季での挽回を期待したい。なお、浜松大学は大量失点にもめげず、最後までボールに食らいついていく姿は、誠にさわやかな印象を与えた。(東海学連理事長 水谷 博)



【近畿地区】

平成20年度第40回春季関西学生ソフトボールリーグ戦（男子）

会期：平成20年4月6・13・20・29日、5月3・4・5・6日

会場：吹田市／万博公園スポーツ広場

1部リーグ戦結果

1部	京都産業	立命館	同志社	大阪経法	兵庫教育	京都	勝	分	敗	順位
京都産業	-	○10-3	○5-4	○9-0	○7-0	○8-2	5	0	0	優勝
立命館	●3-10	-	○12-0	○6-3	○12-4	○6-1	4	0	1	2位
同志社	●4-5	●0-12	-	○9-1	○11-6	○13-11	3	0	2	3位
大阪経法	●0-9	●3-6	●1-9	-	○5-3	○7-4	2	0	3	4位
兵庫教育	●0-7	●4-12	●6-11	●3-5	-	○17-4	1	0	4	5位
京都	●2-8	●1-6	●11-13	●4-7	●4-17	-	0	0	5	6位

※京都産業大学は2季連続19度目の優勝

1部総評 平成20年度第40回春季リーグは、京都産業大学の2季連続19回目の優勝で幕を閉じた。京都産業大学の松田投手(4回生)の好投により攻撃にリズムよく攻撃入ることでき、打点38という強さで全勝優勝となった。昨年秋季リーグのリベンジに燃える立命館大学だったが初戦で京都産業大学に負けスタートに出遅れた。諦めない立命館は川村主将(4回生)を中心に残りの試合を落とすことなく4勝1敗で終わるが、直接対決が響き2位となり一步届かなかった。秋季準優勝の同志社大学は、エースの川根投手(3回生)の制球が

定まらずピンチになるが、木山選手(2回生)の4本塁打14打点という活躍によりチームを勝ちに導き3位に終わった。

また、今回の大会より投手の不正投球を厳しくとるようになり、各チームの投手はこれまでのフォームがチェックされることでリズムを崩す場面が目立った。また、次の試合までに直すことができずエースが登板できない大学もあった。

次回秋季リーグでは、1部に昇格した大阪産業大学が台風の目となりそうだ。

(立命館大学3年 編集次長 薦田 亮)

2部リーグ戦結果

2部A	大阪産業	四天王寺	関西	大阪	京都学園	勝	分	敗	順位
大阪産業	-	○1-0	●2-4	○1-0	○5-0	3	0	1	1位
四天王寺	●0-1	-	○8-5	△1-1	○7-2	2	1	2	2位
関西	○4-2	●5-8	-	△4-4	○23-1	2	1	2	3位
大阪	●0-1	△1-1	△4-4	-	○6-0	1	2	1	4位
京都学園	●0-5	●2-7	●1-23	●0-6	-	0	0	4	5位

※2~3位は該当チーム間勝ち点規定により決定

2部B	神戸学院	大阪体育	大阪工業	龍谷	佛教	勝	分	敗	順位
神戸学院	-	○ 5 - 0	○ 10 - 0	○ 4 - 2	○ 6 - 5	4	0	0	1位
大阪体育	● 0 - 5	-	○ 6 - 3	○ 3 - 1	○ 4 - 1	3	0	2	2位
大阪工業	● 0 - 10	● 3 - 6	-	△ 4 - 4	○ 9 - 7	1	1	2	3位
龍谷	● 2 - 4	● 1 - 3	△ 4 - 4	-	△ 2 - 2	0	2	2	4位
佛教	● 5 - 6	● 1 - 4	● 7 - 9	△ 2 - 2	-	0	1	3	5位

2部優勝決定戦

大阪産業大学 2 - 1 神戸学院大学

※大阪産業大学は2部優勝・1部昇格、神戸学院大学は1部との入れ替え戦へ

2部9・10位決定戦

京都学園大学 0 - 9 佛教大学

※京都学園大学は自動的に3部に降格、佛教大学は3部との入れ替え戦へ

2部総評 Aブロックでは、引き分けが多く最終日までつれる大混戦となった。結果的には投手力のある大阪産業大学が優勝を決めたが、各チームそれぞれの持ち味を生かした見ごたえのある

リーグ戦であったように思える。Bブロックでは、神戸学院大学が攻撃力、守備力ともに頭一つ抜けており、全勝での優勝を決めた。なお、直接対決で大阪産業大学が投手戦の末、一部昇格を決めた。神戸学院は入れ替え戦で兵庫教育大学に敗れ、一部昇格はならなかった。

また、前回の春リーグでブロック優勝した佛教大学が3部降格など、全体的な差が無くなってきたように思える。その中でも大阪産業大学など投手力に優れたチームは安定した試合を続け、優位にリーグ戦を進めた。(関西大学3年 事務次長 尾関克也)

3部リーグ戦結果

3部A	大阪市立	奈良教育	流通科学	和歌山	関西学院	勝	分	敗	順位
大阪市立	-	○ 5 - 3	● 2 - 14	○ 10 - 4	○ 10 - 7	3	0	1	1位
奈良教育	● 3 - 5	-	○ 12 - 2	○ 15 - 9	○ 20 - 8	3	0	1	2位
流通科学	○ 14 - 2	● 2 - 14	-	○ 17 - 8	● 12 - 13	2	0	2	3位
和歌山	● 4 - 10	● 9 - 15	● 8 - 17	-	○ 17 - 4	1	0	3	4位
関西学院	● 7 - 10	● 8 - 20	○ 13 - 12	● 4 - 17	-	1	0	3	5位

※1～2位、4～5位は該当チーム間勝ち点規定により決定

3部B	甲南	大阪府立	大阪経済	神戸	近畿	勝	分	敗	順位
甲南	-	○ 2 - 1	○ 10 - 0	○ 10 - 4	○ 7 - 0	4	0	0	1位
大阪府立	● 1 - 2	-	○ 11 - 7	○ 8 - 2	○ 11 - 5	3	0	1	2位
大阪経済	● 0 - 10	● 7 - 11	-	● 9 - 10	○ 13 - 3	1	0	3	3位
神戸	● 4 - 10	● 2 - 8	○ 10 - 9	-	● 6 - 9	1	0	3	4位
近畿	● 0 - 7	● 5 - 11	● 3 - 13	○ 9 - 6	-	1	0	3	5位

※3～5位は得失点差規定により決定

2部優勝決定戦

大阪市立大学 5-2 甲南大学

※大阪市立大学は2部昇格、甲南大学は2部との入れ替え戦へ

3部総評 3部Aブロックは実力の拮抗したチームが集まり本命のチームこそないものの、どのチームも優勝を狙える組み合わせとなった。結果、随所で勝負強さを見せた大阪市立大学がブロック優勝を果たした。一方Bブロックでは強力打線を誇る打の大阪府立大学と、エース宇都宮を中心とする守の甲南大学が最終日まで3勝で並び、直接対決を制した甲南大学がブロック優勝を決めた。

3部決勝は投手力で勝る甲南大学が優勢かと思われたが、大阪市立大学が数少ないチャンスから得点を重ねて3部優勝、そして2部昇格を手にし

た。その悔しさあってか、甲南大学は続けて行われた2部の佛教大学との入れ替え戦をサヨナラ勝ちで制し、大阪市立大学に続き甲南大学も2部昇格を果たした。

今回のリーグでは3部から2チームが2部昇格となった。まだまだ2部との投手力の差は大きいですが、今リーグを見る限り、確実に2部と3部の差は縮まってきている。(神戸大学3年 記録次長 小山豊彦)

1部-2部入れ替え戦

兵庫教育大学 5-2 神戸学院大学

※兵庫教育大学は1部残留

2部-3部入れ替え戦

佛教大学 2-3 甲南大学

※甲南大学は2部昇格

平成20年度第40回春季関西学生ソフトボールリーグ戦 (女子)

会期：平成20年4月12・13・19・20・26・27日、5月3・4日

会場：園田学園女子大・大阪大谷大・武庫川女子大・兵庫教育大・四天王寺大

1部リーグ戦成績

チーム	大阪国際	園田学園	神戸親和	大阪大谷	天 理	立 命 館	龍 谷	大阪体育
大阪国際	-	○5-3	○2-1	○5-2	○8-1	○1-0	○8-0	○2-0
園田学園	●3-5	-	○3-0	●3-4	○7-0	○10-1	○7-0	○8-0
神戸親和	●1-2	●0-3	-	●1-4	○2-0	○2-1	○2-1	○1-0
大阪大谷	●2-5	○4-3	○4-1	-	●2-5	○5-4	●1-3	○10-0
天 理	●1-8	●0-7	●0-2	○5-2	-	○1-0	●0-1	●2-4
立 命 館	●0-1	●1-10	●1-2	●4-5	●0-1	-	○3-1	○8-1
龍 谷	●0-8	●0-7	●1-2	○3-1	○1-0	●1-3	-	○6-5
大阪体育	●0-2	●0-8	●0-1	●0-10	○4-2	●1-8	●5-6	-

1部最終成績

- 優勝 大阪国際大学 (7勝0敗)
- 2位 園田学園女子大学 (5勝2敗)
- 3位 大阪大谷大学 (4勝3敗)
- 4位 神戸親和女子大学 (4勝3敗)

- 5位 龍 谷 大 学 (3勝4敗)
- 6位 天 理 大 学 (2勝5敗)
- 7位 立 命 館 大 学 (2勝5敗)
- 8位 大阪体育大学 (1勝6敗)
- ※3・4位、6・7位は直接対戦の勝敗による。

1部個人表彰

打撃成績

順位	氏名	大学	打率
1位	池原 恵	園田学園女子大学	0.579
2位	大村英利佳	大阪国際大学	0.500
3位	森田 涼	園田学園女子大学	0.450
4位	谷池 紫穂	園田学園女子大学	0.429
5位	岡本 由香	大阪国際大学	0.391
5位	藤田 香織	大阪体育大学	0.391
7位	尾崎 望良	園田学園女子大学	0.389
8位	林 仁美	大阪国際大学	0.381
9位	村口奈津季	神戸親和女子大学	0.364
10位	西山 瑤子	大阪国際大学	0.360

2位	山田 麻未	神戸親和女子大学	0.56
3位	森田由衣子	大阪国際大学	0.79
4位	岡田 結花	立命館大学	1.30
5位	田家 由里	大阪大谷大学	1.58

ベストプレイ賞

大学	氏名	守備位置
大阪国際大学	岡本 由香	中堅手
園田学園女子大学	山口 憲子	投手
大阪大谷大学	島津 彩	二塁手
神戸親和女子大学	高橋 里江	中堅手
龍谷大学	李 優沙	左翼手
天理大学	梶岡祐女也	投手
立命館大学	山本 優美	一塁手
大阪体育大学	松本 紘美	一塁手

盗塁賞：藤田 香織 大阪体育大学 記録7

本塁打賞：大村英利佳 大阪国際大学 記録2

投手成績

順位	氏名	大学	防御率
1位	中里見友紀子	大阪国際大学	0.55

2部リーグ戦対戦成績

チーム	関西外語	ひわこ成蹊	武庫川	四天王寺	佛 教	大阪府立	勝	分	敗	順位
関西外語	-	○2-0	●3-4	○10-3	○10-0	○10-0	4	0	1	2位
ひわこ成蹊	●0-2	-	●0-12	○13-6	○13-0	○11-1	3	0	2	3位
武庫川	○4-3	○12-0	-	○10-0	○10-0	○11-0	5	0	0	1位
四天王寺	●3-10	●6-13	●0-10	-	○9-6	○13-6	2	0	3	4位
佛 教	●0-10	●0-13	●0-10	●6-9	-	○13-12	1	0	4	5位
大阪府立	●0-10	●1-11	●0-11	●6-13	●12-13	-	0	0	5	6位

2部個人表彰

打撃成績

順位	氏名	大学	打率
1位	村上 己月	関西外国語大学	0.538
2位	楠本 涼子	四天王寺大学	0.526
3位	大島あずさ	武庫川女子大学	0.500
4位	山口茉莉子	大阪府立大学	0.474
4位	古谷 友恵	佛教大学	0.474
6位	御輿 早貴	関西外国語大学	0.391
7位	西口 真紀	武庫川女子大学	0.389
7位	上田 陽	佛教大学	0.389

9位 入田 愛弓 四天王寺大学 0.368

9位 関川 依子 佛教大学 0.368

投手成績

順位	氏名	大学	防御率
1位	市口 由佳	関西外国語大学	1.83
2位	園田香央里	佛教大学	7.35
3位	中下 裕美	大阪府立大学	9.02

ベストプレイ賞

大	学	氏名	守備位置
武庫川女子大学		丸井 理恵	投手
関西外国語大学		今津 尚美	一塁手
びわこ成蹊スポーツ大		平岡 希望	外野手

四天王寺大学	楠本 涼子	内野手
佛教大学	古谷 友恵	内野手
大阪府立大学	弓山 美希	内野手
盗塁賞：竹森 久実 武庫川女子大学 記録7		

3部リーグ対戦成績表

チーム	神戸学院	兵庫教育	京都女子	奈教人間	摂南	勝	分	敗	順位
神戸学院	-	○16-9	○11-1	○7-0	○15-5	4	0	0	1位
兵庫教育	●9-16	-	○13-5	○10-5	○12-0	3	0	1	2位
京都女子	●1-11	●5-13	-	●3-10	○16-4	1	0	3	4位
奈教人間	●0-7	●5-10	○10-3	-	○18-0	2	0	2	3位
摂南	●5-15	●0-12	●4-16	●0-18	-	0	0	4	5位

※奈教人間：奈良教育大学・大阪人間科学大学の合同チーム

3部個人表彰

打撃成績

順位	氏名	大学	打率
1位	釣 美由貴	神戸学院大学	0.666
2位	三宅佳奈子	兵庫教育大学	0.636
3位	芥田 彩子	神戸学院大学	0.611
4位	金田 朋子	兵庫教育大学	0.550
5位	久保井 瞳	神戸学院大学	0.545
6位	小巻さくら	神戸学院大学	0.533
6位	林 真衣	京都女子大学	0.533
8位	福田 実穂	神戸学院大学	0.500
8位	龍前千香子	神戸学院大学	0.500
8位	平山 翔子	大阪人間科学	0.500

投手成績

順位	氏名	大学	防御率
1位	古川 由佳	大阪人間科学	1.81
2位	翁田沙由里	兵庫教育大学	2.62
3位	久保田 瞳	神戸学院大学	4.35

ベストプレー賞

大	学	氏名	守備位置
神戸学院大学		高橋 里枝	遊撃手
兵庫教育大学		田中こずえ	右翼手
奈良教育大学		阿久香保里	投手
京都女子大学		村山 結香	遊撃手

摂南大学 山田 理恵 捕手

盗塁賞：金田 朋子 兵庫教育大学 記録12

1部リーグ戦総評

今回の春季リーグでは、最終日まで全日本大学選手権大会の出場権を獲得するため、白熱した試合が多く繰り広げられた。また、どの試合も両チーム譲らない緊迫感があり、簡単には負けられないという気迫溢れるプレーが随所に見られた。

優勝を賭けたリーグ最終戦の大阪国際大学vs園田学園女子大学戦では、5回まで0-0の緊迫した試合展開であった。6回に試合が動き大阪国際大学がホームランで3点を先取、しかし園田学園女子大学はその裏に連打で3点を返し同点とした。続く7回、大阪国際大学はホームランにより更に2点を追加し、園田学園女子大学の反撃も一歩及ばず勝負が決まった。昨年の悔しさもあり、大阪国際大学がホームラン2本を出すなど力で園田学園女子大学をねじ伏せた。

昨年の全日本大学選手権では、関西地区の3チームが上位入賞を果たしたこともあり今年も関西勢の活躍が期待される。

(文責：松山陽子 園田学園女子大学)

2部リーグ戦総評

今回のリーグは天候にも恵まれて、予定通りに

全日程を終了することができた。2部リーグでは実力の差が大きい試合もあったが、タイブレーカーまで纏れ込む白熱した試合もあり、会場を沸かせた。また、2部・3部とも同じ会場ということもあって、観客も多くとてもいいリーグになった。(文責：高村紗耶加 四天王寺大学)

3部リーグ戦総評

3部の試合では得点差が大きく、コールドゲームになる試合が多かった。エラーや四死球も目立

ったが、どのチームも最後まであきらめず、チーム一丸となって戦っていたように感じた。その中でも、神戸学院大学は本塁打も多く、切れ目のない打線が印象的だった。

3部のチームは、1部や2部に少しでも近づけるように技術面をもっと向上させることが今後の課題である。しかし、ソフトボールに対する一生懸命な姿勢はすばらしかった。

(文責：西田望 兵庫教育大学)

平成20年度第40回秋季関西学生ソフトボールリーグ戦 (男子)

会期：平成20年10月13・19・26日、11月2・3・9・24・29・30日
会場：吹田市/万博公園スポーツ広場

1部リーグ戦

1部	京都産業	立命館	同志社	大阪経法	兵庫教育	大阪産業	勝	分	敗	順位
京都産業	-	○2-0	●2-5	○8-0	○9-1	○3-1	4	0	1	2位
立命館	●0-2	-	●1-11	○12-0	○7-0	●0-1	2	0	3	4位
同志社	○5-2	○11-1	-	○4-0	○5-0	●1-2	4	0	1	優勝
大阪経法	●0-8	●0-12	●0-4	-	△9-9	●3-12	0	1	4	5位
兵庫教育	●1-9	●0-7	●0-5	△9-9	-	●0-7	0	1	4	6位
大阪産業	●1-3	○1-0	○2-1	○12-3	○7-0	-	4	0	1	3位

※1~3位、5~6位は得失点差規定により決定

※同志社大学は、38季ぶり10回目の1部リーグ優勝!

※5位の大阪経済法科大学は2部との入れ替え戦へ、6位の兵庫教育大学は自動的に2部降格

1部総評 今回の秋季リーグは、各大学が新体制で臨んだ大会だった。3季連続の優勝を狙う京都産業大学、巻き返しをはかる立命館大学、また一部に昇格した大阪産業大学の戦いなど、多くの注目が集まるなかで熱戦が繰り広げられた。結果は最終日までもつれ、京都産業大学、大阪産業大

学、同志社大学の上位3チームが4勝1敗の勝ち点同率で並ぶ大接戦となったが、得失点差により同志社大学が優勝を飾った。また兵庫教育大学は2部に降格したが、全勝優勝した関西大学が1部に昇格することで来季もリーグ戦から目が離せない(同志社大学3年 会計部長 川根 豪)

2部リーグ戦

2部A	龍谷	大阪	大阪体育	神戸学院	京都	勝	分	敗	順位
龍谷	-	●6-7	○8-3	●4-6	●3-6	1	0	3	4位
大阪	○7-6	-	○7-0	○5-2	○5-3	4	0	0	1位
大阪体育	●3-8	●0-7	-	●0-5	●1-10	0	0	4	5位
神戸学院	○6-4	●2-5	○5-0	-	○5-1	3	0	1	2位
京都	○6-3	●3-5	○10-1	●1-5	-	2	0	2	3位

2部B	大阪工業	大阪市立	四天王寺	関西	甲南	勝	分	敗	順位
大阪工業	-	○ 9 - 3	● 1 - 5	● 0 - 16	○ 5 - 3	2	0	2	3位
大阪市立	● 3 - 9	-	● 1 - 4	● 0 - 10	△ 3 - 3	0	1	3	5位
四天王寺	○ 5 - 1	○ 4 - 1	-	● 1 - 5	○ 5 - 3	3	0	1	2位
関西	○ 16 - 0	○ 10 - 0	○ 5 - 1	-	○ 6 - 3	4	0	0	1位
甲南	● 3 - 5	△ 3 - 3	● 3 - 5	● 3 - 6	-	0	1	3	4位

※4～5位は該当チーム間勝ち点規定により決定

2部優勝決定戦

大阪大学 3 - 5 関西大学

※関西大学は2部優勝・1部昇格、大阪大学は1部との入れ替え戦へ

2部9・10位決定戦

大阪体育大学 5 - 7 大阪市立大学

※大阪体育大学は自動的に3部に降格、大阪市立は3部との入れ替え戦へ

2部総評 天気に恵まれない日が続く中、Aブロックでは関西大学が4試合37得点という攻撃力を武器に全勝でのブロック優勝を決めた。2位の四天王寺大学は守備力に優れ、安定した試合を続

けたが、関西大学との初戦での敗戦が響いた。Bブロックでは事実上の決勝戦となった大阪大学と神戸学院との試合で大阪大学が終盤のチャンスを生かし勝利、優勝を決めた。ブロック決勝では、関西大学が接戦を制し一部昇格。大阪大学は入れ替え戦でも熱戦を繰り広げたが、後一步及ばなかった。

今回のリーグ戦では投手力のあるチームが上位を争ったということが結果に表れたように感じる。各チームともこの冬で再び力をつけ、来春のリーグ戦に臨んでほしい。(関西大学3年 事務部長 尾関克也)

3部リーグ戦結果

3部A	大阪府立	和歌山	佛教	奈良教育	姫路獨協	神戸	勝	分	敗	順位
大阪府立	-	○ 10 - 0	● 4 - 9	○ 7 - 1	○ 12 - 3	● 0 - 3	3	0	2	3位
和歌山	● 0 - 10	-	● 3 - 4	● 6 - 7	○ 10 - 7	● 1 - 16	1	0	4	6位
佛教	○ 9 - 4	○ 4 - 3	-	○ 1 - 0	○ 8 - 3	● 4 - 5	4	0	1	2位
奈良教育	● 1 - 7	○ 7 - 6	● 0 - 1	-	● 4 - 7	● 3 - 9	1	0	4	5位
姫路獨協	● 3 - 12	● 7 - 10	● 3 - 8	○ 7 - 4	-	○ 4 - 3	2	0	3	4位
神戸	○ 3 - 0	○ 16 - 1	○ 5 - 4	○ 9 - 3	● 3 - 4	-	4	0	1	1位

※1～2位、5～6位は該当チーム間勝ち点規定により決定

3部B	大阪経済	京都学園	近畿	流通科学	関西学院	勝	分	敗	順位
大阪経済	-	● 6 - 14	● 0 - 11	● 0 - 6	● 6 - 7	0	0	4	5位
京都学園	○ 14 - 6	-	○ 3 - 1	● 1 - 11	○ 11 - 3	3	0	1	3位
近畿	○ 11 - 0	● 1 - 3	-	○ 6 - 5	○ 11 - 5	3	0	1	2位
流通科学	○ 6 - 0	○ 11 - 1	● 5 - 6	-	○ 13 - 5	3	0	1	1位
関西学院	○ 7 - 6	● 3 - 11	● 5 - 11	● 5 - 13	-	1	0	3	4位

※1～3位は得失点差規定により決定

3部優勝決定戦

神戸大学 4-1 流通科学大学

※神戸大学は3部優勝・2部昇格、流通科学大学は2部との入れ替え戦へ

3部総評 3部Aブロックは今大会から姫路獨協大学が復帰したことで、6チームでリーグ戦を行った。いつもより1チーム多いブロックを、一回生エース美馬を擁する神戸大学が制し、ブロック優勝を決めた。Bブロックは最終的に、京都学園、近畿大学、流通科学大学の3チームが勝ち点で並んだが、わずかに得失点で優位に立った流通科学大学がブロック優勝となった。

3部決勝では神戸大学が小技を生かした攻撃で流通科学大学を下し、3部優勝、2部昇格を決めた。惜敗した流通科学大学は2部の大阪市立大学

との入れ替え戦に臨んだが、乱打戦をなんとかものにし、神戸大学に続いての2部昇格を決めた。

Bブロックのある一戦において、試合開始時刻に人数がそろわないチームがあった。結局別の日に再試合を行うことになったが、他の日程に影響があり運営に支障が出た。各チームに意識を持ってもらうとともに、没収試合に関する規則を厳密化する必要がある。(神戸大学3年 記録部長 小山豊彦)

1部-2部入れ替え戦

大阪経済法科大学 4-1 大阪大学

※大阪経済法科大学は1部残留

2部-3部入れ替え戦

大阪市立大学 6-7 流通科学大学

※流通科学大学は2部昇格

平成20年度第40回秋季関西学生ソフトボールリーグ戦 (女子)

会期：平成20年9月13・14・15・20・27・28日、10月4・11日

会場：園田学園女子大学・武庫川女子大学・大阪大谷大学・兵庫教育大学
四天王寺大学

1部リーグ戦成績

チーム	龍谷	園田学園	大阪大谷	神戸親和	大阪国際	立命館	関西外語	武庫川
龍谷	-	●1-8	△2-2	○1-0	●0-1	●2-3	○5-0	○5-0
園田学園	○8-1	-	○1-0	○7-1	○5-1	○8-1	○7-2	○4-3
大阪大谷	△2-2	●0-1	-	△5-5	○3-1	○4-2	○5-1	○3-2
神戸親和	●0-1	●1-7	△5-5	-	○4-1	●0-4	●0-1	○2-1
大阪国際	○1-0	●1-5	●1-3	●1-4	-	○2-1	○4-3	●1-2
立命館	○3-2	●1-8	●2-4	○4-0	●1-2	-	○6-3	○3-2
関西外語	●0-5	●2-7	●1-5	○1-0	●3-4	●3-6	-	●5-6
武庫川	●0-5	●3-4	●2-3	●1-2	○2-1	●2-3	○6-5	-

1部最終成績

優勝 園田学園女子大学 (7勝0分0敗)
2位 大阪大谷大学 (4勝2分1敗)
3位 立命館大学 (4勝0分3敗)
4位 大阪国際大学 (3勝0分4敗)
5位 龍谷大学 (3勝1分3敗)

6位 神戸親和大学 (2勝1分4敗)
7位 武庫川女子大学 (2勝0分5敗)
8位 関西外国語大学 (1勝0分6敗)
※2・3位、4・5位、6・7位は直接対戦の勝敗による。

1部個人表彰

打撃成績

順位	氏名	大学	打率
1位	池原 恵	園田学園女子大学	0.517
2位	木村 光里	立命館大学	0.500
2位	森上 真衣	武庫川女子大学	0.500
4位	谷池 紫穂	園田学園女子大学	0.478
5位	乾 理沙	大阪大谷大学	0.476
6位	前田 由佳	龍谷大学	0.440
7位	佐古井倫子	龍谷大学	0.389
7位	林 仁美	大阪国際大学	0.389
9位	山本 美郷	大阪大谷大学	0.381
9位	山口 絢子	龍谷大学	0.381

投手成績

順位	氏名	大学	防御率
1位	西岡 里恵	園田学園女子大学	0.00
2位	中里見友紀子	大阪国際大学	0.85

2部リーグ戦対戦成績

チーム	大阪体育	天理	四天王寺	びわこ成蹊	兵庫教育	奈教人間	勝	分	敗	順位
大阪体育	-	● 2 - 4	○ 9 - 0	○ 10 - 0	○ 17 - 0	○ 11 - 1	4	0	1	2位
天理	○ 4 - 2	-	○ 10 - 0	○ 3 - 0	○ 10 - 0	○ 8 - 0	5	0	0	1位
四天王寺	● 0 - 9	● 0 - 10	-	● 1 - 8	● 3 - 4	○ 12 - 2	1	0	4	4位
びわこ成蹊	● 0 - 10	● 0 - 3	○ 8 - 1	-	○ 7 - 2	○ 9 - 5	3	0	2	3位
兵庫教育	● 0 - 17	● 0 - 10	○ 4 - 3	● 2 - 7	-	● 10 - 11	1	0	4	5位
奈教人間	● 1 - 11	● 0 - 8	● 2 - 12	● 5 - 9	○ 11 - 10	-	1	0	4	6位

3位	丸井 理恵	武庫川女子大学	1.31
4位	島津 あゆみ	龍谷大学	1.47
5位	田家 由里	大阪大谷大学	1.67

ベストプレイ賞

大学	氏名	守備位置
園田学園女子大学	池原 恵	遊撃手
大阪大谷大学	西馬 加奈	左翼手
立命館大学	船越 里奈	中堅手
大阪国際大学	中里見友紀子	投手
龍谷大学	島津あゆみ	投手
神戸親和女子大学	山田 麻未	投手
武庫川女子大学	桐谷衣里子	左翼手
関西外国語大学	二宮亜里沙	遊撃手

盗塁賞：木村 光里 立命館大学 記録4

ホームラン賞：

谷池 紫穂 園田女子大学 記録4

※奈教人間：奈良教育大学・大阪人間科学大学の合同チーム

※4・5・6位は当該チームの失点差による。

2部個人表彰

打撃成績

順位	氏名	大学	打率
1位	今倉麻衣子	大阪体育大学	0.560
2位	藤井 恵	兵庫教育大学	0.545
3位	藤井茉那美	びわこ成蹊スポーツ大学	0.524
4位	安井加奈子	びわこ成蹊スポーツ大学	0.476
5位	寺澤 美幸	びわこ成蹊スポーツ大学	0.474
6位	鈴木 美穂	四天王寺大学	0.444
6位	槌田 彩	四天王寺大学	0.444

8位	上原花奈恵	びわこ成蹊スポーツ大学	0.438
9位	金井沙知代	びわこ成蹊スポーツ大学	0.421
10位	西田 望	兵庫教育大学	0.412

投手成績

順位	氏名	大学	防御率
1位	藤田 彩乃	天理大学	1.58
2位	河邊まな美	びわこ成蹊スポーツ大学	1.79
3位	上田 翔子	大阪体育大学	2.19

ベストプレー賞

大 学	氏 名	守備位置
天理大学	阪本 彩織	中堅手
大阪体育大学	小鉄 絵美	三塁手
びわこ成蹊スポーツ大学	石崎菜穂子	投 手

四天王寺大学	入田 愛弓	内野手
兵庫教育大学	三宅佳奈子	投 手
大阪人間科学大学	平山 翔子	捕 手

盗塁賞：金子 朋子 兵庫教育大学 記録9

3部対戦成績表

チーム	京都女子	神戸学院	佛 教	大阪府立	摂 南	勝	分	敗	順 位
京都女子	● 1 - 8	○ 13 - 6	○ 11 - 3	○ 14 - 13	3	0	1	2位	
神戸学院	○ 8 - 1	○ 10 - 0	○ 10 - 3	○ 15 - 1	4	0	0	1位	
佛 教	● 6 - 13	● 0 - 10	● 3 - 18	● 9 - 14	0	0	4	5位	
大阪府立	● 3 - 11	● 3 - 10	○ 18 - 3	○ 10 - 9	2	0	2	3位	
摂 南	● 13 - 14	● 1 - 15	○ 14 - 9	● 9 - 10	1	0	3	2位	

3部個人表彰

打撃成績

順位	氏 名	大 学	打率
1位	植山明日香	京都女子大学	0.563
2位	久保井 瞳	神戸学院大学	0.533
3位	弓山 美希	大阪府立大学	0.524
4位	横地里加子	京都女子大学	0.500
5位	酒井 郁美	摂南大学	0.444
6位	古谷 春菜	佛教大学	0.412
7位	村山 結香	京都女子大学	0.400
8位	福田 実穂	神戸学院大学	0.389
9位	二ノ宮千穂	大阪府立大学	0.357
10位	辻上 知佳	神戸学院大学	0.348

投手成績

順位	氏 名	大 学	防御率
1位	久保井 瞳	神戸学院大学	3.62
2位	松村 麻香	京都女子大学	6.36
3位	北田 玲子	大阪府立大学	10.00

ベストプレー賞

大 学	氏 名	守備位置
神戸学院大学	高橋 里枝	三塁手
京都女子大学	松島由卯子	二塁手
大阪府立大学	中下 裕美	投 手
摂南大学	長岡 千愛	投 手
佛教大学	古谷 友恵	内野手

盗塁賞：米澤あゆみ 神戸学院大学 記録5

1部リーグ戦総評

今回の秋季リーグでは、開会式が雨のため中止という残念な出来事もあったが、試合は秋晴れの中行われることが多く、とても活気のあるリーグ戦であった。また、日程が国体と重なってしまい多くのチームが主力選手のいない中での試合となり、苦戦を強いられる戦いも見受けられた。

特に今回のリーグ戦では、タイブレーカーにまでもつれ込む試合も多く、見ている観客はもちろん、試合をやっている選手も息をのむ試合が多かった。優勝は園田学園女子大学が全勝で勝ち取った。

このリーグを通して、より一層ソフトボールの楽しさ、奥深さを実感することができた。（文責：松山陽子 園田学園女子大学）

2部リーグ戦総評

今回の秋季リーグでは各チームが自分たちのカラーを出し、全力でプレーする姿が目立った。日頃の練習の成果が発揮出来ていたように感じた。しかし、2部の中でもいつも1部や2部のチームと3部から上がってきたチームの実力の差は大きく、試合では得点差が開くコールドゲームになる試合も少なくなかった。

2部のチームには1部を目指し、自分たちの持っているいい面をさらに伸ばし、練習を積み重ねることを期待する。(文責：高橋里枝 神戸学院大学)

3部リーグ戦総評

今回の秋季リーグ3部では、各チーム新しいメンバーが多く、試合をしてみないと相手のことも分からないというように思えた。いざ試合をして

みると大きな力の差を感じることもない非常に白熱した時間を過ごすことが出来た。その中でも神戸学院大学が必死に全勝を挙げ、優勝の栄光を手にした。しかし、どのチームも来年の春季リーグでは2部を狙って更に力をつけて来るだろう。今後の部別リーグに期待する。(文責：西田望 兵庫教育大学)

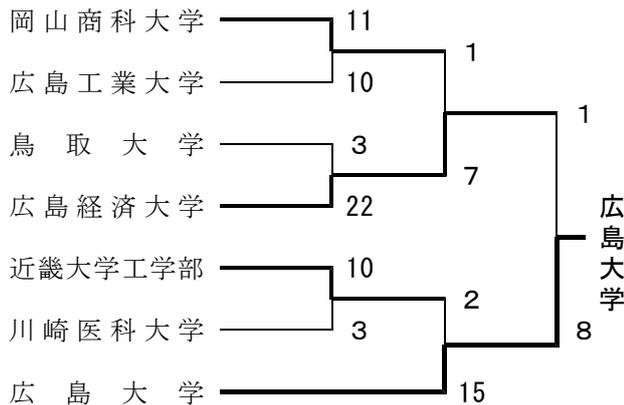
【中国地区】

第43回全日本大学・第40回西日本大学ソフトボール選手権大会中国地区予選会

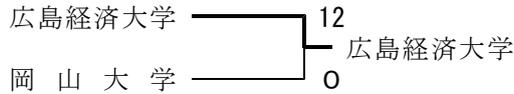
会期：平成20年5月24日(土)・25日(日)

会場：鳥取県鳥取市／倉田スポーツ広場

男子Aゾーン



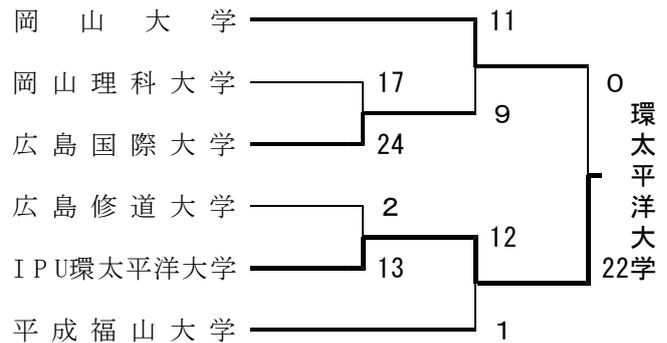
全日本大学選手権大会第三代表決定戦 (A・Bゾーン決勝戦敗退チーム)



全日本大学選手権大会出場権獲得大学：広島大学・IPU環太平洋大学・広島経済大学

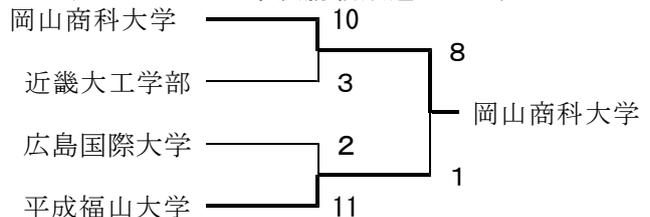
西日本大学選手権大会出場権獲得大学：広島大学・IPU環太平洋大学・広島経済大学・岡山大学・岡山商科大学

男子Bゾーン

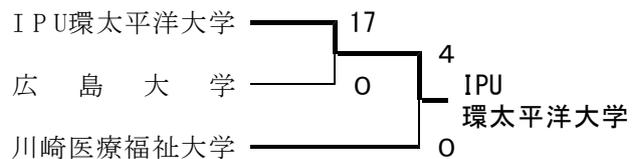
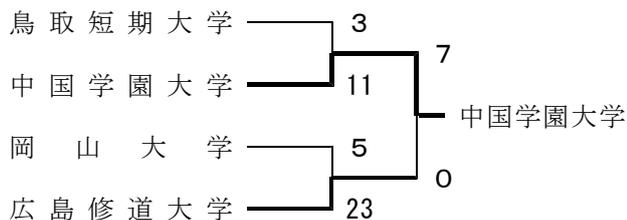


西日本大学選手権大会五代表決定戦

(A・Bゾーン準決勝戦敗退チーム)



女子



全日本大学選手権大会出場権獲得大学：中国学園大学・IPU環太平洋大学

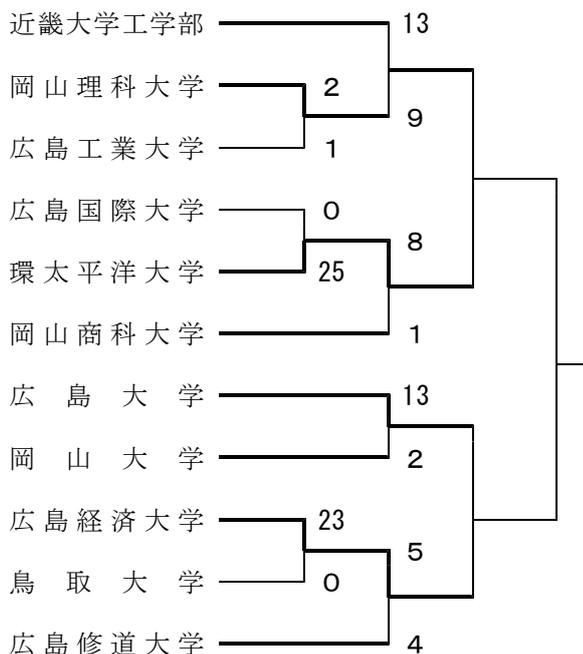
西日本大学選手権大会出場権獲得大学：中国学園大学・IPU環太平洋大学・広島修道大学・川崎医療福祉大学

第8回中国地区大学ソフトボール選手権大会

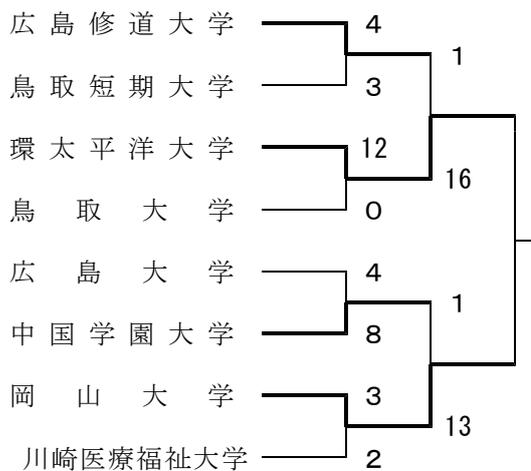
会期：平成20年11月8日(土)・9日(日)

会場：広島市／広島修道大学グラウンド

男子



女子



講評 大会初日が雨天のため、都合により9日一日での大会となった。60分時間制ということもあり、各チームともに満足の行く試合はできな

ったと思われるが、結果は男女とも春のインカレ予選の上位チームが勝ちあがり、新年度インカレ予選のシード権を得た。

【四国地区】平成20年度四国地区大学男子ソフトボール春季大会

会期：平成20年4月26日(土)・27日(日)

会場：高知県香南市野市青少年センターグラウンド

Aグループ	四国学院	松山	徳島	高知工科	勝	分	敗	順位
四国学院		○ 9 - 3	● 2 - 7	● 13 - 15	1	0	2	3位
松山	● 3 - 9		○ 3 - 0	○ 6 - 0	2	0	1	2位
徳島	○ 7 - 2	● 0 - 3		○ 8 - 1	2	0	1	1位
高知工科	○ 15 - 13	● 0 - 6	● 1 - 8		1	0	2	4位

※1～2位、3～4位は得失点差による。

Bグループ	香川	四国	愛媛	高知	勝	分	敗	順位
香川		○6-3	○8-0	○4-2	3	0	0	1位
四国	●3-6		●2-8	●0-6	0	0	3	4位
愛媛	●0-8	○8-2		●3-7	1	0	2	3位
高知	●2-4	○6-0	○7-3		2	0	1	2位

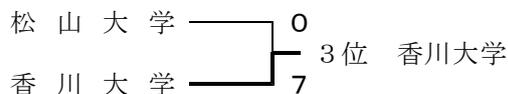
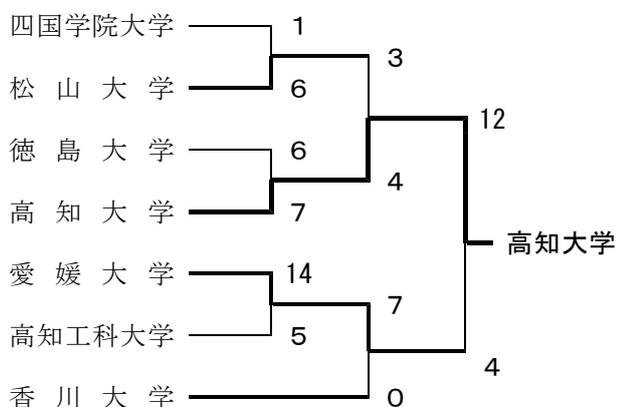
順位決定戦

1位決定戦 香川大学 11-3 徳島大学 3位決定戦 松山大学 5-3 高知大学
 5位決定戦 愛媛大学 9-8 四国学院大学 7位決定戦 四国大学 9-2 高知工科大学

第43回全日本大学(男・女)ソフトボール選手権大会四国予選会
 一兼、第39回西日本大学ソフトボール選手権大会四国予選会一

会期：平成20年5月17日(土)・18日(日)
 会場：高知県香南市／野市青少年センターグラウンド

男子



全日本大学選手権出場権獲得校：高知大学・愛媛大学
 西日本大学選手権出場権獲得校：高知大学・香川大学・愛媛大学

女子

チーム	愛媛短大	香川大学	四国大学	勝	敗	順位
愛媛女子短期大学		○15-0	○23-0	2	0	優勝
香川大学	●0-15		○13-4	1	1	2位
四国大学	●0-23	●4-13		0	2	3位

全日本大学選手権出場権獲得校：愛媛女子短期大学
 西日本大学選手権出場権獲得校：愛媛女子短期大学・香川大学

平成20年度四国地区大学(男・女)ソフトボール秋季大会

会期：平成20年10月11日(土)・12日(日)

会場：香川県坂出市／トクヤマ坂出グラウンド・林田運動公園

男子予選リーグ

Aグループ	四国	四国学院	高知	徳島	勝	分	敗	順位
四国								
四国学院			● 2-8	● 3-5	0	0	2	3位
高知		○ 8-2		● 7-13	1	0	1	2位
徳島		○ 5-3	○ 13-7		2	0	0	1位

Bグループ	香川	松山	愛媛	高知工科	勝	分	敗	順位
香川		○ 3-2	● 2-9	○ 21-6	2	0	1	2位
松山	● 2-3		△ 4-4	● 4-8	1	1	1	4位
愛媛	○ 9-2	△ 4-4		○ 4-1	2	1	0	1位
高知工科	● 6-21	○ 8-4	● 1-4		1	0	2	3位

男子順位決定戦

- 1位決定戦 愛媛大学 6-4 徳島大学
 3位決定戦 香川大学 8-1 高知大学
 5位決定戦 四国学院大学 15-1 高知工科大学

男子結果

- 1位：愛媛大学 4位：高知大学
 2位：徳島大学 5位：四国学院大学
 3位：香川大学 6位：高知工科大学

女子

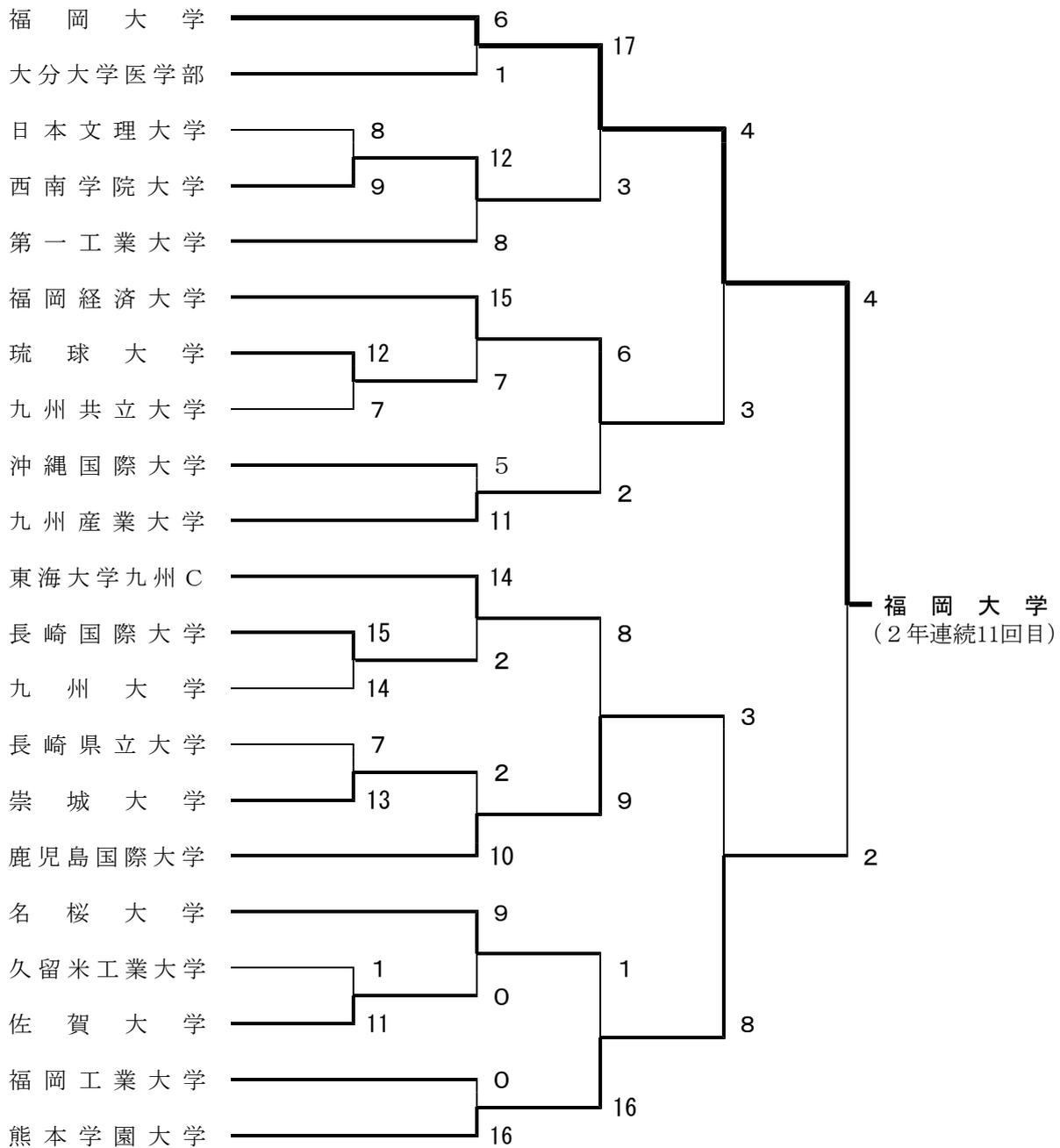
チーム	愛媛短大	香川大学	四国大学	勝	敗	順位
愛媛女子短期大学		○ 10-1	○ 14-0	2	0	優勝
香川大学	● 1-10		○ 9-3	1	1	2位
四国大学	● 0-14	● 3-9		0	2	3位

【九州地区】第27回九州地区大学(男子・女子)ソフトボール春季大会 (兼、第43回全日本大学(男子・女子)ソフトボール選手権大会予選会)

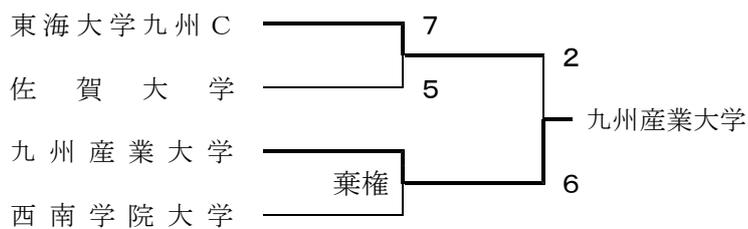
会期：平成20年5月24日(土)・25日(日)日

会場：鹿児島県知覧町／平和公園多目的球場他

男子



第5代表決定戦



※第43回全日本大学(男子)選手権大会出場権獲得校：福岡大学・熊本学園大学・福岡経済大学・鹿児島国際大学・九州産業大学

女子

チー ム	沖縄国際	九州共立	熊本学園	福 岡	日本文理	勝	敗	順 位
沖 縄 国 際 大 学	—	● 1 - 25	● 5 - 7	● 0 - 10	● 4 - 22	0	4	5 位
九 州 共 立 大 学	○ 25 - 1	—	○ 8 - 1	● 1 - 3	● 1 - 3	2	2	3 位
熊 本 学 園 大 学	○ 7 - 5	● 1 - 8	—	● 0 - 7	● 棄 権	1	3	4 位
福 岡 大 学	○ 10 - 0	○ 3 - 1	○ 7 - 0	—	● 1 - 3	3	1	2 位
日 本 文 理 大 学	○ 22 - 4	○ 3 - 1	○ 棄 権	○ 3 - 1	—	4	0	優 勝

チー ム	九州共立	福 岡	九州・熊本	日本文理	勝	分	敗	順 位
九 州 共 立 大 学	—	○ 3 - 2	○ 6 - 0	● 2 - 4	2	0	1	2 位
福 岡 大 学	● 2 - 3	—	○ 10 - 0	● 2 - 3	1	0	2	3 位
九州女子・熊本学園	● 0 - 6	● 0 - 10	—	● 0 - 13	0	0	3	4 位
日 本 文 理 大 学	○ 4 - 2	○ 3 - 2	○ 13 - 0	—	3	0	3	優 勝

※ 2年連続2回目の優勝を果たした日本文理大学が全日本大学選手権の出場権獲得

第8回九州地区大学（男子・女子）ソフトボール秋季大会

会期：平成20年11月8日（土）～9日（日）

会場：鹿児島県南九州市／知覧平和公園多目的球場他

男子

予選Aリンク（1位：福岡大学）

福 岡 大 学 7 - 0 九州共立大学
 九州共立大学 1 - 19 九州産業大学
 九州産業大学 2 - 0 崇 城 大 学
 崇 城 大 学 0 - 3 福 岡 大 学

予選Bリンク（1位：名桜大学）

鹿児島国際大学 6 - 7 長崎国際大学
 長崎国際大学 0 - 9 名 桜 大 学
 名 桜 大 学 4 - 0 西南学院大学
 西南学院大学 7 - 0 久留米工業大学
 久留米工業大学 1 - 11 鹿児島国際大学

予選Cリンク（1位：福岡経済大学）

福岡経済大学 3 - 2 佐 賀 大 学
 佐 賀 大 学 2 - 3 福岡工業大学
 福岡工業大学 0 - 7 東海大学九州
 東海大学九州 3 - 5 福岡経済大学

予選Dリンク（1位：熊本学園大学）

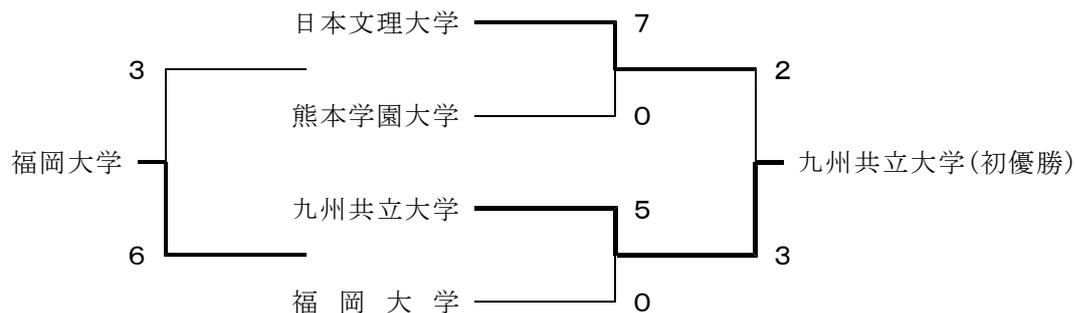
熊本学園大学 5 - 0 長崎県立大学
 長崎県立大学 7 - 4 九 州 大 学
 九 州 大 学 11 - 6 沖縄国際大学
 沖縄国際大学 0 - 9 熊本学園大学

決勝トーナメント

福 岡 大 学 8 — 5 福 岡 大 学 2 — 0 福岡経済大学
 名 桜 大 学 4 — 1 熊 本 学 園 大 学

（4年連続6回目）

女子



【調査研究委員会】

原稿並びに研究企画などの募集

来年度以降も、内容をいっそう充実・発展させていくために、どしどし原稿をお願いします。論説、提言から研究報告、あるいは情報の提供に至るまで、多様なものを期待しています。とともに、こんな研究内容や企画をしてほしい！というようなものがあれば、併せて連絡をくださいますようお願いいたします。特に学生の皆さんから。なお、毎年10月末日が原稿の〆切となりますが、随時受付しておりますので、下記までご連絡をください。(研究調査委員会 小川幸三・森田啓之)

森 田 啓 之

〒673-1494 兵庫県加東郡社町下久米942-1 兵庫教育大学

TEL&FAX：(0795)44-2227

E-mail:hmorita@hyogo-u.ac.jp

投 稿 規 程

平成11年7月30日交付

1. 投稿資格

原稿を投稿できる者は、全日本大学ソフトボール連盟に登録された者(理事、監督、コーチ、選手等)に限る。調査・研究委員会が特に必要と認めた者については、この限りではない。

2. 投稿内容

内容はソフトボールに関したものとし、巻頭言、提言、総説、論文(含.抄録)、実践研究、

事例報告、卒・修論、その他などとする。原稿は、原則として一編につき本誌4ページ以内(巻頭言、提言の場合は1ページ以内)とするが、調査・研究委員会が必要と認めた場合はこの限りではない。なお、未刊行のものが望ましいが、既刊のものであってもよい。

3. 投稿原稿の審査

原則として投稿されたものはすべて受理・採択

する。

なお、書式等に問題がある場合は、調査・研究委員会名で修正を求める場合がある。

4. 原稿の提出

執 筆

原稿の執筆にあたっては、以下の事項を厳守されたい。

投稿原稿をそのままオフセット印刷するので、原稿を作成する場合は、A4版縦置き横書き、本文は全角22字×40行の2段組（上下余白25mm・左

原稿は所定の執筆要項に準拠して作成し、総説、論文などの別を指定して、調査・研究委員会へ書留郵便で送付する。投稿の締め切りは特に設けないが、毎年10月20日で区切るものとする。

要 項

右余白20mm・段間10mm）、文字サイズは10ポイント・和文フォントは明朝体を基本とする。ワープロソフトは、「Word」もしくは「一太郎」とし（「Excel」は認められない。）、CD-Rなどのメディアとともに提出すること。

【広報記録委員会】

全日本大学ソフトボール連盟表彰

全日本大学ソフトボール連盟の役員として、永年にわたり連盟の役員として運営にご尽力を賜り、ここに「功労表彰」を受けられた方をご紹介します。（敬称略・順不同・役職並びに所

属大学は受賞時のもの）

加 藤 茂 夫 評議員（専修大学）

藤 井 立 三 監 事（明星大学）

トヨタ・デンソー・豊田自動織機・東海理化杯

第8回大学ソフトボール東海オープン出場チーム募集

出場の申し込みは、次ページの大会要項をご覧のうえ、お願いいたします。

なお、参加申込は学連HP <http://www.chujo-u.ac.jp/ajc-softball/> 上のみから、受け付けています。「大会要項」必ず熟読してください。また、出場までの手順等は次のようになっていますので、ご注意ください。

1. 1月末日までにE-mailで mztn@chujo-u.ac.jp へ参加申込を行う。mailの件名は、「〇〇大学東海オープン参加申込」であること。
2. 出場が認められた後、2月初旬に送信される参加申込書（Excelファイル）に必要事項を入力

し、2月13日（金）までに返信する。

3. 参加申込の受理と申込書がE-mailで送信されない場合は問い合わせること。

（ウイルス感染の疑いがあるE-mailは開きません。1週間以内に返信がない場合は、別のパソコンから送信すること。）

4. 参加が認められたチームは、2月13日（金）までに参加料を振り込む。
5. 参加が認められなかったチームにも2月6日（金）頃までにはE-mailで連絡します。
6. 3月初旬に、組み合わせ抽選の結果など必要事項を郵便で連絡します。

トヨタ・デンソー・豊田自動織機・東海理化杯
第8回大学ソフトボール東海オープン大会要項

1. 主催 東海地区大学ソフトボール連盟
2. 主管 愛知県ソフトボール協会・同西三河支部・安城市ソフトボール協会
3. 後援 全日本大学ソフトボール連盟
安城市・安城市教育委員会・安城市体育協会・中日新聞社
4. 協賛 トヨタ自動車(株)・(株)豊田自動織機・(株)デンソー・(株)東海理化
5. 特別協賛 ダイワマルエス(株)
6. 大会期間 平成21年3月17日(火)・18日(水)・19日(木)、予備日3月20日(金)
7. 大会会場 安城市総合運動公園(6球場)
8. チーム数 男子12、女子12、計24チーム
9. 参加資格 全日本大学ソフトボール連盟および(財)日本ソフトボール協会に登録されているチーム、もしくはそのチームの登録選手による合同チームであること。
また、監督会議から予備日を含めて全日程に参加できること。
なお、出場申し込み多数の場合は、主催者が各地区における秋季大会の成績と地域性などを参考に選抜する。
10. 出場資格 主催者によって、出場を認められたチームのあらかじめ選手登録された30名以内の選手に限る。
ベンチに入ることのできるのは、選手25名、部長1名、監督1名、コーチ2名、トレーナー1名、記録員の資格を有するスコアラー1名の計31名以内とする。なお、新1年生の出場については出身高校と当該大学部長の承認がある場合は認める。
11. 参加料 1チーム30,000円、登録選手1名につき500円
12. 申込方法 E-mailアドレス mztn@chujo-u.ac.jp へmailの件名を「〇〇大学東海オープン参加申込」とし、1月末日までに申込書を請求すること。また、出場が認められた後、送信された申込書ファイルに必要事項を入力して2月13日(金)までに返信し、参加料も同日までに次の振込口座へ振り込むこと。

【振込口座】

銀行：三菱東京UFJ銀行大府支店 口座番号(普通)1529547

名義：東海地区大学ソフトボール連盟理事長水谷博

13. 競技方法 男女各12チームを3チームずつ4グループに分けて予選リーグ戦を1日で実施し、翌日1位グループ・2位グループ・3位グループ各4チームによる順位決定トーナメント戦を行う。
14. 競技規則 2009年度オフィシャルソフトボールルール及び競技運営規則による。なお、第一日の予選リーグ戦においては、90分を過ぎて次のイニングに入らない。また、サスペンデッドゲームを採用する。
15. 使用球 ダイワマルエス社製公認革ボールとし、主催者が提供する。
16. 審判員 (財)日本ソフトボール協会公認審判員
17. 記録員 (財)日本ソフトボール協会公認記録員
18. 表彰 優勝チームに対し賞状とトヨタ・デンソー・豊田自動織機・東海理化杯を、準優勝・第3位のチームに対し賞状と盾を授与する。なお、トヨタ・デンソー・豊田自動織機・東海理化杯は持ち回りとする。
最優秀選手賞と敢闘選手賞として男女各1名に賞状と盾を授与する。
19. 組合抽選 2月18日(水)午後4時から安城市体育館において公開代理抽選を行う。
20. 監督会議 3月17日(火)午後2時から安城市総合運動公園体育館会議室において行う。
21. 開会式 3月17日(火)午後4時から安城市総合運動公園ソフトボール場A球場において行う。
22. 閉会式 全試合終了後、安城市総合運動公園ソフトボール場A球場において行う。
23. 費用 参加チームの旅費、滞在費はすべてチームの負担とする。
24. 傷病等 主催者・管理者は大会期間中における傷害・疾病並びに事故等について一切の責任を負わない。損害賠償保険にも加入し、保険証を持参すること。
25. 宿泊弁当 主催者は斡旋しない。ただし、宿泊については関係機関を紹介する。
26. 備考 出場チームは部長または監督に引率され、チームの行動について責任を負うこと。
27. 交流試合 大会が順調に終了した場合、予備日に最大8試合の交流試合を実施する。なお、この対戦チームについては、希望は伺うものの、主催者に一任されたい。
28. 問合せ先 中京女子大学 水谷 博 E-mail mztan@chujo-u.ac.jp

平成20・21年度
全日本大学ソフトボール連盟役員

職名	氏名	所属	氏名	所属
会長	一谷 宣宏	園田学園女子大学	—	
副会長	武藤 幸政	城西大学	中野 紀明	国士舘大学
	中野 元	熊本学園大学	—	
顧問	坂井 正郎	国士舘大学名誉教授	角田 真一郎	早稲田大学名誉教授
	水野 信義	WSM教育研究所	斎藤 滋雄	学習院大学名誉教授
	大内 敬哉	中京大学名誉教授	—	
理事長	末井 健作	兵庫県立大学	—	
副理事長	逢坂 秀樹	鳥取短期大学	高橋 伸次	高崎経済大学
常任理事	森田 啓之	兵庫教育大学（事務局長） hmorita@hyogo-u.ac.jp		
	大和田 寛	仙台大学	小川 幸三	日本体育大学
	黒田 重靖	富山大学	水谷 博	中京女子大学
	久保田 豊司	大阪国際大学	宮尾 直海	愛媛女子短期大学
	濱 貴一	熊本学園大学	—	
理事	小嶋 高良	八戸工業大学	大塚 健樹	盛岡大学
	岡田 万嗣	山梨学院大学	丸山 克俊	東京理科大学
	立山 利治	国際武道大学	吉野 みね子	東京女子体育大学
	木藤 盛雄	成蹊大学	岩間 英明	松本大学
	山本 英弘	朝日大学	矢澤 久史	東海学院大学
	丸山 悟	日本福祉大学	石井 賀一郎	中京学院大学
	児玉 公正	大谷女子大学	但尾 哲哉	神戸親和女子大学
	山本 孔一	IPU環太平洋大学	新垣 實	沖縄国際大学
	富田 国興	(広島修道大学)	舟山 健一	東北福祉大学
	飯島 隆	盛岡大学	大塚 隆	東海大学
	櫻井 佳代子	新島学園短期大学	石井 雅章	城西大学

評 議 員	高 橋 流 星	日本体育大学	友 坂 敏 信	富山大学
	合 津 正之助	常葉学園大学	廣 田 真 史	名古屋大学
	谷 口 佳津宏	南山大学	磯 野 徹	愛知大学
	板 谷 昭 彦	園田学園女子大学	太 田 貴久男	佛教大学
	秋 澤 俊 史	摂南大学	鈴 木 正 明	IBU四天王寺大学
	落 合 功	広島修道大学	山 中 卓	鹿児島国際大学
監 事	平 野 義 明	関西大学	細 田 きみ子	東京女子体育大学
事 務 局	〒670-0092 姫路市新在家本町1-1-12 兵庫県立大学環境人間学部			
	F A X : (0 7 9 2) 9 3 - 5 7 1 0		E-mail : suei@shse.u-hyogo.ac.jp	

平成20年度 全日本大学ソフトボール連盟学生役員

委 員 長	田邊裕樹 (東海地区・中京大学)				
副委員長	高羽陽平(東京地区・慶應義塾大学)・北村和樹(近畿地区・関西大学)				
地区	氏 名	所属大学	地区	氏 名	所属大学
関 東	木村 徹	高崎経済大学	関 東	熊山 智佳	城西大学
東 京	横田 直彦	日本大学	東 京	梨木 彩加	創価大学
東 京	田中 琢朗	成蹊大学	東 京	平野 礼奈	国士舘大学
北信越	清野 菜摘	富山大学	近 畿	尾関 克也	関西大学
近 畿	松山 陽子	園田学園女子大学	近 畿	森 尋美	園田学園女子大学
中 国	堀 あす香	鳥取短期大学			

平成20年度 男子加盟大学一覧

全日本大学ソフトボール連盟

地 区	数	加 盟 大 学 名
北海道・東北	10	仙台大学 東北大学 日本大学工学部 八戸工業大学 弘前大学 福島大学 宮城教育大学 盛岡大学 北翔大学 北海道大学
関 東	20	茨城大学 関東学園大学 国際武道大学 埼玉大学 芝浦工業大学 城西大学 城西国際大学 高崎経済大学 千葉大学 筑波大学 中央学院大学 都留文科大学 獨協大学 東海大学 東京国際大学 東京理科大学 日本大学生物資源科学部 日本大学生産工学部 文教大学 山梨学院大学
北 信 越	6	金沢大学 上越教育大学 信州大学 富山大学 長野大学 福井県立大学
東 京	22	桜美林大学 学習院大学 慶應義塾大学 国際基督教大学 国士舘大学 専修大学 成蹊大学 中央大学 帝京大学 東京大学 東京学芸大学 東京農業大学 東洋大学 日本大学 日本歯科大学 日本体育大学 一橋大学 文教大学湘南 武蔵工業大学 明治大学 立教大学 早稲田大学
東 海	17	愛知大学 愛知学院大学 愛知教育大学 愛知みずほ大学 朝日大学 岐阜聖徳学園大学 静岡大学 中京大学 中京学院大学 中部大学 東海学園大学 常葉学園大学 名古屋大学 名古屋商科大学 南山大学 日本福祉大学 名城大学
近 畿	28	大阪大学 大阪経済大学 大阪経済法科大学 大阪工業大学 大阪産業大学 大阪市立大学 大阪体育大学 大阪府立大学 関西大学 関西学院大学 京都大学 京都学園大学 京都産業大学 近畿大学 神戸大学 神戸学院大学 甲南大学 四天王寺大学 同志社大学 奈良教育大学 姫路獨協大学 兵庫教育大学 兵庫県立大学 佛教大学 立命館大学 龍谷大学 流通科学大学 和歌山大学
中 国	13	岡山大学 岡山商科大学 岡山理科大学 川崎医科大学 環太平洋大学 近畿大学工学部 鳥取大学 広島大学 広島経済大学 広島工業大学 広島修道大学 広島国際大学 福山平成大学
四 国	8	愛媛大学 香川大学 高知大学 高知工科大学 四国大学 四国学院大学 徳島大学 松山大学
九 州	22	沖縄国際大学 大分大学医学部 鹿児島国際大学 九州大学 九州共立大学 九州産業大学 熊本学園大学 久留米工業大学 佐賀大学 産業医科大学 西南学院大学 崇城大学 第一工業大学 東海大学九州C 長崎県立大学 長崎国際大学 西日本工業大学 日本文理大学 福岡大学 福岡経済大学 福岡工業大学 名桜大学 琉球大学

平成20年度 女子加盟大学一覧		
全日本大学ソフトボール連盟		
地 区	数	加 盟 大 学 名
北海道・東北	8	仙台大学 東北福祉大学 弘前大学 富士大学 北翔大学 宮城教育大学 盛岡大学 北海道大学
関 東	17	茨城大学 関東学園大学 国際武道大学 埼玉大学 相模女子大学 淑徳大学 順天堂大学 城西大学 城西国際大学 清和大学 千葉大学 筑波大学 東海大学 日本大学生物資源科学部 新島学園短期大学 文教大学 山梨学院大学
北 信 越	6	金沢大学 上越教育大学 信州大学 富山大学 福井大学 松本大学
東 京	17	桜美林大学 学習院大学 慶應義塾大学 国士舘大学 国際基督教大学 実践女子大学 専修大学 成蹊大学 創価大学 中央大学 東京学芸大学 東京女子体育大学 日本大学 日本女子体育大学 日本体育大学 明治大学 早稲田大学
東 海	13	愛知教育大学 桜花学園大学 岐阜聖徳学園大学 静岡大学 鈴鹿国際大学 中京大学 中京学院大学 中京女子大学 東海学院大学 東海学園大学 名古屋大学 日本福祉大学 浜松大学
近 畿	20	大阪国際大学 大阪体育大学 大阪府立大学 大阪大谷大学 大阪人間科学大学 関西外国語大学 京都女子大学 神戸親和女子大学 神戸学院大学 四天王寺大学 摂南大学 園田学園女子大学 天理大学 兵庫教育大学 佛教大学 奈良教育大学 びわこ成蹊スポーツ大学 武庫川女子大学 立命館大学 龍谷大学
中 国	8	岡山大学 川崎医療福祉大学 環太平洋大学 中国学園大学 鳥取大学 鳥取短期大学 広島大学 広島修道大学
四 国	3	愛媛女子短期大学 香川大学 四国大学
九 州	5	沖縄国際大学 熊本学園大学 福岡大学 日本文理大学 九州共立大学
男 子	146大学	
女 子	97大学	
合 計	243大学	平成2008年 9月30日現在

編 集 後 記

この1年は、何と言っても「北京オリンピックの金メダル」の一語に尽きます。女子代表チームの活躍、就中「上野投手の413球」に感動しなかった人はいないと思います。そのチームの中の、伊藤幸子（中京大学OG）・佐藤理恵（東京女子体育大学OG）・藤本索子（日本体育大学OG）の3選手が学連出身者でした。学連としても喜びに堪えません。

選手たちの活躍は、「素晴らしいかった」の一語だけでは言い尽くせません。ひとつひとつのプレイが今後のソフトボールの普及発展に大きな力を与えてくれます。ただそれだけではなく、そのプレイを作り上げた監督・コーチはもとより、身体的精神的に選手を支えたトレーナー、データ・投球フォーム分析を行ったスコアラー、まさに「チームジャパン」の勝利だったことも忘れてはなりません。ひとつの試合に勝利すること、ひとつの大会で優勝することは、チームとしての総合力が問われます。オリンピック代表チームに倣い、本誌がチームの組織力や総合力を高める一助になれば幸いです。

ところで、本号では「ドーピング」を特集しました。この検査は、インカレでも第42回大会から行われています。これを受けることは「トッププレイヤー」の証と受けとめる選手もいますが、そうではなく、競技会に出場する全選手の「スポーツマンシップ」の根幹に関わることを理解していただきたかったからです。また、本号では研究論文を紹介できませんでした。金メダルに浮かれてしまったからです。これも大学連盟の根幹に係わることで、そのようなことがないように今後は着実に行っていきたいと反省しています。

最後になりましたが、本号に原稿や情報をお寄せいただいた方々に感謝申し上げ、編集後記といたします。

広報記録委員会：水谷 博（中京女子大学）・山本英弘（朝日大学）・矢澤久史（東海学院大学）

表紙写真：文部科学大臣杯第43回全日本大学(男・女)ソフトボール選手権大会

想いを込める一球がある。



NAIGAI SOFTBALL

(財)日本ソフトボール協会検定球 検定1号・2号・3号・皮製3号・14インチ



naigai



NAIGAI BASEBALL

(財)全日本軟式野球連盟公認球 A号・B号・C号・D号・H号

内外ゴム株式会社



ウインドミル No. 12 (2008)

ISSN 1343-439X